

四 華北問題

3 華北密輸問題

660

昭和11年1月23日

在中國武藤大使館一等書記官より
広田外務大臣宛(電報)

天津地方の密輸禁圧につき在中國英國大使より張群外交部長へ申入れについて

北平 1月23日後発
本省 1月23日後着

第三一號

本官發支宛電報

第二八號

往電第九號ニ關シ

英國大使ハ一月九日附外交部長宛公文ヲ以テ天津地方ニ於ケル密輸ノ甚シキ現狀ヲ述ヘ右禁遏ノ爲速ニ適當ノ手段ヲ講セラレ度キ旨ヲ申入レタル趣ニシテ右公文寫二十一日附外交部回章ヲ以テ回覽ニ附セラレタリ回章寫郵送ス大臣、南京、天津へ轉電セリ

編注一 『日本外交文書』昭和期Ⅱ第一部第四卷第274文書付記。

二 昭和十一年一月二十三日付で在中國仏國大使館より張群に宛てて同趣旨の申入れがなされた。

661

昭和11年1月31日

在天津川越総領事より
広田外務大臣宛(電報)

冀東防共自治政府の密輸品取扱い方針について

付記 昭和十一年一月十六日発在天津久保田(久晴)駐在武官より長谷川(清)海軍次官、嶋田軍令部次長他宛電報

冀東政權区域内で発生した密輸品没収事件に對するわが方善後処置について

天津 1月31日後発
本省 1月31日夜着

第二六號

貴電第八號ニ關シ(冀東政權區域内ニ於ケル密輸問題)

冀東側ノ密輸取締及當館ノ處置振ニ關シテハ一月十七日附機密第四二號往信ヲ以テ報告濟ノ通ナル處右往信所載ノ抑留貨物(總價格約三十萬弗)ニ付テハ二十八日荷主側ト冀東側トノ間ニ話合付キ荷主側ヨリ砂糖一俵(百三十五斤)ニ付

四弗(正規關稅十五弗)人絹一箱(二百封度)ニ付二十弗(二百八十弗)「ライス、ペーパー」一箱(五十卷)ニ付二十五弗(從價約二百圓ノ一割二分、護照ヲ要ス)綿布百斤ニ付二十弗(從價約二百圓ノ二割)等ノ率ニテ合計約六萬弗ヲ支拂ヒ解決荷物ヲ引取ルコトナリタルカ密輸業者側ニテハ今後前記「レート」ニ依ル支拂ノ結果陸揚運搬ノ安全カ保障サルルモノナラハ寧ロ之ヲ支拂ヒ密輸ヲ續行セントスル意嚮ナルモノノ如ク(晴海丸事件後海邊結氷及冀東側ノ遣口見据付カサル爲目下密輸ハ一時停止待機状態ニアリ)海關側ハ之ニ依リ密輸カ regulate (regulate) セラルルコトヲ惧レ居ル次第ナル處

過日殷汝耕モ通州ニテ往訪ノ岸ニ對シ密輸業者ノミ利益ヲ得ルハ面白カラサルニ付今後ハ出來得ル限り日立タサル形ニテ海關辦事處ノ如キモノヲ設ケ(例ヘハ看板ヲ掲ケス民家等ニ於テ)低率ノ通過料ヲ徵收スル様致度キ方針ナリト述ヘタルニ付岸ヨリ斯ルコトハ當館ノ建前上之ヲ認ムルトハ言ヒ難キ上冀察トノ合流問題モ定マラサル間ニ合流ノ障礙トナルカ如キ制度ヲ確立スルハ此ノ際考物ナル旨力説シ置ケル趣ナリ

動機船(マツ)青海丸等ガ砂糖人絹等約六十萬ノ密輸入ヲ行ハントシタル所丁度冀東政府ガ政費捻出ノ爲(同政府ニハ軍特派ノ大藏省系專門家タル日系財政顧問アリテ財政經濟問題ニ付眞摯ニ調査中現在政費ハ月額約三十萬元ヲ要スルモ善政ノ立前ヨリ嘗テ省政府ガ前取セル諸稅ト重徵セザル爲僅ニ雜收入ノミニテ目下不如意勝チナルモ四月以降ハ收稅ニテ餘リアルト從ツテ差當リ金策ニ密輸品ニ着目セシモノナラン)

一月十日新稅關法實施ヲ布告昌黎以東北戴河南大寺秦皇島ニ亘リ一齊ニ密輸品假押ハ實施ヲ下命セルヲ以テ保安隊ハ何等手加減ヲ加ヘズ強制的ニ船舶家屋ノ臨檢貨物沒收(大部ハ賣却ノ爲政府側ノ手ニテ天津二運バレンシモ總領事館側ニテ押ヘ保管中ナリト)

船長扣留等ヲ行ヒシ爲十一日邦人側ハ是等取戻シ交渉中、意志疎通セズ數名銃劍ニテ刺サレ負傷セルモノナリト
 昨十五日主務領事及竹下山海關特務機關長協議ノ結果事ヲ表面ニ荒立テ密輸獎勵トナリテモ面白カラズ他方各種ノ關係ヲモ考慮邦人ニ對シテハ今後所謂課稅ハ正式ニ認メズ但シ現地ニテ當事者間ノ手數料云々位ハ默認臨檢貨

尙密輸品ノ陸揚ハ從來主トシテ昌黎ヨリ北戴河ニ至ル海岸ニテ行ハレ居リタルカ近來秦皇島ニ於テモ海關ノ面前ニテ相當大ツ平ニ陸揚セル例モアリトノコトナルモ塘沽ニ於テハ斯ルコトナシ(塘沽ノ天津海關出張所ニテ手續スルハ)船客荷物(塘沽、唐山等ニ於テ消費スル少額ノ貨物)天津宛貨物中牛馬、果實、鮮魚等列車ニ依リ天津ニ送ルコトヲ適當トスルモノニ限り到着貨物全体ノ一割ニモ滿タス原則トシテハ全部「ライター」ニテ天津ニ溯航シ天津本館ニテ手續ス)

支、北平、南京、青島へ轉電セリ
 支ヨリ上海へ轉報アリタシ

(付記)
 天津 1月16日後發
 軍令部 着

旅順要港部タナ四二番電報ニ依ル冀東政府ノ密輸拒止邦人加害事件ニ關シ
 一、例ノ如ク新聞逸早く本事件ヲ報道セルモ其ノ後總領事館ノ調査ノ結果事件ハ大體一月十日北戴河海岸ニテ日本發

物沒收等ヲ行ハシメザル事又政府ニハ近ク總領事館ヨリ型通り陳謝シ處罰將來保證治療費支出等ヲ要求スル事ニ意見一致、沒收貨物ノ處理モ併セテ近ク圓滿解決ノ筈。

662 昭和11年2月19日 広田外務大臣より
 在天津川越總領事宛(電報)

華北一帶で密輸等に從事する不良邦人を嚴重取締方訓令

別電 昭和十一年二月十九日發広田外務大臣ヨリ在天津川越總領事宛第一三號
 天津川越總領事宛第一三號
 右取締方針

第一二號 本省 2月19日後7時35分發
 冀察政權ノ樹立ニ伴ヒ内鮮人ニシテ同政權管下ニ移住スル者頓ニ増加シタル處右ノ内ニハ禁制品賣買其ノ他不正業ニ從事スル者乃至ハ素リニ「顧問」等ト稱シ不正乘車其ノ他各種ノ非行ヲナス不良ノ徒モ尠カラス右ハ冀察側指導上ヨリ云フモ面白カラサルニ付今後ハ右様不逞ノ徒ハ嚴重取締ルコト可然キ旨軍側ヨリ申出ノ次第アリタルヲ以テ係官ヨ

リ一月十八日附北平來信機密第一七號ノ如キ軍側措置ニ對シ注意ヲ喚起スルト共ニ當方ニ於テハ別電第一三號ノ趣旨ニ依リ今後共不正業者乃至不良邦人ノ取締ヲ一層嚴ニシテ北支ノ明朗化ヲ期スルコトトシ度ニ付軍側ニ於テモ右當方出先ノ措置ニ協力スル一方二月十一日附山海關來信機密第四一號等ノ趣旨ヲ出先ニ徹底セシメ軍ノ名ヲ藉ル所謂浪人等ノ策動ニ對シテハ嚴ニ注意ヲ加ヘラレ度旨申入レタル結果軍中央部ヨリ右ノ趣出先ニ訓電スルコトトナレルニ付テハ貴館手不足ノ次第ハ御察シスルモ右御含ノ上本件取締方此ノ上共御盡力相成度シ

尚本電並別電ノ趣旨ヲ普ク管下警察機關ニモ訓令シ取締ヲ勵行セシメラレタシ

本電軍側ト打合濟
訓令トシテ別電ト共ニ滿、北平、張家口ニ又參考トシテ支、南京、濟南、青島ニ轉電セリ

山海關ニ暗送アリタシ

(別電)

本省 2月19日後7時35分發

第一三號

邦人ノ取締ニ當リテハ彼等ノ正當ナル經濟的發展ヲ萎縮セシメサル様注意ヲ加フヘキハ勿論ノ儀ナルモ最近ニ於ケル北支不良邦人ノ非行ニハ目ニ餘ルモノモアルニ付今後ハ容赦ナク取締ルコトトシ布告等ノ形式ニテ右方針ヲ一般ニ徹底セシメラルルト共ニ不良ノ徒ニ對シテハ軍側出先トモ充分聯絡ノ上左記ニ依リ嚴重措置セラレ度シ

(イ)領事館ノ戒告ニ從ハサル者ニ對シテハ館令ノ罰則ヲ適用スルコト

(ロ)罪狀特ニ重キモノ又ハ館令違反三回以上ニ亘ル者ニ對シテハ在留禁止又ハ諭旨退去ノ處分ニ附スルコト

663 昭和11年2月24日 在南京須磨總領事より 広田外務大臣宛(電報)

海關制度維持の観点から華北密輸問題に對する日本側協力を在中國英國大使要請について

付記 昭和十一年三月四日付、東亞局第一課曾禰

(益)事務官作成

「北支ニ於ケル不正規貿易就中冀東政府ノ輸

入貨物ニ對スル特種徵稅ニ關スル意見(未定稿)

南京 2月24日後發

本省 2月24日夜着

第一七二號

往電第九四號ニ關シ

「カドガン」ハ二十四日本官ニ對シ北支海關ノ機能ハ殆ト停止状態ニテ稅收ハ減スル一方ナル趣ニテ「リースロス」モ實ハ支那側ニ對シ稅率高キニ失スル爲却テ稅收ヲ減セシメ居ル點ハアルモ北支ノ密輸ニ付日本側ト了解ヲ遂クルコト最肝要ナル旨「アドバイス」シタル次第モアル程ナレハ支那海關制度ノ維持ヨリスルモ豫テ有吉大使ニモ申入ノ通リ是非トモ日本側ノ協力ヲ得度シト申出テタルニ付本官ヨリ長城附近ノ海關多少簡易化サレ居ルハ支那側トノ合意ニ依ルモノニテ密輸防止ニ付如何ニモ日本側ト協定ヲ要スルカ如キ口吻ハ「リ」ヨリモ聞及ヒタルカ最近ノ關稅引上ノ爲支那全般ニ亘リ相當額ノ密輸カ正比例的ニ行ハレ居ル實狀ハ正確ナル數字ヲ以テモ説明シ得ル所ニシテ北支丈ケテ例ニ擧クルハ不可ナリト應酬シタルニ「カ」ハ冀察委員會

カ此ノ上海關接收ノ手續ヲ遂クルコトモナラハ支那ハ益々紛糾スヘキニ付篤ト日本側ノ考慮ヲ得度シト述ヘタルニ依リ何レニセヨ右ハ支那側ノ内政問題故我方ノ知ル所ニアラス貴方コソ支那側ニ對シ如何ニモ日本ノ行動ニ依リ海關收入ニ減少ヲ來シ居ルカ如キ話合ハ注意アリ度シト申入レ置キタリ

支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

(付記)

北支ニ於ケル不正規貿易就中冀東政府ノ輸入貨物ニ對スル特種徵稅ニ關スル意見(未定稿)

十一、三、四 曾禰

一、最近冀東政府ニ於テハ沿岸密輸取締ノ趣旨ヨリ角砂糖、人絹、砂糖、貝柱ニ對シ正規關稅四分ノ一ノ稅率ヲ定メ、留守營、昌黎、北戴河ノ三處ヲ陸揚地ト指定シ、輸入貨物查驗所ヲ設ケ徵稅及取締ニ當ラシムル一方、大連方面ヨリノ運輸ヲ旭組運輸公司其ノ他ニ指定請負ハシムルコトトナレル趣ナリ

三、冀東側本件措置ノ由來ニ付テ考フルニ曩ニ本年一月留守營ニ於ケル密輸業者ト保安隊トノ衝突事件ニ際シ冀東側ト荷主トノ間ニ一種ノ不正規徵稅ヲ以テ貨物引渡ノ妥協成リタルヲ切掛トシ冀東側トシテハ海關ヲ完全ニ接收スル迄ノ辦法トシテ右ノ如キ不正規低率徵稅ニ依リ密輸ヲ統制シ財源ヲ捻出セムト欲スルニ至リ既ニ殷汝耕ヨリ岸領事ニ對シ右ニ協力方申出タリ(之ニ對シ同領事建前上之ヲ容認シ難キ旨答ヘ置ケル由ナリ)

一方山海關軍特務機關ニ於テモ冀東地域ニ於ケル邦人ノ非行取締方考慮中ナリシカ、密輸ニ關シテハ北支政權カ海關ヲ接收セサル限り冀東側ト密接營業者トノ間ノ約束ニ基キ低率ナル課金ヲ納付スルノ方法ニ依リ調整スルコト可然トノ意見ナル如ク右軍側ノ意見カ自然冀東側今次ノ措置ニ影響セル所アリト認メラル

三、惟フニ支那ニ於ケル密輸ノ現象ハ經濟的原因即其ノ高率ナル關稅、自然的原因即其ノ海岸線ノ長大ニシテ陸境ノ境界線亦茫漠タルコト並政治的原因即關稅收入ニ對スル中央及地方政權ノ抗爭等ノ關係上人爲的ニ阻止ヲ試ミルコト極メテ困難ナルハ明カニシテ特ニ地理的及經濟的ニ

カラシムルハ勿論更ニ中支南支ニ直接輸入セラルル貨物ニ對シテハ捨鉢の高關稅ヲ設定シ來リ兩々相俟テ中支南支ニ於ケル我カ既得商權就中正規貿易商ノ地位ヲ根底ヨリ覆スニ至ル虞アレハナリ

四、北支密輸問題ヲ論スルニ當リ更ニ考慮ヲ要スル點ハ對列國關係ナリトス、列國側就中英國側夙ニ北支ニ於ケル密輸問題ニ重大ナル關心ヲ持シ來リ客年十一月同問題ニ關シ支那側ノ注意ヲ喚起スヘシトノ意見ヲ天津領事團ニ提出シ其ノ決議ヲ經テ北京外交團ヨリ支那政府ニ對シ本件取締方申入ルルコトニ取運ハムトセルカ我方ハ之ニ迂滑ニ贊成スルハ將來北支密輸問題ニ對スル我方ノ立場上危險ナリト認メ右外交團ヨリノ共同申入ニ反對セル經緯アリタルカ其ノ後冀東警察政權側ノ海關接收(特ニ外債負擔部分ノ歸屬)及同政權ノ關稅獨立ニ對スル日本ノ關與問題ニ對シテハ特ニ英國側ハ警戒ヲ怠ラサルモノノ如ク本年二月十日英國下院ニ於テ右等問題ニ關シ質疑應答アリタルカ二月二十四日「カドガン」大使ヨリモ須磨總領事ニ對シ北支海關ノ機能力事實上停止シ居ルコトヲ指摘シ支那海關制度ノ維持ニ付日本ノ協力ヲ得度旨申出アリ

斷然優越ナル地位ヲ有スル本邦ヨリ多量密輸入セラルルハ之亦自然ノ現象ナリ

茲ニ於テ密輸獎勵論ノ發生ヲ見ルハ故ナキニ非スシテ又最近北支自治獨立問題ノ進展ニ伴ヒ北支ヲ足場トシテ本邦密輸品ヲ全支ニ販布スヘシト言フ如キ議論ヲ聽クコト屢ナリ

然レトモ此ノ種議論ニハ直ニ贊意ヲ表スル能ハス蓋シ密輸ハ當ニ輸入國及第三國ノ商品ニ對シ打擊ヲ與フルニ止マラス同一商品ヲ取扱フ輸出國正規貿易業者ニモ同様ノ打擊ヲ與フルモノナルコトハ例ヘハ北支密輸問題ニ關シ天津青島本邦商工會議所ヨリノ屢次ノ陳情アリタルニ徵スルモ明カナリ、從テ又密輸國營論乃至ハ公營論ノ如キ主張モ存在スル譯ナルカ密輸ニ限り國營乃至ハ公營トスル如キコトハ我國現下ノ經濟、政治機構ニ鑑ミ到底實行性ナキヲ以テ取上クルニ足ラス

又北支ヲ足場トシテ全支ニ密輸貨物ヲ氾濫セシムヘシトノ議論モ亦遽カニ首肯シ難シ蓋シ北支ニ於テ密輸セラレタル貨物ニ對シ中支南支側ハ正規ノ課稅ヲ爲スハ勿論報復的ニ沒收ヲ爲シ爲メニ密輸品取扱者トノ間ニ事端ヲ繁

タリ(右ニ對シ同總領事ハ本件ハ專ラ支那内政上ノ問題ナル旨應酬シ置ケリ)

而シテ北支政權側ノ海關接收、接收後ノ北支特別關稅乃至ハ接收前ノ不正規課稅設定ニ對シテハ今後列國側特ニ英國側等ハ一層態度ヲ硬化シ來リ我方ノ責任ヲ問ヒ來ルコトアルヘシト稱セラル

五、右列國側ノ態度硬化ノ場合問題トナルヘク豫想セラルル點ハ(イ)財政上ノ問題即チ外債負擔部分ノ中央送金問題及一般中央稅收ノ減少並(ロ)條約上ノ問題ナリトス
右(イ)ノ中外債負擔部分ヲモ接收スルコトカ甚タ拙策ナルコト論ヲ俟タサルノミナラス滿洲國並ニ自主的積立ヲ聲明スルコトモ列國側ヲ安心セシムルニ足ラサルヘク旁北支政權側トシテモ外債負擔部分ハ中央ニ送金スルコトトナルヘク又中央政府稅收ノ一般的減少ニ對シテハ列國側ヨリ問題ヲ提起スル根據薄弱ナルヘシ

次ニ(ロ)ノ條約問題トシテハ(a)華府關稅條約第六條支那關稅率ノ全國的均一ノ原則並(b)華府九國條約ノ第一條第一號支那ノ行政的保全尊重ノ原則ニ籍口シテ該條約締約國側ヨリ北支政權側ノ措置ニ關スル日本ノ責任問題ヲ提起

シ來ルコトナシトセサルノミナラス(c)若シ北支政權側カ日本國又ハ日本人ニ對シテノミ特別ノ取扱ヲ爲スニ於テハ九國條約第一條第三號機會均等ノ原則及華府關稅條約第五條ノ關稅ニ關スル待遇及機會ノ現實ノ均等ノ主義ニ反スルトノ論アルヘシ

尙直接日本ノ責任ヲ追及シ來ラサル場合ニ於テモ尙列國側ハ支那側ニ對シ右ノ如キ條約ノ規定遵守方申入ヲ爲サムトシ日本ニ對シテモ右申入ニ加ハルコトヲ勸誘スル等ノ間接的方法ニ依リ日本側ヲ苦シメムト策スルコトナシトセサルヘシ

六 從テ我方トシテハ北支政權側ノ海關接收、接收前ノ不正規課稅乃至ハ接收後ノ北支特別關稅設定ニ對シテハ正式ニ承認ヲ與フルコトハ之ヲ避クヘキハ勿論(尤モ北支獨立完成ノ曉ニハ別問題ナリ)苟モ我方カ之等北支政權側ノ措置ニ關與シ居ル如キ印象ヲ與ヘサル様注意シ飽ク迄支那側ノ内政問題トシテ取扱ヒ支那側ニ對シテ列國ト共同ニ抗議スル筋合ニ非ストノ建前ヲ持スルト共ニ本邦人カ北支政權側ト稅率ヲ協定スル場合ニ於テモ右ハ專ラ彼等ノ自發的行動ナリト説明シ得ル様注意ヲ怠ラサルコト

支「カドガン」英大使カ須磨總領事ニ對シ北支政權側ノ措置ニ關聯シ質問並申入ヲ爲シタルニ對シ同總領事ハ右ハ「内政問題」ナリト應酬シ置ケリ次第ナリ

七 結論トシテ北支ニ於ケル不正規貿易及北支政權側ノ海關接收、輸入品特殊課稅問題ニ付テハ左ノ如ク考フルモノナリ

(一) 此ノ種不正規貿易ハ根本ニ於テ人爲的ニ阻止シ得サル自然的經濟的現象ナリ

(二) 然レトモ不正規貿易積極化論乃至ハ國營論ノ如キハ我方ノ眞ノ利益ニ合致セサルカ乃至ハ實行不可能ノ議論ナリ

(三) 從テ北支不正規貿易ハ原則トシテ禁遏モセス獎勵モセス唯出來得ル限り對支(北支政權及中央政府)對列國關係上及對本邦側正規貿易關係上支障少ナキ方面ニ導クコトヲ要ス

(四) 而シテ海關ノ接收及特別關稅制度ヲ設定スルヨリモ海關ハ存置シ別ニ密輸品ニ對シ通過稅手数料等ノ名目ニテ徵稅スル方カ對列國關係上我方ノ立場ハ都合良シ(因此ノ見地ヨリスレハ冀東政權側今次ノ不正規課稅ノ方

必要ナルカ尙進ムテ北支政權側ヲシテ日本人又ハ日本品ニ對スル特別ナル取扱ニ非スシテ他ヲシテ均霑セシムル建前ヲ持セシムル如ク側面ヨリ誘導スルノ用意アリテ可然

將又等シク北支政權側カ輸入品特別課稅制度ヲ設クルニ當ツテモ(i)海關ヲ接收シ特別關稅制度ヲ設クル場合ト(ii)海關ノ機能ハ存置スルノ建前ノ下ニ通過稅手数料等ノ名目ヲ用ヒテ徵稅スル場合トハ我方ノ條約上ノ立場ハ同シカラス即(i)ノ場合ニ於テハ前記ノ如ク華府關稅條約第六條ノ關稅率均一ノ原則ニ反スルコトナリ對列國關係上我方ノ責任問題生スル虞アルヘキモ(ii)ノ場合ニ於テハ單ニ支那ト日本トノ間ノ不當課稅ノ問題生スルノミナリ(尤モ右ハ形式論ニシテ(ii)ノ場合ニ於テモ例ヘハ今次冀東側ノ課稅ノ如キハ實質的ニハ特別關稅率ト看做スヘキモノナルヘシ)依テ我方トシテハ冀東側ヲシテ出來得ル限り右(ii)ノ方法ニ依ラシムルコト可然

之ヲ從來北支政權側及我方外務官憲ノ說明應酬振ニ徵スルニ例ヘハ一月通州ニ於テ殷汝耕ハ岸領事ニ對シ「通過料」ヲ徵收スルモノナル旨説明シ居リ又二月二十四日在

法ハ必スシモ惡カラス

(六) 併シ乍ラ我方トシテハ左記諸點ヲ眼中ニ置キ冀東側ヲ側面指導スルコト必要ナリ

(イ) 我方トシテハ之ヲ正式ニ承認シ得ス

(ロ) 當業者ノ自發的納附ナレハ強制力ナシ

(ハ) 本件措置ハ我方ノ關知セサルモノニシテ專ラ支那ノ内政問題ナリ

(ニ) 課稅ノ性質ハ一種ノ手数料乃至ハ通過稅位トスルヲ可トシ孰レニスルモ特別關稅ニハ非サル建前ヲ執ルコト必要ナリ

(ホ) 本件取扱ハ日本人又ハ日本品ノミニ對スルモノニ非サルノ建前ヲ要ス從テ例ヘハ大連ヨリノ輸送ヲ統制スルニ當ツテモ日本商社又ハ日本人ヲ獨占的ニ指定スル如キコトハ成ルヘク之ヲ避クルヲ要ス

664

昭和11年2月25日

在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

華北一帯の密輸品充満状況に対し日本側防止措置を張群要求について

第一七四號

本官發支宛電報

第一七三號

張外交部長ハ二月二十四日附貴代理大使宛照會ヲ以テ泰皇(案)島地方ニ於ケル日鮮人ノ密輸入防止方ニ付テハ客年十一月十九日附抗議ニ及ヒ置キタルカ最近ノ報告ニ依レハ同地方一帶ニ於ケル密輸ハ益甚タシク日本軍ノ不法干涉ヲ受ケテ取締ノ方法ナク羅城地方ノ石河轉運公司ハ苦力千餘名ヲ擁シ専ラ密輸ニ當リ居リ全ク驚クノ外ナシ最近密輸品ハ華北ニ充滿シ居ルノミナラス天津ヨリ津浦、京滬兩線ヲ經テ南方ニモ販賣セラレ内外商民等シク憤慨シ居リ又旅客ノ無賃乗車モ甚タシク此ノ種支那ノ主權侵害行為ハ日支國交ニ影響スル所大ナルニ付阻止方至急御措置ノ上結果御回答相成度シトノ旨申越セリ原文郵送

大臣、北平、天津へ轉電セリ

上海へ轉報アリタシ

南京 2月25日前發
本省 2月25日後着

666 昭和11年2月26日

在中国武藤大使館一等書記官より
広田外務大臣宛(電報)

冀東政權の特別税制定につき報告

北平 2月26日後發
本省 2月26日夜着

第七八號(極秘)

本官發支宛電報

第六四號

貴電合第一一四號ニ關シ

實際ノ狀況ハ當方ニテハ不明ナルモ冀東政府ハ今般特別税ヲ制定シ輸入貨物ノ陸揚及検査等ニ關シ密令ヲ發シ暫行規則ヲ制定シタル趣ヲ以テ右ニ關スル印刷物在山海關竹下特務機關長ヨリ當館ニ送付アリ右寫ハ二月二十日附拙信ヲ以テ大臣、貴館、南京、天津其ノ他へ既ニ郵送シ置ケルニ付右ニテ御了承相成度シ

大臣、南京、天津へ轉電セリ

667 昭和11年2月27日

在天津川越總領事より
広田外務大臣宛(電報)

665 昭和11年2月25日

在中国若杉臨時代理大使より
広田外務大臣宛(電報)

冀東政權が砂糖・人絹等に対して現行税率の四分の一を徴収する特別税制度を導入との報道の真偽につき照会

上海 2月25日夜發
本省 2月25日夜着

第一四二號

本官發北平、天津宛電報

合第一一四號

二十五日上海日報ハ大連特信トシテ冀東政府ハ近く特別税率ヲ制定シ砂糖、人絹、貝柱等ノ税率ヲ現行ノ約四分の一ニ減シ(税率ヲ記載ス)且附加税ヲ廢止スルト共ニ密輸ノ取締ヲ嚴ニシ荷揚地ヲ限定シ旭組運輸公司及大連ニテ成立公認セラレタル發動汽船組合ヲシテ運輸ヲ統制セシムル旨ヲ報シ居ル處當地ニモ關係スル所大ナリトシテ邦商等ヨリ問合せアリ右報道ノ眞否御確メノ上御回電ヲ請フ

本電宛先北平及天津

大臣、南京へ轉電セリ

冀東政權の特別税制定による密輸品運搬の実情につき報告

天津 2月27日後發
本省 2月27日夜着

第六四號

本官發支宛電報

第一〇號

貴電合第一一四號ニ關シ

(一)冀東ノ密輸品課税ニ付テハ二月二十日附北平發大臣宛機密第三〇號竹下公館通牒ノ通り

(二)冀東政府ハ差當リ旭組ノミニ對シ陸揚地ヨリ驛ニ至ル運搬請負ヲ指示セルカ右ハ陸揚品ノ散逸ヲ防ク趣旨ニシテ必スシモ獨占セシムルノ意ニハアラス將來他ニモ許シ又ハ請負者ヲ變更セシムルコトアルヘシ

(三)大連ノ發動機船組合ニ付テハ詳ニシ難キモ右ハ船主側ノ問題ニシテ冀東側トシテハ目下ノ所陸揚地ヲ指定セルノミニテ海上運搬統制ノ意ナシ

(四)及(三)冀東政府天津辦事處員談

大臣、北平、南京へ轉電セリ

668 昭和11年3月11日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

華北密輸対策に関する行政院の審議状況について

南京 3月11日後発
本省 3月11日後着

第二二五號

十日ノ行政院會議ハ天津、秦皇島兩海關ニ於ケル日本ノ干渉ニ關シ外交、財政兩部ヨリ提出セル

ハ外交部ヨリ重ネテ嚴重抗議ス

三、財政部ヨリ海關ニ對シ取締員ノ武装ヲ復活シ嚴重取締方ヲ命ス

トノ建議案ヲ審議ノ結果外交、財政、鐵道三部ニ於テ有效ナル方法ヲ攻究スヘキ旨決議セルカ右三部ハ近日中具體辦法ヲ決定スヘキ趣ナリ
支、北平、天津へ轉電セリ

編注 訂正電報により、本電報の転電先は「支、北平、天津、青島、濟南へ轉電セリ 支ヨリ上海へ、青島ヨリ芝罘へ轉報アリタシ」と訂正された。

669 昭和11年3月12日 在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

天津より鉄道にて貨物を南送するには海関發行の納税証提示を必要とする制度が実施されるとの情報について

南京 3月12日後発
本省 3月12日夜着

第二三四號

往電第二二五號ニ關シ

新聞報道ニ依レハ財政、鐵道兩部協議ノ結果爾後天津ヨリ鐵道便ニテ南方ニ輸送セラルル貨物ハ總テ海關ノ納税證ヲ呈示スルニアラサレハ停車場ニテ受付ヲ拒絶スルコトトシ茲一週間内ニ實施スルコトナリタル趣ナリ
支、北平、天津、青島、濟南へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報シ青島ヨリ芝罘へ暗送アリタシ

670 昭和11年3月13日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

華北から華中方面への人絹・砂糖等の密輸品

流入による影響は多大との状況につき報告

上海 3月13日夜発
本省 3月13日夜着

第六八號

南京發閣下宛電報第二二五號及第二三四號ニ關シ

一、國民政府カ北支ニ於ケル密輸防止並ニ該密輸品ノ中支方面へノ輸送防止ニ腐心シ居ル次第ハ右電報ノ通ナル處當地稅關ニ於テハ北支方面ヨリ鐵道又ハ小包郵便等ヲ以テ輸送セラルル人絹ニ對シ既ニ客年末ヨリ鐵道側及郵便局側ト聯絡シ監視ヲ嚴重ニシ關稅納稅證ナキモノ又ハ納稅證アルモノ右カ相當ノ年限ヲ經過シ居リ果シテ現ニ輸送シ來レル貨物ニ對シ發給セラレタルモノナルヤ否ヤ判別シ難キモノ等ハ總テ不正品ト認メ抑留設收スルノ方針ヲ取リツツアリ天津日本商人ニシテ當地稅關トノ間ニ問題ヲ惹起セルモノ鮮カラス(客年十二月二十七日附天津宛往信第八七一號參照)最近ニ至リテハ右納稅證ノミナラス更ニ積出ノ際天津稅關ニ於テ登記セル積出許可證(海關准許報運憑證)呈示ヲ求メ居リ而モ天津稅關ハ原荷原裝ノモノニアラサレハ右許可證ヲ發給セス極力密輸品ノ當

方面輸送防止ニ努メ居レリ

一、右ニモ拘ラス最近北方ヨリ當方面ニ輸送セラルル人絹、砂糖等ハ相當額ニ止リ各方面ニ相當ノ影響ヲ與ヘ居ル模様ニテ例ヘハ當地支那側砂糖組合ハ會員ニシテ北支ヨリノ密輸品ヲ販賣セルモノハ除名スヘキ旨決議シ日本側砂糖商モ南北ヨリ密輸品ノ挾打ニ遭ヒ奧地向商賣ハ頗ル不振ナリト零シ居リ人絹相場モ密輸品ノ影響ヲ受ケ一箱ニ百封度入三百四十元見當ニシテ(天津相場ト比較スレハ猶百四、五十元ノ開アル由)輸入正稅ヲ支拂ヒ當地ニテ正式ニ輸入シテハ引合ハサル爲殆ト輸入ナキ状態ニシテ又當地紡績等ニテモ北支ニ於テ上等品カ安價ニ輸入セラレ且全國的ニ輸送セラルルコトナレハ在華紡績トシテハ致命的打撃ヲ受クルコトナルヘシトテ相當憂慮シ居ル模様ナリ(異細郵報)

支へ轉報シ天津、北平、南京、青島、濟南へ轉電セリ
青島ヨリ芝罘へ轉報アリタシ

671 昭和11年3月17日 在天津川越總領事より
広田外務大臣宛(電報)

天津海関による納税済在庫貨物検査規則の布告について

別電 昭和十一年三月十七日発在天津川越総領事より
り広田外務大臣宛第一〇一號
右布告

天津 3月17日前発
本省 3月17日前着

第一〇〇號

當地海關ハ十三日附ヲ以テ別電第一〇一號ノ如キ海關告示ヲ發セリ右ハ北支密輸入防止對策ナル處事情ニ通セル運送業者ノ見込ニ依レハ右支那側ノ措置ハ到底現下ノ密輸入防止ニ効果無カルヘシトノコトナルカ元來本件告示ハ理論上ヨリ言ヘハ邦人ニ對スル之カ適用ヲ排除シ得ヘキ筋合トハ認メラルルモ諸般ノ事情ニ顧ミ此ノ際ハ之ヲ默過スル所存ナリ尙當地海關ハ目下北寧鐵路局ニ對シ海關ノ検査證ナキ貨物ノ輸送ヲ拒否セントスル辦法制定方内議シ居レル由ナルカ右實現ノ場合モ亦右ト同様ノ態度ヲ執ル積リナリ御了承ヲ請フ

支、北平、滿、在支各總領事、厦門、芝罘へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

(別電)

天津 3月17日前発
本省 3月17日夜着

第一〇一號

茲ニ納税済在庫人絹及砂糖等洋貨(英文佈告ニハ人絹又ハ砂糖ニ限り居レリ)ニ關スル天津海關検査規則ヲ左ノ通り規定佈告ス

一、商人又ハ商社ニシテ今後民國二十五年一月一日以前ニ於テ納税ノ上輸入セル人絹及砂糖等洋貨(英文佈告ニハ人絹及砂糖ニ品ナリ)ヲ汽船又ハ汽車ニテ再ヒ内地及其ノ他國內諸港へ積出サントスルモノハ至急原輸入納税證憑ヲ添付ノ上本(海)關ニ對シ検査證明ヲ申請スヘシ

二、本海關ハ右申請ヲ受理スルトキハ員ヲ派シ申請人ノ倉庫又ハ貨棧ニ於テ検査ヲ行フ若シ貨物カ輸入當時ノ報告ト合致スルトキハ「在庫洋貨(人絹又ハ砂糖)受檢證明書」(茲ニテハ英漢兩佈告共人絹及砂糖ノ二品ニ限り居レリ)ヲ申請人ニ發給ス爾後當地ヨリ積出サントスルトキハ本

證書ヲ海關へ提出シ他ノ證憑ト引換フルモノトス
三、前記ノ在庫貨物検査ハ本月二十日迄ニ之ヲ完了ス右期限後ハ「在庫洋貨(人絹又ハ砂糖)受檢書」ヲ發給セス貨物検査ヲ受ケントスル者ハ速ニ申請スヘシ
四、以上ノ検査ニハ本(海)關ハ何等料金ヲ徴セス

以上

672 昭和11年3月19日 在天津川越總領事より
広田外務大臣宛(電報)

天津海関による密輸取締暫定規則の布告について

別電 昭和十一年三月二十日發在天津川越總領事より
り広田外務大臣宛第一一〇號
右布告

天津 3月19日後発
本省 3月19日夜着

第一〇九號

往電第一〇〇號ニ關シ

天津海關ハ愈北寧トノ交渉ヲ遂ケ三月十七日附ヲ以テ別電第一一〇號ノ通り海關佈告ヲ爲セリ本件佈告ハ冒頭電所報

ノ海關佈告ニ比シ更ニ一步ヲ進メタルモノナルカ我方トノ間ニ問題發生ノ場合之カ適用ヲ否認スルノ態度ヲ執ル所存ナリ
本電別電ト共ニ支、北平、在支各總領事、厦門、芝罘、滿へ轉電セリ

(別電)

天津 3月20日前発
本省 3月20日前着

第一一〇號

今般北寧鐵路局トノ商定ヲ經本年三月廿一日ヨリ下記ノ暫行辦法ヲ實行ス

鐵路ニ依リ運送スル洋貨ハ驛貨物置場又ハ小荷物係ニ搬入スル以前ニ於テ海關ニ對シ検査ヲ申請スルト共ニ驛ヨリ無料ニテ「海關准許報運憑證」(Transportation Permit)ヲ受取り之ニ所定ノ書入ヲ行フモノトス検査ノ上ハ海關之ニ捺印シテ運送申請人ニ交付シ運送申請人ハ託送申込書ト共ニ驛へ一括提出シ其ノ點檢ヲ受ク前記憑證ナキカ符合セサルカ又ハ海關ノ捺印ナキモノニ付テハ驛ハ託送ヲ拒絕ス

貨物運送申請ニ關スル手續ニ付左ノ通り本關之ヲ規定セリ
一運送申請人ハ遅クトモ運送ノ一日以前ニ於テ舊輸入税納
付書等(英文告示ハ輸入税納付書ニ限り居レリ)ノ證明書
類ヲ同封ノ上海關總務科ニ對シ運送申請書ヲ提出シ検査
ヲ申請スヘシ

ニ海關總務科カ本件申請書ヲ受理スルトキハ舊輸入申告書
ト突合ヲ行ヒ符合スルトキハ之ヲ下記ノ各貨物検査場ノ
在勤海關吏へ移牒ス

(甲)本件貨物検査場(英文ニテハ海關ト註ス)

(乙)河北大經路及新大路ノ角(北寧管理局ノ附近)ノ海關特
別貨物検査場(專ラ鐵道輸送貨物ノ検査ニ當ツ)

前項ノ貨物ハ各運送申請人ノ倉庫ニ於テ検査スルモ差支
ナシ但シ所定ノ特別海關検査費ヲ納入スヘシ
検査ト運送申請書ト合致スルトキハ海關吏ニ於テ「海關
准許報運憑證」ニ捺印ノ上之ヲ運送申請人ニ交付シ託送
手續ヲ處理セシム

673 昭和11年3月31日

在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

直ニ意見ヲ述ヘタリ
尙「カ」ハ「リースロス」ヨリハ本國政府ニ印度洋經由ハ
氣候等ノ關係モアリ取止メ日本經由歸國方請訓中ナルモ猶
音沙汰無シト述ヘ居タリ
支、北平、在支各總領事、厦門へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

674 昭和11年4月18日

在上海石射總領事より
有田外務大臣宛(電報)

問題ある密輸業者に対しては容赦なく処分す
る方針につき報告

第二二七號

往電第六八號ニ關シ

北支ヨリ鐵道乃至郵便小包ニ依ル當方面へノ密輸品輸送ハ
支那側ノ嚴重ナル取締ニ依リ六ヶ數クナリ取扱商人ハ可成
リ閉口シ來レル様ナルカ一方當館トシテモ密輸品タルコト
殆ト想像ニ難カラスシテ税關側ニ對シ對抗要件ヲ具備セサ

上海 4月18日後発
本省 4月18日夜着

密輸横行による海關制度の危機的状况に對し
日本側取締を在中國英國大使要請について

南京 3月31日後発
本省 3月31日夜着

第二六九號

三十一日「カドガン」來訪ノ際有田大使張群會見ニ付尋ネ
タル上(然ルヘク應答シ置キタリ)北支ノ實情ハ支那ノ主權
ヲ疑ハシムル狀況ニテ特ニ海關制度ハ密輸ノ爲正ニ破壊セ
ラレントシツツアル處忌憚ナク言ヘハ日本側官憲ニシテ決
心セハ直ニ取締リ得ヘキモノ多々アリト述ヘ「リースロス」
ノ如キモ關稅ノ過當ナル高率カ密輸ノ原因ナルハ認メ居ル
モ主タル原因ハ日本官憲ノ擁護ニアリト力説シ(此ノ點ニ
對シテハ其ノ見解ノ非ナルヲ説示シ置キタリ)從來日支關
係好轉ノ爲ニハ英國モ協力シ度ク考ヘ居タルカ別レニ臨ミ
打明ケテ言ヘハ右協力ニハ日本カ北支ニ於テモ支那ノ主權
ヲ害セス又英國等ノ同地方ニ於ケル利益ヲ害セサル保障無
キ限リ輕々ニ乗出シ難シ日支關係ハ懸案解決ノ末節ヲ急ク
ヨリモ北支問題殊ニ停戰協定ノ如キ「アブノーマリティー」
ヲ早く除去シ根本的解決ヲ遂クルニ如カスト平常ニナク率

ル「ケース」ヲ取上クル譯ニ行カス之ヲ「サポート」セサ
ル方針ヲ取り居ル爲最近斯ル密輸業者ニシテ問題ヲ當館ニ
持込ム者殆ト無キニ至リタルカ彼等ノ密輸送ハ尙相當行ハ
レ税關吏又ハ鐵道従業員ヲ買収シ又ハ税關力原荷原裝ノモ
ノニ非サレハ北支ヨリノ輸送許可證ヲ發給セサル爲新ニ輸
入ノ際ト同様ノ「マーク」ヲ附セル箱ヲ作り巧ニ詰替ヲ行
ヒ許可證ノ取付ヲ爲シ又ハ内地、大連等ニテ人絹ヲ織物ト
爲シ之ヲ北支ニ輸送シ支那產土貨ノ如ク見セカケ當地ニ輸
送スル等税關側取締ノ裏ヲ搔キ種々ノ手段ヲ講シ居ルノミ
ナラス税關側ニ發見抑留セラルレハ自ラ停車場ニ赴キ税關
吏、驛員等ヲ脅迫シ強力ヲ以テ之カ奪回ヲ企テントスル者
スラ現ハレ來リ最近天津一邦商カ拳銃ヲ以テ税關吏ヲ威嚇
シ抑留人絹ヲ持チ歸ラントセル事件發生セルヤニテ税關長
ヨリ當館ニ抗議ヲ持込ミ來リタル事件アリ又鐵路局長ヨリ
モ日本人カ驛員ヲ棍棒ニテ脅迫セル事件二回發生セリトテ
書面ヲ以テ取締方要求シ來リタルコトアリ前者ニ付テハ目
下警察ニテ嚴重取締中ニシテ後者ハ該日本人ノ姓名、住所
判明セス取調ノ方法無キヲ以テ此ノ旨口頭ヲ以テ先方ニ回
答シ置キタルカ今後共當館トシテハ斯ノ如キ暴力ヲ用ヒテ

税關側トノ間ニ問題ヲ惹起スルカ如キモノハ我方獨自ノ見解ヲ以テ容赦ナク處分スル方針ナリ
支ヘ轉報シ北平、天津、南京、青島、濟南ヘ轉電セリ
青島ヨリ芝罘ヘ暗送アリタシ

675 昭和11年4月18日
在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

中国税関監視船の武装復活は塘沽停戦協定違反にあらずとの財政部見解に反駁について

南京 4月18日後発
本省 4月18日夜着

第三三三號

北支ノ密輸取締ニ關シ最近支那側ニ於テハ愈監視船ノ武装復活ヲ實行スヘシトノ噂アリ現ニ本十七日外國新聞記者ヨリモ同様ノ聞込アリタルヲ以テ本官鄒琳ト會見ノ節右計畫ノ實否ニ付質シタルニ鄒ハ右ハ海關自身ノ問題ニ付財政部トシテハ承知セスト述ヘタルニ依リ本官ヨリ更ニ右ノ如キ重要問題ニ付キテモ海關ハ財政部ニ請訓ノ要ナキ次第ナリヤト突込ミタルニ鄒ハ頗ル慌テ氣味ニテ實ハ天津海關ヨリ

上海 4月21日夜着
本省 4月21日夜着

第二六六號

本官發天津宛電報

第一七號

二十日各英字紙ハ十九日京津日日ノ記事ヲ轉報セル同日貴地發路透電トシテ冀察政權ニ於テハ大沽南方ノ岐口及 Shao chia kow 等ニ輸入貨物特別陸揚所ヲ設ケ同所陸揚ノ貨物ニ對シテハ冀東政權ノ徵收スル稅率ノ半額ヲ徵收シ軍隊ヲ以テ陸揚運送ヲ保護スルコトナリ居リ三月二十五日滄州鹽山沿岸監督局ヲ設立セルカ砂糖、人絹ヲ積載スル發動機船四隻十九日大連ヨリ入港スル豫定ニテ天津稅關カ冀察側ニ接收セラルルト否トニ拘ラス右制度ハ之ニ取ツテ代ルモノナリト報シ居ル處右ニ付何等心當リアリヤ御回電ヲ請フ

大臣、北平、南京、青島ヘ轉電セリ

677 昭和11年4月26日
在濟南西田總領事より
有田外務大臣宛(電報)

監視船ノ武装カ塘沽協定違反ナリヤ否ヤニ付請訓アリタルヲ以テ財政部トシテハ純理論上ハ違反ニアラスト回答セルコトハアルモ武装復活ト否トハ天津海關ノ裁量ニ依ルモノニ付財政部トシテハ承知セスト答ヘタリ依テ本官ヨリ種々曲折ヲ經タル上監視船ノ武装ハ解釋上塘沽協定違反ナリト言フニ双方ノ見解ヲ落着カシメ漸ク今日ノ平和状態ヲ維持シ居レルヲ突然違反ニアラスト言フカ如キ回訓ヲ與フルニ於テハ事態ヲ逆轉セシメ由々敷キ結果ヲ招來スル惧アリ此ノ邊ハ充分御考慮ノ要アルヘシト一本釘ハ差シ置キタルカ支那側トシテハ武装復活ヲ目論見居レルモノナルヤニ認メラル不取敢

676 昭和11年4月21日
在中国若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

冀察政務委員會が冀東政權の半額の特別税を徵收する制度を導入との報道について

濟南 4月26日後発
本省 4月26日夜着

第六八號

天津より流入の密輸品が増加傾向にある状況につき報告

冀東政府管下沿岸ヨリ輸入セラルル本邦品主トシテ人絹、砂糖、煙草、紙等ノ天津經由當地ニ流入シ來ルモノ漸次増加ノ傾向アリ支那側ニ於テハ之カ防止ノ爲天津驛ニ於テ關稅納付ノ證據ナキモノハ鐵道貨物扱ノ輸送ヲ拒絕シ又手荷物トシテ(運輸規定ニ基ク運賃ヲ徵ス)運搬シ來リタルモノト雖驛ノ赤帽ヲシテ運搬セシメサル等種々方法ヲ講シツツアルモ一面輸送者側(主トシテ鮮人)ハ何レモ團體ヲ作り各手荷物トシテ相當量ヲ列車内ニ持込ミ當地驛ニ下車ノ上人手ヲ借ラス自ラ運搬シ(最近濟南驛下車ノ此ノ種運搬者ハ多キトキハ一日數十名ニ達ス)或ハ天津以南ノ津浦線途中驛ヨリ當地及周村方面ニ鐵道貨物トシテ送付シツツアル狀況ナリ

此ノ種商品狀況ノ委細ハ郵報スヘキモ試ニ人絹絲ノ一例ヲ舉クレハ最近百二十番手天橋級内地原價百封度六十二、三

特別税制度導入後における冀東政權の関稅収
入について

機密第一三〇號

(5月4日接受)

昭和十一年四月二十八日

在山海關

副領事 原 二吉(印)

外務大臣 有田 八郎殿
冀東政府査檢所ノ收入ニ關スル件

冀東政府ニ於テハ三月上旬ヨリ秦皇島南大寺、留守營、北戴河、昌黎ノ五個所ニ査檢所ヲ設置シ沿岸貿易ノ貨物ヨリ月約五拾萬圓ノ海關收入ヲ豫想シ居タル趣キナルカ其後冀察政府ノ南支及奧地方ヘ是等貨物ノ輸送牽制ト一面平津地方ノ滯貨ト且一度冀察政府ノ課稅企劃報セラル、ニ及ヒ冀東政府ノ査檢要領ノ緩和(頭初規定ノ課稅ヲ納入セサレハ絶對ニ貨物ノ陸揚ケヲ許容セサリシニ最近ハ運送業者ノ保證ニヨリ陸揚ケヲ爲サシメアリト謂フ)サレタルヲ五月一日ヨリ一般ニ稅率ノ引下ケアルモノト誤報サレタル爲メ本月中旬頃ヨリ殆ント休止ノ狀態ナルモ冀東政府ノ査檢所開設以來秦皇島査檢所ノ關稅收入ハ約參拾萬圓ト稱セラレ前

圓、大連六十五圓、天津八十五圓、周村百五圓ノ相場ナル處之ヲ正式ニ輸入セラレタル上海相場百九十圓見當ニ比シ大ナル懸隔アリ最近大連ヨリ冀東沿岸ヘノ輸入額ハ一箇月約二百萬封度ニシテ右ノ中天津ヨリ濟南經由周村ニ輸送セラルルモノ一箇月約四十萬封度ナリ右ハ主トシテ天津、高陽、饒陽(以上河北省)及周村方面ニ於テ晝夜兼行ニテ絹布ニ織上ケ織物トシテ當地通過上海其ノ他ノ南方ヘ輸送セラレツアリ

右人絹絲ノ市價ハ支那側ノ取締如何ニ依リ騰落シ居ルカ今日迄ノ所山東省内ニテハ本官ノ警告モアリ特別ノ取締無キ爲未タ抑留等ノ事件發生セス唯周村ニ於テハ同地駐屯軍隊等ニ於テ支那人ヨリ二百封度ニ付二十元乃至二十五元程度ノ手数料(稽查費又ハ營業稅トモ稱ス)ヲ徵收シ自由ニ取引セシメ居レル趣ナリ

支、滿、北平、天津、青島、南京ヘ轉電セリ

支ヨリ上海商務官ヘ轉報アリタシ

678 昭和十一年4月28日
在山海關原(二五)副領事より
有田外務大臣宛

記各所ヲ通算スル時ハ約壹百萬圓ノ收入ヲ擧ケタリト云フ(八十萬トモ稱セララル)

從テ海關收入ハ將來冀東政府唯一ノ財源ト評セラレアリ

右何等御參考迄報告ス

本信寫送附先 天津 北平 奉天 上海 在滿大使

679 昭和十一年4月29日
在濟南西田總領事より
有田外務大臣宛(電報)

天津より流入の密輸品対策につき韓復榘山東
省主席内話について

付 記 昭和十一年五月十二日付、東亞局第一課曾瀨事務官作成

「北支特殊貿易ノ現狀(訂正稿)」

濟南 4月29日前発
本省 4月29日夜着

第七〇號(極秘扱)

往電第六八號ニ關シ

天津方面ヨリ流入スル本邦商品増加ノ傾向ニ顧ミ本官ハ先般來韓主席ニ對シ此ノ種商品流入防止ノ爲取締ヲ行ヒ

商品ヲ差押ヘ又ハ關係本邦商人ノ自由ヲ束縛スル等ノコトアリテハ從來ノ如キ種々ノ事件(既報ノ通り殆ト全部解決セリ)ノ發生アリテハ面白カラサルニ付注意アリ度キ旨我方ノ主張ト共ニ特ニ警告シ置キタルニ今日迄ノ處差押等ノ事件發生セス取引行ハレ居ル處

二、二十三日韓ハ本官ヲ來訪シ内密ナルカト前提シ從來正式輸入ニ依ラサル商品ノ天津方面ヨリ流入スルモノニ對シテハ貴下ノ話ノ次第モアリ然ルヘク手加減ヲ加ヘ居タル處最近此ノ種商品益々増加シ之ヲ放置スルトキハ當地及青島ノ市場ヲ攪亂シ遂ニ正業者ノ業務ヲ危殆ニ陥ラシムル惧アリ支那商人側ヨリ陳情ノ次第アルノミナラス青島ニ自分カ出張中日本商人側ヨリモ困難シ居ル事情ヲ聽キタルコトアリ何トカ之カ對策ヲ講シ度ク御相談ニ上リタル次第ナルカ自分ハ天津方面ヨリ流入スル此ノ種商品ヲ阻止スル趣旨ニハアラサルモ青島ヨリノ正式輸入商品ト「バランス」ヲ取ル爲中央ニハ内密ニ

(一)德州ニ貨物稽査處ヲ設ケテ海關稅ノ幾割カヲ稽査費トシテ徵收スルカ或ハ

(二)當地其ノ他ニ於テ此ノ種商品取扱者ニ對シ特別營業稅

ヲ課スルカ

ノ方法ヲ執ルナラハ此ノ種商品ノ濫入防止策トシテ効果アリト考ヘラルルカ如何ニヤ右ハ日本側トノ折衝問題發生ヲ免レス又中央側トノ問題モ起ル次第ナルカ日本側トノ事件發生ヲ避ケツツ當地及青島日支商人ノ困難ヲ打開致度キ考ナリト述ヘタリ

三、依テ本官ヨリ貴説(一)ハ實際問題トシテ各商品ノ「バランス」ヲ調整シタル稽查費ヲ徴收スルカ如キコトハ事實不可能ナリ又支那人ニ對シテハ兎モ角日本人扱ノ商品ニ對スル稽查費徴收ノ如キハ勿論承認シ難ク且德州等ニ稽查處ヲ設置スルコトハ必スヤ華北問題ニ對スル貴主席ノ認識不足等ノ誤解ヲ生スヘク貴官ノ爲ニモ執ラサル所ナリ貴説(二)此ノ種商品取扱ノ日本人ニ對スル營業稅徴收ノ如キハ絕對ニ承認シ難ク又支那人ヨリ徴收スルコトモ種々ナル弊害起リ結局貴方ノ爲ニハナラサルヘシ依テ現狀ノ儘トスルコト然ルヘク唯從來周村方面ニハ何等カノ手數料(同地軍系ニテ或種ノ手數料ヲ徴收シ居リ山東省政府モ了解アリトノ噂アリ)ノ行ハレ居ル聞込モアリ右ハ兎モ角トシテ貴官ヨリ現時ノ如キ地方情勢ニモ鑑ミ至急海

領事館側ヨリノ説明、昌黎ニ於ケル視察、天津ニ於ケル竹下特務機關長トノ會談、濟南及周村ニ於ケル見聞ノ範圍ヲ出テス特ニ殘念ナルハ大連ヲ訪問シ得サリシコトナリ北支視察ニ先シ軍側ニ對スル説明ノ資料トシテ三月四日附ヲ以テ「北支ニ於ケル不正規貿易就中冀東政府ノ輸入貨物ニ對スル特殊徵稅ニ關スル意見」ナル未定稿ヲ起草シ單純ナル密輸禮讓論ヲ駁シ且條約關係ヲ説明シ、併セテ英國側カ我方ニ抗議的申入ヲ爲シ來ルヘキコトヲ警告シ置キタルカ今次視察ノ機ニ於テ充分右ノ趣旨ヲ出先軍側ニ説明スルノ暇ナカリシハ遺憾ナリ

本稿ニ於テハ主トシテ現地視察ノ要點ヲ記スルト共ニ結言ニ於テ聊カ對策ニモ觸レムト欲ス

一、山海關昌黎方面ノ情況

昌黎、秦皇島、北戴河方面ノ密輸情況ハ三月ニ於テ最モ旺ナリシ如ク四月ニ入りテヨリ大連方面ニ於テ輸出失控ノ模様ナリ、之カ原因ハ不正規貿易品ヲ平津地方ヨリ南送スルコトニ對シ海關側カ鐵道(北寧ヲ除ク)ト連絡シテ相當ノ障礙ヲ受ケタルコト、解水期ニ入りテ海岸ヨリ北寧鐵道驛迄ノ輸送力困難トナリタルコト等ニ在ルヤニ見

關稅引下方ヲ中央ニ迫ルコトモ一案カト答ヘタル處

四、韓ハ關稅引下モ左ルコト乍ラ當面ノ方法トシテ結局黃河下流下窪、利津ノ二箇所位ニ海關ニ關係ナキ徵稅機關ヲ設ケ輸入貨物ニ對シ關稅ノ幾割カヲ徴シテ山東省内ニ搬入セシメ天津方面ヨリノ流入ヲ調整スルコト一案ト考フルカ如何ト尋ネタルニ付本官ハ若シ此ノ方法ヲ採ルトセハ海關ノ監視モアルヘキニ付慎重ニ處置スル要アルヘシト述ヘ置キタリ

敘上ノ次第ニ付韓トシテハ或ハ近ク右ノ如キ手段ヲ執ルニ至ルニハアラスヤト思考セラル

支、滿、北平、天津、青島、南京へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

(付記)

北支特殊貿易ノ現狀(訂正稿)

十一、五、十二、曾禰

序言

今般ノ北支視察ニ當リ冀東政府ノ特殊貿易ニ關シ實地見聞ヲ試ミタルカ時日ノ餘裕ナカリシ爲山海關、昌黎ニ於ケル

受ラレ

一般ニ冀東政府側トシテモ海關ノ存在ヲ正面ヨリ無視シテ掛カル如キ遣方ハ慎シミ居ル如ク輸入貨物查驗分所ハ秦皇島ニ設ケス留守營、北戴河、昌黎ニ於テ陸揚セシムルコトトシ北戴河ハ夏期外國人ノ避暑客多ク餘リ外間良シカラサルヘキヲ以テ留守營、昌黎地方ヲ主ナル陸揚地トナス方針ナルヤニ聞及ヘリ、(但シ前記ノ如ク昌黎ハ海岸遠ク—二十八支里—夏期道路ハ泥濘ト化シ停車場迄ノ輸送困難ナル缺點アリ)

昌黎ニ於ケル海岸船着場ヨリ停車場迄ノ輸送ハ大八車ニテ行フモノナルカ三月ノ最盛期ニ於テハ連日且終日大車ノ往來絶エサル景況ナリシ由ナリ

此等ノ貨物ハ一旦停車場前ノ倉庫ニ收容セラレ(邦人ノ倉庫相當數アリ)大部分ハ北寧鐵道ニ依リ平津地方ニ輸送セラル、北寧鐵道ハ本件貨物ノ輸送ニ關シ平漢、津浦鐵道ノ如ク南京側ノ命令ニ服シ居ラス

陸揚場ヨリ停車場迄ノ輸送ニ付テハ冀東政府側ハ旭組ニ一手引受ノ利權ヲ與ヘタル趣ナル處昌黎在留邦人民會側ハ之ニ反對シ割込ヲ策シ居リ領事館側トシテハ民會側ヲ

「モヒ」屋商賣ヨリモ少クトモ上等ナル本件輸送業ニ轉向セシメ度意嚮ノ下ニ兩者間ニ側面ヨリ斡旋シ居レリ、唯領事館側トシテハ本件ニ關シ支那側ト話合フコト並邦人側ニ對シ營業許可ヲ與フルコトハ何レモ條約上ノ建前ヨリ困難ナルヘシ(現在旭組ハ查驗料ヲ立替居レリ)トテ躊躇シ居ル模様ナリ(依テ本官ヨリ支那側ト正式取極ムルコトハ別トシ側面ヨリ援助ハ差支ナク又營業許可ノ方ハ單ナル運送業許可トシテヤレハ可ナルヘシト述ヘ置ケリ)

ニ竹下山海關特務機關長トノ會談要領

天津ニ於テ竹下大佐ト面談ノ機ヲ得タルヲ以テ本官ヨリ先ツ三月四日稿「北支ニ於ケル不正規貿易就中冀東政府ノ輸入貨物ニ對スル特殊徵稅ニ關スル意見」ノ結論ノ趣旨ヲ述ヘタル上同官ニ對シ如何ナル動機及目的ヲ以テ冀東特殊貿易ヲ指導シ居ラルルヤ、殊ニ冀東政府財政改善カ主ナルカ將又南京政府ノ高關稅是正カ主ナルカ恐ラク右兩目的ヲ有スルモノト思ハルルモ兩者ハ或ル程度迄ハ併行シテ充足シ得ヘキモ何處迄モ矛盾ナク進メ得ルモノトハ思ハレス、兩者カ乘離^{乘離}スル場合アルヲ御承知ナリヤ、

キモ之ニ對シ列席ノ天津軍林參謀モ別段反對セサリキ)尙列席ノ天津軍林參謀及同軍經濟顧問吉田博士ハ密輸禮讚論ヲ述ヘタルヲ以テ本官ハ前記調查私見ヲ基礎トシテ單純ナル密輸獎勵論ニ贊成シ難キ所以ヲ敷衍説明シ置ケリ

要之ルニ竹下機關長及天津軍參謀部ニ於テモ北支不正規貿易ノ實体、其ノ歸趨等ニ付未タ以テ充分ナル認識ナキ様見受ラレ外務側トシテ説明連絡ノ余地多キヲ感セリ

三冀東特殊貿易ノ山東方面ニ對スル影響

濟南青島及膠濟鐵道沿線ニ於ケル影響ニ付テハ先ツ在濟南領事館ニ對シ報告提出方勸メ置ケルカ(濟南來電第六八號參照)要スルニ津浦線ニ依リ濟南方面ニ流レ出ツル特殊貿易品ハ相當量多ク而モ韓復榘ハ領事館側ノ態度ニモ鑑ミ徵稅、押收等ヲ手控居ル結果此等貨物ハ濟南青島、市場ヲ攪亂シ同地方ノ正規貿易商、其ノ他關係商民ヲ困却セシメ居ル模様ナリ

青島方面ノ本邦商社側ヨリ屢次密輸取締方ニ付領事館側ニ陳情シ來ルハ尤モノ次第ナルカ二三ノ代表者トノ會談ノ結果本官ノ得タル印象ニ依レハ彼等ハ若シ冀東方面ノ

將又冀東ヲ足場トシテ全支ニ不正規輸入品ヲ氾濫セシメムトノ考ハ幼稚ニシテ右ニ對シテハ各種ノ制限アルヲ承知シ居ラルルヤト問訊シタル處竹下大佐ハ之ニ對シ種々説明セラレタルカ要スルニ本官ノ見ル所ニ依レハ竹下大佐トシテハ冀東財政援助カ主ナル目的ニシテ南京政府ノ高關稅引下ニ資セムトスルハ從屬的目的ニシテ兩者ノ關係ニ付テハ充分明確ナル見透シヲナシ居ラサル模様ナリキ

依テ本官ハ特殊貿易ニ對スル徵稅ノ收入ニ付説明ヲ求メタル處同官ハ元來一ケ年百萬元位ノ豫定ニテ始メタルモ三月ノ成績ハ同月ノミニテ三百萬元ニ達セリ四月ニ入りテ減少ノ傾向ヲ示シ居ルモ今後一ケ月三十萬乃至五十萬元ハ確實ト思ハル(右數字ニ付テハ何等根據ヲ示サス)ル旨ヲ述ヘラレタリ

次テ本官ヨリ冀東ノ特殊貿易ニ對スル冀察側ノ不滿ニ對シ如何ニ考ヘラルルヤ訊シタル處同官ハ冀察側ハ鐵道益金、塩稅等ニ關シ充分ナル分前ニ與リ居ル次第ナレハ關稅方面ニ於テ冀東カ利益ヲ得ルハ當然ナリトノ口吻ヲ洩セリ(右ハ竹下大佐及關東軍ノ考ヘトシテハ當然ナルヘ

不正規貿易品カ南流スルコトニ對シ有効ナル阻止方法ヲ講シ得ラサルニ於テハ寧ロ山東青島ニ於テ直接冀東竝ノ低率稅金ヲ以テ貨物ノ輸入ヲ爲シ得ル樣劃策シ度トノ意向ノ如ク見受ラレタリ

右ノ狀態ナルヲ以テ四月下旬韓復榘ヨリ西田總領事ニ對シ山東ニ於テモ冀東ヲ眞似タル不正規貿易ヲ實行シ爲シトテ相談ヲ持掛ケ來レルハ蓋シ偶然ニ非ス(本件對策ニ付テハ後述スヘシ)

韓ノ考案ハ要スルニ一方德州、濟南等ニ於テ津浦線經由南下ノ貨物ニ對シ正規關稅トノ差額ヲ徵收スルコトニ依リ貨物ノ南流ヲ防クト共ニ他方山東省内ノ適當ナル地點(下窪、利津)ニ於テ直接不正規輸入ヲ爲サムトスルニ在ルナリ

山東ニ於ケル冀東特殊貿易ノ影響ニ關聯シ相當興味アル問題ハ周村ニ於ケル不正規輸入人絹絲ト絹糸トノ交織工業ノ殷盛ナルコトナリ(濟南來電第六八號末段參照)

周村ハ言フ迄モナク支那有數ノ絹織物工業(手織機械ニ依ル家内工業)都市ナルカ不正規輸入人絹絲ニシテ濟南方面ニ移送サルルモノハ周村ニ於テ絹絲ト交織リノ絹布

ト變形セラレ爾後ハ南京側ノ追及ヲ惧ルル要ナキ國產品トシテ各地ニ販布セラルルナリ

而シテ周村ニ於テハ韓復榘配下ノ軍隊ハ支那人ヨリ營業稅(稽查費)等ノ名義ヲ以テ不正規輸入人絹絲ニ對シ徵稅シ居ルモ右稅額(二百封度ニ付二十元乃至二十五元)ハ到底正規輸入稅ト不正規輸入稅ニ周村迄ノ輸送費ヲ加ヘタルモノトノ差額(百封度ニ付八十二元程度)ヲ「カヴァー」セサルヲ以テ茲ニ不正規輸入品取扱人(邦人)支那官憲及周村織布業者ノ三方カ利益ヲ獲得シ得ル譯ナリ

斯クシテ周村ニ於ケル不正規輸入人絹絲ヲ原料トスル絹織物工業ハ目下殷盛ヲ極メ居リ既ニ自動織機三十臺ヲ有スル新式工業ノ設立ヲ見タルカ本邦人側ニ於テモ周村ニ新式工場設置方計畫中ノモノアル由ニテ(張店池田出張所主任談)領事館側ニ於テモ同地邦人側指導(大部分ハ「モヒ」屋ナリ)ノ見地ヨリ右計畫ニ對シ援助ヲ與ヘ度意向ノ由ナリ

四、在華紡績其ノ他支那ニ於ケル製造工業ト不正規貿易トノ關係

不正規貿易ノ主ナル取扱品カ砂糖、人絹絲、海產物「ラ

結語

北支不正規貿易ハ内地製造工業方面及支那ニ於テ射幸的商賣ヲ常業トスル邦人ヨリノ絶贊ニ浴シ密輸國策論者ヨリモ獎勵ヲ與ヘラレツツアルモ他面支那ニ於ケル邦人關係既存商工業ニ對シ大ナル破壊力ヲ振ヒツツアルハ喋々ノ要ナカルヘシ

純然タル密輸タルト冀東政府流ノ特殊貿易タルトヲ問ハス南京政府ノ高率關稅ノ續ク限り且南京側カ北支民衆及政權ニ對シ財政援助ヲ肯セサル限り南京側ヲシテ反省セシムルノ天ノ配劑トシテ暫ク放任スルコト差支ナカルヘシ、其間不正規貿易地區(現在ニ於テハ冀東區)ニ近接スル地方(河北、山東)ノ我カ商工業者カ損失ヲ蒙ルコトハ或程度迄止ムヲ得サルヘキモ之カ救濟方法トシテハ南京側ニ對シテ稅率引下ヲ求ムルコト可然ハ勿論ナルト共ニ假リニ放任シ置クトモ自ラ途カ開カルモノト認メラル、既ニ韓復榘カ山東ニ於テ不正規貿易ヲ實施セムトノ考ヲ抱クニ至レルコトヲ想起セハ這間ノ事情ハ自ラ明カナルヘシ

惟フニ支那ノ關稅制度ハ今ヤ重大ナル轉換期ニ到達セル

イスペーパー」等ナル今日ニ於テハ在華紡績ハ勿論支那ニ於ケル日本側製造業ハ直接ノ打撃ヲ蒙ラサルモ(目下ノ所ハ邦品輸入業者カ最モ打撃ヲ蒙リツツアリ)元來北支不正規貿易ノ發展ハ必然的ニ當該品目ヲ支那ニ於テ製造スルモノニ對シ痛撃ヲ加フルコトトナルハ明カナル處在華紡績同業會平岡理事ハ夙ニ此ノ點ニ着眼シ北支不正規貿易カ綿絲布ニ進展シ來ルニ於テハ在華紡トシテハ死命ヲ制セラルルコトトナルヘキ處今般北支駐屯軍方面ニ陳情シ來レル由ナリ

右ハ在華紡ノ問題タルニ止マラス人絹ニ付テモ其ノ他ノ製造工業ニ付テモ北支不正規貿易カ續行セラルル限り當該生産品ヲ支那ニ於テ製造スルコトハ思ヒセ寄ラサル所ニシテ北支ニ於ケル我カ資本及技術ニ依ル工業ノ勃興ノ如キハ想像シ得サル次第ナリ。

天津軍側ニ於テハ果シテ右ノ點ニ思ヒヲ致シ居ル明カナラサル次第ニシテ軍側ハ不正規貿易ヲ獎勵スル一方北支經濟開發ノ一端ヲトシテ製造工業ノ促進ヲ策シ居ル模様ナルモ兩者ノ關聯ニ付テハ考慮シ居ラサルノ嫌アルハ遺憾ナリ(北支ニ人絹工場ヲ設立スル計畫等參照)

如シ。冀東ノ不正規貿易ト言ヒ韓復榘ノ考案ト言ヒ將又西南側近年ノ遣口ト言ヒ孰レモ支那關稅統一ノ原則ニ對スル反動ニ非スシテ何ソ、或ハ一種ノ釐金復活ニ非スシテ何ソ、斯クノ如キ現象ハ必スシモ單ニ日本カ一地方政權ヲ使喚セル結果トシテ發生セルモノニ非ス其ノ根本的原因ハ南京政府ノ地方政權ニ對スル榨取政策ニ存ス、統稅ノ如キ釐金ニ代ハル稅金ノ如キハ其ノ幾分カヲ地方ニ分讓シテ可然キニ非サルカ、

斯ク言ヘハトテ余ハ決シテ無制限ナル密輸禮讓論ニ贊同スルモノニ非ス、又北支特殊貿易ノ目的、其ノ限界、將來及支那ニ於ケル商工業トノ關係等ニ關スル天津軍方面ノ認識不徹底ナルコトヲ憂フルモノナルコトハ既述ノ通ナリ

然ラハ對策ハ如何ト言フニ對策ニ付テハ稿ヲ更メテ攻究シ度所存ナルカ茲ニ概說セハ一面南京政府ニ對シテ引續キ稅率引下方要求スルト共ニ他面軍側及關係各方面ニ對シ我カ在支商工業保護進展ノ必要ヲ説明シ且地方政權ニ對スル中央ノ榨取匡正ニハ關稅以外ニモ途アルコトヲ示唆スル等ノ工作ヲ進メ置キ南京側カ我方ノ要求ニ副ヒ來

ル場合ニ於テハ我モ亦無制限ニ北支ニ低率輸入税ヲ施行セサル様我方トシテモ北支ニ於ケル不正規貿易ヲ「コントロール」シ得ルコト必要ト認メラル、而シテ南京側カ容易ニ我方ノ要求ニ應シ來ラサル場合ニ於テハ我カ山東商工業者ノ立場ヲモ充分考慮ノ上ハ韓復榘ヲシテ山東ニ特殊貿易ヲ實行セシムルコト何等差支ナキノミナラス韓ヲ冀東側ニ引キ寄スル一方法トシテ政治的ニモ相當妙味アリト思惟ス。

680 昭和11年5月4日 在濟南西田總領事より 有田外務大臣宛(電報)

天津より流入の密輸品対策の不可なるを韓復榘に説示について

濟南 5月4日後発
本省 5月4日夜着

第七四號(極秘扱)
往電第七〇號ニ關シ

三十日本官韓主席ト會談ノ際
韓ハ過日御話シタル利津、下窪徵稅機關ヲ設ケテ河北方面

ス如キハ絶對ニ應スル意思無キモ本件ハ尙研究スヘシト述
ヘタリ
支、滿、北平、天津、青島、南京へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

681 昭和11年5月6日 有田外務大臣より 在英國藤井(啓之助)臨時代理大使宛 (電報)

日本は華北密輸を政治的に利用していると
の在本邦英國大使見解に対し有田外相反駁に
ついて

第七〇號
本省 5月6日後4時15分発

五月二日在京「クライヴ」英國大使、本大臣ヲ來訪シ本國議會ノ質問ニ答フル爲政府ヨリ訓令アリタル趣ヲ以テ北支ニ於ケル密輸入ハ日本ニ於テ之ヲ政治上ノ目的ニ利用シ居ルモノト觀察セラルル節アルニモ願ミ日本政府ニ於テ之ヲ「コントロール」シ得ベシトノ確言ヲ得度旨述ヘタルニ付本大臣ハ右觀察ハ誤リニシテ密輸入ハ純然タル經濟的若ク

ヨリノ流入貨物ニ對スル対策ヲ講スルコトニ付テハ何分同地方ハ海岸ヨリノ船着惡ク交通モ比較的不便ナル處各種多量ノ商品容易ニ流入シ來ル現狀ニ於テハ上述對策モ効果無キニ付右ノ方法ト同時ニ矢張り德州方面ニ於テ流入貨物ニ對シ一應検査抑留スル等ノ方法ヲ當分實施シテ(期間經過後ハ必ス尙主ニ返還ス)濫入貨物ヲ防止スル態度ヲ示シ簡單ニ流入シ得サルコトヲ一般ニ知ラシメ前記地方ヨリノ流入ヲ促ス様ニスルコト一策カト考ヘ居ルカ如何ニヤト述ヘタルニ付本官ハ過日モ御話シタル如ク右實行ニハ種々ノ困難ト弊害アルノミナラス斯クセハ必ス鐵道ニ依ラス河北省各地ヨリ「トラック」其ノ他ニテ山東省内ニ流入シ來リ又中央ヨリハ右抑留物ノ處理ニ付海關側へ引渡方指示シ來ル等貴方ノ爲ニナラス種々紛糾ヲ來ス惧アリ殊ニ斯ル措置ハ必スヤ貴官ニ對シ北支問題ノ認識不足或ハ態度豹變等貴官ノ眞意ニアラサル大ナル誤解ヲ生セシムル惧アリ贊成出來ス元來此ノ種情勢ハ一般民衆ノ必需品ヲ廉價ニ供給スル結果トナリ居ル次第ニ付此ノ情勢ニ相反スルカ如キ措置ヲ執ラス寧ロ中央ニ對シ關稅引下方ヲ進言スルコト肝要ナリト注意シタルニ韓ハ中央ヨリ如何ニ指示シ來ルモ海關ニ引渡

ハ支那ノ内政的原因ニ依ルモノナリ即チ密輸ハ北支ノミナラス南支ニ於テモ盛行ハレ居ルモノナルカ之カ根本的原因ハ支那關稅ノ高率ナルコト及關稅カ中央政府ノミノ收入トナル關係上地方當局カ取締ニ熱意ヲ缺クコトニ存ス現ニ北支モ中央カ約束セル政費ヲ支出セサル爲關稅收入擁護ニ熱心ナラサルニ至レル次第ナルヲ以テ日本政府トシテハ在支邦人ノ陳情モアリ密輸取締方種々考究セルモ現狀ニ於テハ其ノ方法ヲ發見シ得サル次第ナリ尤モ外債擔保タル關稅收入ニ付テハ日本政府モ亦英國政府ト同様多大ノ關心ヲ有スルモノニシテ支那側カ前記ノ如キ根本原因ニ思フ致サンコトヲ切望シ居ルモノナリトノ趣旨ヲ以テ應酬シ置キタリ在歐各大使及壽府へ暗送アリ度
米、支、北平、香港、在支各總領事へ轉電セリ
米ヨリ紐育へ暗送アリ度

682 昭和11年5月13日 在中国若杉臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)

關稅引下げの絶対不可および密輸品を取扱う
中国商人の嚴罰を密輸防止策の原則とする旨

国民政府決定との情報について

上海 5月13日後発
本省 5月13日夜着

第三二一號

支那側ノ密輸防止策ニ關スル情報

一、兩三日黄炎培力過般來南京ニテ密輸取締方請願中ナリ
シ廣東砂糖巨商馮榮ヨリ聞込ミタル所ニ依レハ南京政府
ハ最近密輸防止對策トシテ

(一)關稅ノ引下ハ絶對行ハス

(二)密輸品取扱支那商ヲ嚴罰ス

トノ二原則ヲ決定シタル由ナルカ密輸品取扱支那商查察
ノ方法モ既ニ種々具體案出セラレ居ル趣ナリ

三、當地中華國貨維持會ニテハ昨十二日夜執監委員會ヲ召集
華北密輸防止對策ニ付協議シ其ノ結果行政院及財政、實
業兩部ニ對シ有效適切ナル取締勵行方電請シタル由ナル
カ尙眞偽不明ナルカ諜報ニ依レハ其ノ際密輸防止ノ爲全
國國貨商ヲ糾合大運動ヲ起シ必要ニ依リテハ最後手段ト
シテ政府ト馴合ノ上全面的日貨抵制運動ヲ實行スヘキ旨
秘密決議セル趣ナリ

在支各總領事及香港、厦門、北平へ轉電シ上海へ轉報セリ

683 昭和11年5月14日 在中国若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

華北密輸に關する日本側の責任を高調する中

國側主張について

別 電 昭和十一年五月十四日發在中國若杉臨時代理
大使より有田外務大臣宛第三一四號
華北密輸に關する財政部ステートメント

上海 5月14日後發
本省 5月14日夜着

第三一三號

往電第二九八號ニ關シ

(一)當地各外字紙及支那新聞ハ引續キ連日密輸問題ニ付北支
ニ於ケル密輸カ我軍側ノ庇護ノ下ニ行ハレ居ルカ如キ詳
細ノ狀況及之カ爲關稅收入激減ノ狀況等大袈裟ナル報道
ヲ爲シ居ル處十三日及十四日ニ亘リ中央通信トシテ別電
第三一四號ノ如キ長文ノ「ステートメント」各新聞ニ揭
載セラレタリ

ケラル

尙右密輸ニ關スル誇大ノ宣傳ハ特ニ英國側ノ運動與ツテ
力アルモノノ如ク本日ノ英字紙ハ本件ニ付英國政府ハ米
獨等ノ諸國ト協議中ニシテ英國下院支那關係委員會ハ北
支ニ於ケル密輸防止方ニ付日本ニ申入ルル様政府ニ勸告
スル爲十九日委員會開催ノ筈ナリトノ倫敦發路透社電ヲ揭
ケ居レリ

本電別電ト共ニ南京、北平、天津、青島、廣東へ轉電シ上
海へ轉報セリ

(別電)

上海 5月14日後發
本省 5月14日夜着

第三一四號

日本人保護ノ下ニ行ハルル密輸ハ擔保外債ノ關係モアリ列
國ニモ重大關係ヲ有ス支那ノ密輸取締制度ハ近年急速ニ改
善セラレタルヲ以テ特殊ノ事情ナクハ密輸ノ根絶ハ容易ナ
ルカ之ニ依リテ見ルモ問題ノ根源ノ所在ハ明カナリ海關當
局ノ報告ニ依レハ

(三)密輸ハ日本ノ支持ニ依ルモノナルカノ筆致ヲ以テ書立テ
タル前記「ステートメント」ノ調子及右孔ノ口吻乃至往
電第三一二號ノ論調及往電第三一一號ノ情報等ニ鑑ミ支
那側ニテハ關稅引下ヲ代償ニ密輸取締ニ協力ヲ懇請セン
トスルカ如キ氣分ヨリハ遠ク却テ關稅收入保全ノ爲總ユ
ル方法ヲ於テ密輸品ノ流入ヲ防止シ我方密輸ノ責任ヲ高
調シテ公債所持人及貿易業者(殊ニ英國側等)ノ輿論ヲ
喚起シ以テ我方ノ自制ニ訴ヘントスル態度ナルカニ見受

昨年八月ヨリ本年四月迄華北密輸ニ依ル關稅收入ノ缺損ハ二千五百五十萬六千元、三月迄ノ毎月平均百七十萬元、四月一箇月ノ收入減ハ八百萬元ニ達ス此ノ割合テ行ケハ一箇年一億元ニシテ全稅收ノ三分ノ一ニ達ス又昨年八月一日ヨリ本年四月二十五日迄天津ニ密輸サレタル人絹四百三萬二千疋、砂糖四千三百十三萬六千疋(其ノ他略)ニ達ス次ニ河北密輸ノ狀況ヲ述ヘンニ

(一) 昨年一月ヨリ五月迄ハ現銀ノ密輸出アリタレトモ(約十萬七千元)大規模ノ密輸無シ

(二) 昨年六月ヨリ九月中旬迄ハ日本側ノ要求ニ依リ監視船ノ非戰區域ニ於ケル職務ノ遂行ハ停止セラレ同時ニ長城一帯ノ監視人モ武裝ヲ解除サレ密輸ハ漸ク盛トナリ數百ノ朝鮮人之ニ從事シ石河轉運公司ナル密輸ノ會社出現シ苦力千餘名ヲ雇ヒ公然ト密輸ヲ開始シ海關員力干渉セハ之ニ暴行セリ日本軍當局ニ取締ノ協力ヲ求メタルモ領事館警察問題ナリト爲シ領事警察ハ支那ヘノ密輸ハ日本ノ法律ノ違反ニアラストテ手ヲ下サス更ニ日本側ヨリ秦皇島ノ海關監視船ノ機關銃ノ撤廢方要求アリ數日後ニハ非戰區域ノ三海里以内ニハ監視船ハ武裝ノ有無ヲ問ハス立入

ヲ禁止セリ右ハ外交部ヨリ駐支日本大使ニ屢抗議シタルモ効果無シ

(三) 昨年九月ヨリ十二月迄ハ支那海關ノ密輸逮捕ノ權ハ完全ニ喪失シ日本海軍ハ支那ノ領海三海里以外ニテ行ハルル日本籍船舶(其ノ標識ノ有無ニ拘ラス)ニ對スル海關監視船ノ検査ヲ海賊行爲ト看做セリ其ノ結果大連ヨリノ密輸船絡繹トシテ跡ヲ絶タス本年一月以降ハ陸路ヨリモ運搬シ最近冀東政府稅率ヲ定メテヨリ更ニ複雑トナレリ密輸貨物ハ津浦、平漢兩鐵道ニテ楊子江下流ノ各地ニ運搬セラルル結果秦皇島ヨリ寧波ニ至ル二十一海關ノ收入(全收入ノ百分ノ八十八ヲ含ム)ニ影響スル重大問題トナリ

(四) 華北ノ密輸盛ニナリテ以來彼等ハ武器ヲ有スルニ海關員ハ赤手空拳ナル爲之ヲ制裁スルヲ得サルノミナラス彼等ノ爲ニ暴行セラルルコト再三ナリ(本年一月五日秦皇島海關員ノ脅迫セラレタル事件、二月十八日密輸石油奪取ノ爲海關内ニ亂入セル事件、山海關偵緝隊員カ鮮人ノ銀密輸出者ヲ検査中石ニテ亂打サレタル事件、大普河ニテ鮮人カ押收セラレタル砂糖ヲ奪取セル事件、其ノ他日本領事館警察員カ暴行ヲ傍觀シタル事件乃至押收品ノ返還

ヲ要求セル事例等ヲ列擧ス)

以上ノ事例ヲ以テ觀ルニ華北ノ密輸事件ノ重大ナルコト支那海關歷史上曾テ見サル所ナリ

684 昭和11年5月16日 在天津岸總領事代理より 有田外務大臣宛(電報)

中国側の関税引下げをめぐり税務司等と応酬についで

天津 5月16日後発
本省 5月16日夜着

第一九一號
在支大使發閣下宛電報第三二三號ニ關シ

總稅務司署「プリベンティブ、セクレタリー」「プリツチャード」(稅務司)五月初旬密輸狀況視察ノ爲來津二回ニ亘リ會談セルカ本官トシテハ密輸ハ高率ナル關稅ノ齎セル自然ノ經濟的現象ニシテ目下ノ狀況ニ於テ稅關カ人爲的取締ヲ如何ニ嚴重ニ行フトモ大厦ノ倒ルヲ一木ニテ支フルニ等シク徒ニ現場ニ於テ紛爭發生ノ數ヲ増スノミニシテ御互ニ煩瑣ニ堪ヘサルヘク之カ救濟ノ途ハ關稅ノ徹底的引下ノ外ニナ

シトノ一點張ニテ應酬セリ其ノ際「プ」ハ假ニ關稅ヲ日本側ノ希望ニ副フ程度迄下ケタル場合(一般的引下ヲ希望セラルルヤ又ハ人絹、砂糖等高率ノモノノミニテ可ナルヤト質問セルニ付政府ノ意嚮ハ知ラサルモ私見ヲ以テセハ少クトモ關稅自主直後ノ稅率迄下クル要アルヘシト答フ)停戰協定ヲ改廢シ戰區ニ監視船ヲ入レ得ル様日本政府ノ考慮ヲ求メ得ルヤト問ヘルニ付協定當事者タル關東軍ノ考ハ知ラサルモ停戰協定ノ存立ニハ之ヲ必要トスル諸般ノ要素アリ稅率引下ヲ以テ直ニ停戰協定改廢ノ「パーゲン」トセラルルハ少々間違ナラスヤ且稅率カ合理的ノ點迄引下ケラルルハ取締等行ハストモ密輸ハ自然ニ消滅スヘシト考フル旨答ヘ置キタリ

尙天津稅務司「ヒリアード」モ有效ナル取締辦法ニ付當館側ノ間接的協助(帝國官憲方法規上直接取締ヲ行ヒ得サル立場ニアルコトハ「ヒ」モ能ク承知シ居レリ)ヲ求メントシテ始終相談ヲ持掛ケ居ル處過日來訪ノ際假ニ稅率ノ引下實現サルルトモ既ニ市場ハ各般ノ密輸品充滿シ居ルニ付先ツ之ヲ消化シ正常貿易ノ恢復ヲ見ル迄ニハ半年、一年ヲ以テシテモ覺束ナキ現狀ト認メララルルニ付事態ノ此ノ上ノ惡

化ヲ避クル爲南京カ引下ヲ決スル迄當分ノ辦法トシテ何トカ密輸品氾濫ヲ防止シ得ル様協力ヲ願ヘ間敷キヤト述ヘタルニ付南京カ果シテ引下ヲ行フヤ否ヤモ判明セサル爲今日殊ニ一地方出先トシテ輕卒ニ御申出ノ如キ協定ヲ攻究スル餘地ナシト突撥ネ置キタリ

支、北平、南京、青島ヘ轉電セリ

支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

685 昭和11年5月16日 在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

華北密輸問題に關し張群嚴重抗議について

付記一 昭和十一年六月二日付、東亜局第一課作成
右抗議文仮訳文

二 昭和十一年五月十九日付、參謀本部第二部作成

「北支密輸ニ關スル南京政府ノ抗議ニ件フ帝

國政府ノ處置ニ對スル意見」

南京 5月16日後発
本省 5月16日夜着

屢當部ヨリ照會抗議シタル處未タ回答ニ接セス、
惟フニ中國海關カ國稅ノ完備ヲ計ル爲適當ナル方法ヲ執リ
脫稅ヲ取締ルコトハ其ノ固有ノ職權ヲ行使スルモノニシテ
如何ナル方面ニ於テモ干涉ヲ許ササルモノトス、又塘沽協
定ニハ武裝船舶ニ關聯スル條文ナキヲ以テ如何ナル解釋ニ
ヨルトモ絶對ニ中國海關ノ海陸ニ於ケル一切ノ武裝取締工
作ヲ制限スルコト能ハサルモノナリ、右ハ已ニ累次照會ヲ
以テ割切ニ闡明シ且日本軍ノ不法干涉ニ對シ充分制止方要
請セリ、斯ル要求ハ固ヨリ中國ノ主權ヲ擁護センカ爲ナル
ト共ニ正當ナル中外商民ノ利益ヲ保護スル所以ナリ
然ルニ貴方ニ於テハ終始之ヲ不問ニ付シ密輸ノ猖獗ヲ坐視
セルニヨリ中國國稅ヲシテ重大ナル危害ヲ蒙ラシムルニ至
レリ

本部ノ受ケタル報告ニ依レハ最近數ヶ月以來海路方面ニ於
テハ日本側ノ干涉ニ依リ海關ノ控制其ノ效力ヲ失ヒタル爲
日鮮人密輸團ハ多數ノ民船、汽船ヲ雇用シ機ニ乘シ大規模
ノ密輸ニ從事シ甚シキハ五百噸ノ汽船ヲ以テ密輸入ヲ營業
トスルモノアルニ至リ蘆台ヨリ秦皇島ニ至ル一帯ノ海岸ハ
今ヤ密輸船舶ノ蟻集區域ト化セリ、密輸貨物ハ一旦陸揚後

第三八九號

本官發支宛電報

第三九四號

北支密輸ニ關シ張外交部長ハ十五日附長文ノ照會ヲ以テ度々
取締方申入レタルモノヲ不問ニ附シ居ラルル爲密輸ハ益猛
烈トナリ海關收入ハ激減、支那ノ財政ヲ破壞セントスル情
勢ヲ馴致スルニ至レリ(大臣宛貴電第三一三號別電ヲ稍簡
略ニシタル内容ヲ掲ク)支那トシテハ重大問題ニ付日本ノ
反省ヲ促シ重ネテ嚴重抗議セサルヲ得ス貴代理大使ヨリ貴
國政府ニ轉達ノ上秦皇島駐在ノ日本軍ニ戒告ヲ加ヘ今後密
輸取締ニ干涉セシメス尙石河轉運公司等ノ不法組織ヲ解散
セシムル様取計ハレ度ク何分ノ儀至急回答アリ度シ云々ト
申越セリ原文郵送

大臣、北平、天津ヘ轉電セリ

(付記一)

假譯文

(一、六、一、亞一)

書翰ヲ以テ啓上致候、陳者秦皇島ニ於ケル日本軍カ海關ノ
取締工作ヲ破壞シ日鮮人ノ密輸ヲ庇護スル事件ニ關シテハ

ハ隨意ニ運搬スルモ檢舉ノ虞ナク且各鐵道ニ依リ南送シ各
地ニ向ケ「ダンピング」セラルルモノニシテ陸路方面ニ於
テハ秦皇島ヨリ北寧鐵路經由天津及奧地各方面ニ運搬セラ
レ又津浦線ニヨリ南送セラルルモノモ極メテ多量ナリ。山
海關等ニ於テハ日鮮人密輸者ハ何レモ武器ヲ携帯シ海關員
ニシテ之ヲ詰問シ又ハ密輸品ノ抑留ヲナサンカ彼等ハ忽チ
大舉毆打シ或ハ武器ヲ以テ刺撃シテ貨物ヲ強奪シ屢々海關
員ニ重傷ヲ蒙ラシムル等其橫暴不法ナルコト實ニ驚クヘキ
モノアル趣ナリ。

客年八月以降本年四月迄ノ統計ニヨレハ中國海關稅收カ日
鮮人ノ密輸ニヨリ受ケタル損失ハ二千五百余万元ニ達シ居
レルカ本年四月以降密輸品ノ輸入ハ更ニ甚シク僅カニ一ケ
月ノ間ニ關稅ノ損失既ニ八百萬元ノ巨額ニ達シ其情勢ノ惡
劣ナルト數額ノ莫大ナルコト實ニ海關史上未曾有ノコトニ
シテ番ニ中外商民ニ於テ憤慨ヲ深クシ居ルノミナラス貴國
有識ノ士及正當商人ニシテ等シク痛心セサル者ナシ

斯ノ如キ不法事實ヲ直ニ制止セサレハ必スヤ密輸品ノ増加、
關稅ノ減少ヲ激化スルニ至ルヘキ處右ハ中國ノ財政ヲ破壞
シ主權ヲ侵害スルコト之ヨリ甚シキモノナシ。中國政府ト

シテハ之ヲ以テ當面ノ重大問題トシテ日本側ノ反省ヲ求めサルヲ得サル次第ナリ

依テ特ニ重テ嚴重ナル抗議ヲ提出スルニ付貴代理大使ヨリ速カニ貴國政府ニ轉電ノ上秦皇島等駐屯ノ日本軍ニ對シ嚴重誠告ヲ加ヘ今後海關取締ノ干渉及密輸庇護ノ行爲ヲ禁スルト共ニ他方前同ノ照會ニ指摘セル石河轉運公司ノ如キ密輸團體ノ組織ヲ解散セシメ且秦皇島、山海關及其他各地ノ日鮮人密輸者ニ對シ速カニ有效ナル取締ヲナシ以テ國交ヲ重ンセラルル様御取計相成度尙何分ノ儀至急御回答相煩度右照會旁本部長ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向ケテ敬意ヲ表シ候

敬具

中華民國二十五年五月十五日

張群

大日本駐華代理大使 若杉 要殿

(付記二)

昭和十一年五月十九日

第 二 部

北支密輸ニ關スル南京政府ノ抗議ニ伴フ帝國政府

別 電 昭和十一年五月十七日發在天津岸總領事代理

より有田外務大臣宛第一九六号

右照會

天津 5月17日後發

本省 5月17日夜着

第一九五號

I、Gヨリ別電第一九六號ノ通り電照ニ接シタリトテ十六日税關長ヨリ問合アリタルニ付本件ハ一應外務省ニ照會ノ上ナラテハハツキリ申兼ヌルモ停戰地帯ヲモ含ム意味ニテ外務當局カ North China ナル語ヲ用ヒタリトハ信シ難ク停戰地帯内海域ニ於ケル武装監視船ニ關スル關東軍從來ノ見解ニハ變化無キモノト思考スル旨不取敢答ヘ置キタルカ路透等ニ對スル本省御當局ノ本件御説明振本官含意ニ折返シ御回電相成度シ

本電別電ト共ニ支、北平、南京、滿ヘ轉電セリ

編 注 後日訂正電報により、「North China ナル語ヲ用ヒタリ

トハ」の部分は、「I、G電照ノ如キ説明ヲ爲シタリ

トハ」に訂正された。

ノ處置ニ對スル意見

南京政府ハ北支密輸問題ニ關シ帝國政府ニ抗議スル所アリシカ右抗議文中帝國軍隊カ支那側收稅業務ヲ妨害シ北支ノ密輸ヲ庇護シアルコトヲ公然指摘セリ然ルニ支那駐屯軍ノ報告ニ據レハ右ハ事實無根ニシテ故ラニ駐屯軍ノ行動ヲ誣ヒテ帝國軍ノ榮譽ヲ毀損スルヤ甚シク軍ノ監視スルコト能ハサルコトナリ故ニ帝國政府ハ右支那側抗議ニ對スル回答ニ於テ軍ノ公正ナル態度ヲ闡明ニスルニ止ラス更ニ進ンテ南京政府ニ對シテ抗議シ帝國軍誹謗ノ事實ノ取消ヲ要求シ以テ帝國軍ノ名譽ヲ維持スルノ處置ヲ執ララルルヲ要ス

(欄外記入)

五、二十一、影佐中佐持參 太田

686 昭和11年5月17日 在天津岸總領事代理より
有田外務大臣宛(電報)

中国税関監視船の武装解除と塘沽停戰協定とは無關係とする外務省員発言に關し総稅務司より照會について

(別 電)

天津 5月17日後發

本省 5月17日夜着

第一九六號

Reuter quotes Japanese Foreign Office spokesman as stating on 15th May that he did not think Tangu Truce Agreement enabled Japanese military in North China to require disarming of Chinese Customs employees and cruisers. Enquire of Japanese Consul-General whether this is official view of Japanese Government and whether assurance can be given that resumption of normal preventive activities by Customs in East Hopei will not be met by demands from military authorities to withdraw as was the case last year.

687 昭和11年5月18日 在中國若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

中国税関監視船の武装解除と塘沽停戰協定とは無關係とする外務省員の発言は一部誤報で

ありわが方立場は不変と強調について

上海 5月18日後発
本省 5月18日後着

第三二八號(至急)

天津發貴大臣宛電報第一九五號ニ關シ

十五日東京發路透トシテ外務省發言人ハ記者ノ質問ニ對シ
梅津、何應欽協定ニ依リ北支ニ於ケル日本軍力税關吏及監
視船ノ武装ヲ解除シ得ルモノトハ思ハスト答ヘタル旨ノ電
報アリ(原文ハ冒頭電別電前段ノ Tangku truce ノ代リニ
Ho-Umezu トアリ Enable 以下同文)十六日ノ外字紙ニ轉載
セラレタリ

右ニ付岸本ヨリ「メーズ」ノ命ニ依ル趣ヲ以テ問合アリタ
ルニ付係官ヨリ本件ニ關係アレハ塘沽停戰協定ニシテ外務
省發言人ハ梅津、何應欽協定ハ本件ト關係無シト言ヒタル
モノナルヘク停戰協定ト本件トノ關係ニ關シテハ帝國政府
ノ見解ハ客年十一月八日附外交部宛公文(同日附支發南京
宛公信機密第七一〇號附屬)ノ通ナリト應酬シ置キタル趣
ナリ

北平、南京、天津、滿へ轉電セリ

等先ツ日本ニ抗議スルカ如キ愚ヲ熄メ實際的方法ヲ考慮ス
ルコト必要ナリト述ヘタルニ「ハ」ハ特ニ關稅引下ノ點ニ
ハ同意ナリト述ヘ且

自分個人ノ思付ナルカ一体日本ハ北支ニ如何ナル事態ヲ期
待スル譯ナリヤ此ノ點サヘ定マレハ密輸問題モ自ラ片付ク
ヘキニアラスヤト述ヘ例ヘハ此ノ際支那カ思切テ滿洲國ヲ
承認セハ日本ハ塘沽協定ヲ廢棄シ冀東政府ヲ合流セシムト
云フカ如キ「フォーミュラー」ニテハ如何ト問ヒタルニ依
リ本官ヨリ日本ハ支那ノ滿洲國承認ヲ特ニ欲シ居ル次第ニ
ハアラス北支ニ如何ナル施設ヲ行フヘキヤハ全ク支那側ノ
案出スヘキモノナルカ今ノ如ク北支ニ現存スル特殊事態ヲ
採止メントセス密輸等ニ關シ御門違ヲ爲ス様ニテハ支那カ
果シテ適切ナル特殊施設ヲ實現シ得ヘキヤ疑ハシク貴見ノ
如キハ先ツ考慮ノ餘地ナカルヘシト應酬シ置キタリ
支、北平、天津へ轉電セリ

689 昭和11年5月18日

在英國藤井臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

華北密輸問題の英國における影響に鑑み中国

編注 『日本外交文書』昭和期Ⅱ第一部第四卷第438文書。

688 昭和11年5月18日
在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

中国税関監視船による密輸取締を可能にすべ
く塘沽停戰協定の廃止を示唆する在中國英國
參事官に対し反駁について

南京 5月18日後発
本省 5月18日夜着

第三九二號

十八日「ハウ」來訪北支密輸問題ハ支那海關制度ノ「イン
テグリティ」ノ上ヨリ英國朝野ノ注意スル所トナリ居ル
次第ヲ述ヘ切メテ監視船ノ活動ヲ許スカ如キ辦法無キモノ
ナリヤト問ヒタルニ付本官ヨリ北支ノ密輸モ結局支那ノ他
地方殊ニ西南方面ニテ行ハレ居ルモノト異ル所無ク又監視
船ニ付テモ塘沽協定ノ存スル限り特別ノ措置ヲ爲シ得ル譯
ニアラス加之海關制度ハ日本カ率先シテ整備セシメント爲
シ英國側トモ協力シ居ル次第ニシテ支那カ關稅ヲ引下クル

側と協力の態度を示すべく意見具申

ロンドン 5月18日後発
本省 5月19日前着

第二九二號

北支密輸問題カ「タイムズ」、「ポスト」其ノ他各紙ニ論說
若ハ重要記事トシテ報セラレ又議會ニ於テモ種々論セラレ
居ルコト累次ノ電報其ノ他ニテ御承知ノ通ナル處本件ハ其
ノ直接、間接當地財界ニ及ホス影響大ナル關係モアリ見方
ニ依リテハ既ニ一段落着キタル伊「エ」紛争、對獨問題以
上ニ目下政府及財界方面ノ關心事トモナリ居ルカ如ク正金
加納ヨリモ其ノ間ノ狀況何カト内報ノ次第モ有之又他方昨
秋及去ル四月行ハレタル趣ナル在滿英國系會社使用支那人
檢舉事件(真相不明ノ處別途報告ノ通り問題視セラレ居ル
ニ付事情御内示煩度シ)ト同國法權撤廢實施トヲ關聯セシ
メ右ハ日本ノ滿洲及支那ニ於ケル排(外)殊ニ排英工作ノ證
左ナルカ如キ印象ヲ與フル等我東亞政策ハ昨今又復著シク
彼等ヲ刺戟シ右ハ自然今後ノ當國對歐米政策ニ反映スルモ
ノトモ察セラルルニ付差當リ密輸ニ關スル限り關稅引下其
ノ他ノ對支要求トハ別個ニ出先官憲ニ於テ少クトモ表面上

支那官憲ト防止協力ノ態度ヲ示シ右密輸ヲ現地外商等ノ經營不振ノ口實トセサル様御取計ヲ得ル様希望致度ク當地ニ於ケル反響報告旁御參考迄
米へ轉電セリ

690 昭和11年5月19日 有田外務大臣より
在米國(斎藤博)大使宛(電報)

米國の対中貿易および中国政府の外債償還に
対する悪影響を理由に日本側の密輸取締措置
を在本邦米國大使要望について

付記 昭和十一年六月四日付、東亜局第一課作成

「北支特殊貿易カ米國ノ對支貿易ニ與フル影響ニ關スル「ネヴィル」ノ説明」

本省 5月19日後5時15分發

第一二六號

本大臣發英苑第七〇號ニ關シ

十三日在京米國大使次官ヲ來訪シ大臣ニ對スル話ト諒解アリ度旨前提シ茲ニ北支密輸問題ニ付日本政府ニ對シ非公式「レプレゼンテーション」ヲ提出スル次第ナルカ米國ノ對

「レプレゼンテーション」ニ非ス先日ノ御質問モアリ單ナル「インフォーメーション」トシテ御傳ヘスル次第ナリトテ左ノ如ク語レリ(在北平米國大使館ニ照會ノ結果ト思ハル)

本件特殊貿易ノ米國人ノ商賣ニ及ホス影響ノ一例トシテ「スタンダード」石油會社(Standard Vacuum Oil Co.)ノ石油(ガソリン)及「ケロシン」等ハ正規輸入品ニ比シ、一「ケース」ニ付一、七〇元廉價ナル爲四月十五日ヨリ月末迄ニ秦皇島地方ヨリ一万五千「ケース」五月一日ヨリ二十日迄四万「ケース」ノ不正規輸入ヲ見タリ
之カ爲天津方面ニ於ケル米國人ノ石油取引ハ停止セリ其ノ他具體的ニ數字ヲ擧ケ得サルモ石油以外ノ各種商品ニ付テモ米國人側ヨリ苦情ヲ聞キ居レリ云々

691 昭和11年5月19日 在中國若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

華北密輸問題に対する財政部の態度硬化化について

上海 5月19日後發
本省 5月19日夜着

支貿易及支那政府ノ外債償還ニ惡影響アル北支密輸ニハ日本モ相當關係シ居ル模様ナレハ日本政府ニ於テ適當ナル匡正手段ヲ採ランコトヲ望ムトノ趣旨ヲ述ヘタルニ對シ次官ヨリ然ルヘク説明シ置キタルカ十八日更ニ次官ヨリ冒頭往電英大使ニ對スル本大臣ノ談話ト同趣旨ヲ米大使館へ傳ヘ置キタリ
米ヨリ紐育へ暗送アリ度
英、支、北平、香港、在支各總領事へ轉電セリ
英ヨリ在歐各大使及壽府へ暗送アリ度

(付記)

北支特殊貿易カ米國ノ對支貿易ニ與フル影響ニ關スル「ネヴィル」ノ説明

十一、六、四 堀内次官口述(會欄記)

五月二十七日米國大使館「ネヴィル」參事官他用ヲ以テ堀内次官ヲ來訪ノ機會ニ次官ヨリ冀東方面ニ於ケル特殊貿易ノ結果米國側ノ商賣カ如何ナル影響ヲ受ケツツアリヤト質問セル處「ネ」ハ具體的事例ニ付承知セサル旨答ヘタリ
六月三日「ネヴィル」再ヒ次官ヲ來訪ノ機ニ「ネ」ハ之ハ

第三三四號

往電第三一三號及往電第三二八號ニ關シ

更ニ岸本ニ確メタル處岸本ハ

(一)往電第三一三號(一)及往電第三三五號(一)ノ海關側報告ハ財政部ノ命ニ依リ「プリベンティブ、デパートメント」ノ下級係官カ起草セルヲ「メイズ」カ成ルヘク緩和シ度シトテ自分(岸本)等ニ於テ日本ニ對スル攻撃的の字句ヲ削リ北支各稅關ヨリノ報告等ニ現レタル事實ノミヲ列記スルコトトシタルモノナルカ財政部ニテ之ニ又尾緒ヲ着ケテ發表セルモノナリ

(二)「プリベンティブ、セクレタリー」「ブリッツチャード」

(天津發大臣宛往電第一九一號)ハ結局北支ノ密輸問題ハ日本ニ泣着キテ何トカ其ノ協力ヲ求ムル外ナシトノ結論ニ達シテ北支ヨリ歸來シ海關部内ニテモ大体右結論同意シ此ノ際日本攻撃ノ「プレス、カンペーン」ヲ爲スカ如キハ不可ナリト爲シ居ルモ(現ニ「ブ」ハ十八日「リースロス」ニ面會シ右ノ「ライン」ニテ話シ置キタル筈)財政部方面ノ態度ハ最近急ニ硬化セル感アリ
其ノ原因ニ付テハ海關部内ニテハ蔣介石カ財政部長ニ密

輸取締ヲ嚴命セル爲ナリト爲ス說專ラナルカ海關ハ國務署及財政部ニ、財政部長ハ蔣介石ニ何レモ實情ヲ充分説明シテ對策ヲ建言スル勇氣(ナキ)現狀ナレハ蔣介石ノ一言ニテ財政部長カ本件密輸問題ニ關シ對日態度ヲ硬化シ國務署ヨリ海關ニ密輸問題對日言論戰乃至取締強化策ヲ下命スルコトハ有リ得ヘキナリト考ヘ居レリ

(三)財政部方面ノ態度ハ右ノ通ニシテ監視船武裝解除ニ付テモ今頃トナリテ海關當局ニ何故ニ武裝ヲ解除セリヤト詰問シ來リタルヲ以テ海關トシテハ之ヲ何トカ胡魔化ス爲ニ天津海關ニ對シ天津發貴大臣宛電報第一九六號ノ通り電照セル次第ナリ(右電照ニ際シ海關係員ハ梅津、何應欽協定ト停戰協定ノ區別サヘ知ラス冒頭往電ノ大使館ノ説明ニ依リ漸ク了解セリ)從テ右天津發電報ノ天津總領事館ニ對スル照會ニモ前記ノ事情御含ノ上然ルヘク回答セラルルコト然ルヘシト存ス云々ト述ヘ居タリ何等御參考迄南京、天津、北平、滿ヘ轉電セリ

返事ヲ爲シ煮切ラサリシ外交部カ急ニ右ノ如ク強腰ノ態度ヲ示スニ至レルハ(現ニ「マクダニエル」ノ如キモ此ノ點頗ル不審ニ感スル旨語り居レリ)胡漢民ノ死ニ伴フ對廣東策(往電第三八六號參照)モ織込マレ居ルモノニアラスヤトモ認メラル御參考迄支、北平、天津ヘ轉電セリ

(付記)

広 東 發 參謀本部 着

胡漢民ノ葬式參列ノ爲來粵中ノ南京代表ノ言ナリトテ西南巨頭ノ洩ス所次ノ如シ

蔣介石ハ最近ノ密輸問題ヲ提ケテ排日唯一ノ目標トシ英米等ト提携シテ民論激發ヲ計畫中ナリ

ニ右ノ場合ニハ假令西南ト雖モ不同意ヲ表スル能ハサルヘク中央ト一致ノ方針ニ出ツヘシ云々

之ニ依テ見ルニ抗日ヲ看板トシテ南京虐メヲ爲サントスル地方軍權迄モ抱込ミ南京カ全支ニ互ル排日ヲ再ヒ實行スル時機ハ近キニアリト思料セラル

692 昭和11年5月20日 在南京須磨總領事より 有田外務大臣宛(電報)

華北密輸問題に対する最近の外交部の強硬的態度には胡漢民死後の対広東政策と関連ありとする観測について

付記 昭和十一年五月二十五日付移牒、在広東白田(寛三)駐在武官より西尾參謀次長宛電報 蔣介石が密輸問題を排日の目標とすることを 計画中との情報

南京 5月20日後発 本省 5月20日夜着

第三九七號 支宛往電第三九四號ニ關シ

外交部ハ抗議全文ヲ翌十七日ノ各紙ニ發表セシメタル外本十九日ノ各紙ニ發言人ノ談話トシテ密輸取締カ塘沽協定違反ニアラサル所以ヲ塘沽協定並ニ附屬覺書全文ト共ニ大見出ニテ發表セシメ各紙ノ本件ニ關スル論說ト相俟テ支那カ本件ヲ頗ル重視スル態度ヲ示シ居ルカ十六日迄ハ本件並ニ増兵問題ニ關シテハ新聞社側ノ質問ニ對シテモ有耶無耶ノ

693 昭和11年5月20日 在中国武藤大使館一等書記官より 有田外務大臣宛(電報)

塘沽停戰協定は単なる軍事協定に過ぎず華北密輸取締問題とは無関係であるとの外交部係官談話について

北平 5月20日後発 本省 5月20日夜着

第三三〇號

北支ニ於ケル密輸問題ニ關シ南京外交部係官ハ十八日新聞記者ニ對シ塘沽停戰協定ハ元來單ナル軍事協定ニ過キスシテ何等政治的性質ヲ有セス又財政問題トモ關係ナシ海關ノ密輸取締ハ明カニ財務行政事項ナレハ毫モ軍事ト關係ナク從テ塘沽協定中ニハ之ニ關スル規定等アリ得サルモノナリトノ趣旨ヲ談話スルト共ニ參考トシテ停戰協定文寫ヲ配布シタル趣ニシテ右ハ中央社電トシテ十九日當地各漢字紙ニ掲載セラレタルカ二十日北平「クロニクル」ニモ南京特電トシテ右ト同内容ノ記事(但シ「外交部係官ハ海關ノ密輸取締ヲ阻止スル日本側累次ノ措置ハ明カニ不當且不法ナリト述ヘタリ」トノ趣旨ヲ附記ス)掲載セラレタリ御參考迄

支、南京、天津、滿へ轉電セリ

694 昭和11年5月21日 在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

華北密輸問題をめぐる英國の日本非難の態度
に關し在中國英國參事官に嚴重注意について

付記 昭和十一年五月二十八日付、在南京須磨總領
事作成

「ピール」トノ密輸問題等會談

南京 5月21日後発
本省 5月22日後着

第四〇三號

往電第三九七號ニ關シ

廿一日日本官「ハウ」ヲ往訪シ最近北支密輸問題ニ關シ新聞
其ノ他ニ依リ頻リニ日本攻撃ノ挑戰の態度ニ出テ且英米等
ニ於テ支那側ニ支持ヲ與ヘツツアルカ如キ様子ヲ仄シツツ
アル次第ヲ指摘シ最近路透社ノ報道振(貴電合第三八六號)其
ノ他ニ見ルモ右ハ全然根據ナキ次第ニモアラスト存セラル
ル處英國側ニシテ餘リニ本件ニ深入スルニ於テハ自然香港

成リテ密輸ニ關シ日本側ヲ云々スルモ實ハ英國カ(1)支那側
ニハ密輸ノ防止方ニ付何等ノ警告モ爲シ居ラス(2)又英國側
ノ眞意カ果シテ密輸ノ爲外債ノ「サーヴキス」ガ害セラ
ルコトヲ憂フルモノナルニ於テハ何カ故ニ他ノ外債關係國
(米、佛、伊等)ニモ日本ニ對スルト同時ニ同様ノ申入レヲ
爲ササリシヤト突込ミ且英國側ハ英國ノ「クラウン、コロ
ニー」タル香港ヲ中心トスル西南諸方面ニ對スル密輸入ノ
事實等ト對比シ寧ロ北支ニ現在行ハレツツアル事實ニ苦笑
(「チャックル」)ヲ禁シ得サルニ非サヤトモ思考セラルル旨
ヲ卒直ニ強ク申聞ケタルニ「ビ」モ去ル者左ノ通り會談セ
リ、

(一)成程西南ナリ揚子江方面ナリニモ密輸ノ事實アルハ想像
シ得ラルルモ從來英國側ハ日本ハ常ニ“doing a right thing
in a right way”ナルヲ信シ來レルニ北支密輸カ若シ支那
側ヲ屈服セシムル手段トシテナラハ勿論假ニ高率關稅ノ
引下ケヲ誘致セム爲ナリトスルモ少クトモ“a right thing
in a wrong way”又場合ニ依リテハ“a wrong thing in a
wrong way”ナリトモ思考スル尙尠カラス卒直ニ云ハハ英
國ニ實在セル多數ノ日本ノ親友カ漸次「ダイハード」ニ

ヲ中繼トシテ行ハレ居ル英國側ノ對廣東等ノ密輸出ヲ取上
ケサルヲ得サルニ至ルヘクステハ英國ハ結局自己ノ發射セ
ル丸ニテ自ら撃タルルコトトナルヘキ譯合ナリトテ嚴重注
意ヲ喚起シ置キタルニ「ハ」ハ稍狼狽ノ體ニテ右ヲ了承シ
居タリ

(付記)

「ピール」トノ密輸問題等會談

- (1)密輸問題
- (2)陳光甫ノ在米活動
- (3)英國側ノ庚子賠款利用方

昭和十一年五月二十八日

五月二十六日「ピール」會談

「ピール」ハ「キャセー、ホテル」ニ「リース、ロス」ト
隣室シ最近ハ中央銀行改組問題ニ關聯シ「ロジャーズ」ニ
通シテ支那側指導ニ餘念ナキモノノ如ク且ツ密輸問題ニ關
シ相當支那側ト遣リ居ルモノノ如キニ付筆者ハ過般南京ニ
於テ「ハウ」ニ通告シタルト同様、英國側カ餘リイ、氣ニ

傾キツツアルハ日本側ノ猛省ヲ要スル點ナリト述ヘ(此
ノ言ヒ方ハ孔祥熙等カ筆者ニ對シテ云フ處ト同一撤ナル
ハ注意ヲ要ス)
(以下省略)

695 昭和11年5月23日 在上海石射總領事より
有田外務大臣宛(電報)

中国当局の嚴重取締により上海方面への密輸
品輸送は困難な状況について

上海 5月23日後発
本省 5月23日夜着

第一八九號

支發閣下宛電報第三四八號ニ關シ

最近ノ當地漢字紙ハ連日國民政府ノ密輸取締勵行ニ關スル
記事ヲ大ニ掲載シ居ルノミナラス當地市商會初メ綿糸
布同業公會等ノ商人團體モ夫々密輸防止方策ノ協議乃至密
輸品不買決議等ヲ行ヒ以テ政府ノ方針ニ協力スルノ態度ヲ
示シ居ル旨及上海方面ニハ人絹、砂糖等北支ヨリノ密輸品
充滿シ甚シク市場ヲ混亂セシメ居ルカ如キ宣傳振ヲ爲シツ
ツアルヲ以テ實際支那側商人カ本件ニ付如何ナル態度ヲ持

シツアルヤ又現在當方面ニ於ケル北支ヨリノ密輸品ハ果シテ支那側宣傳ノ如キ状態ナルヤ等ニ關シ二十二日金曜會ニ於ケル邦商各方面代表者ノ情報及意見ヲ徵シ又諜報者ヲシテ直接支那商人ノ意嚮ヲ内査セシメタル所ニ依レハ前記綿糸布同業公會ノ外砂糖(任電第六八號參照)海產物、染料等主ナル同業公會モ一般民衆ニ對スル手前同様密輸品不買決議ヲ爲シタルヤノ由ナルカ普通日本品ノ取引ニハ目下ノ所始ト影響現ハレ居ラス傳ヘラルルカ如キ本件ヲ一般排日貨運動ニ利用セントスルカ如キ空氣乃至策動ハ尙見受ケラレストノコトニシテ又北支ヨリ上海方面ヘノ密輸品輸送ハ主トシテ人絹ニ付行ハレタルモノナルカ最近稅關並ニ鐵道當局ノ嚴重ナル共同取締ノ爲著シク困難トナリ居リ殊ニ今般發布セラレタル取締條令ニ依リ支那人ハ愈恐ヲ爲シ密輸品ニ手ヲ出スカ如キ者ナキニ至ルヘシト見ラレ居レリ

在支各總領事、北平、厦門ヘ轉電シ支ヘ轉報セリ

696

昭和11年5月23日

在南京須磨總領事より
有田外務大臣宛(電報)

蒋介石の指示による中国側密輸取締規則制定

ノ上許可證ヲ受クヘシ

(ホ)工場、商社、運送會社ハ貨物ノ仕入、販賣、「ストック」ノ狀況ヲ詳細帳簿ニ記入スヘシ

(ロ)違反ハ貨物ノ二割以下(一)ハ五十元以上二百元以下(ハ)百元以上三千元以下ノ罰金ニ處ス

(二)イ)海關ハ重要停車場ニ検査所ヲ設置スルコトヲ得

ロ)海關員ハ各停車場及車中ニ於テ密輸品ノ検査沒收ヲ行フコトヲ得

イ)海關員ハ必要ト認ムルトキハ停車場ニ於テ旅客ノ手荷物ヲ検査スルコトヲ得

ニ)鐵道ハ前記(一)ノ(イ)所載ノ書類完備セルニアラサレハ運送スルヲ得ス

支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

支、北平、天津、青島、濟南ヘ轉電セリ

697

昭和11年5月26日

在中国若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

華北密輸のもたらす各方面への悪影響に鑑み
中国側の密輸防止措置に日本政府も協力すべ

について

南京 5月23日後発
本省 5月23日夜着

第四〇六號

昨二十二日盛沛東本官ヲ來訪密輸問題ニ關シ蒋介石ハ大ニ機嫌ヲ損シ十九日張公權ヲ呼付ケ至急應急措置方嚴命セル旨内話シ居タルカ右ノ結果カ

(一)輸入貨物運銷暫行章程二十箇條(廿二日ヨリ施行)及

(二)密輸品鐵道運送防止辦法及細則(各七項、不日實行)

ノ制定ヲ見タリ其ノ要旨左ノ如シ

(一)イ)輸入貨物ヲ汽車汽船ニ轉載内地ニ發送セントスル者ハ海關ヨリ納稅濟證明ト共ニ更ニ運銷執照ノ下付ヲ受クルヲ要ス

(ロ)右運銷執照ハ目的地到着ノ上ハ商人ヨリ同業公會又ハ商會ニ交付保存スヘシ

イ)、ロ)ノ貨物ヲ更ニ地方ニ分割販賣セントスル場合ハ商會又ハ同業會ニ通告ノ上登記ト對照許可ヲ受クヘシ

(二)本章程所定ノ貨物ヲ「ストック」、購入、運送セントスル工場、商社及運送會社ハ財政部指定ノ期間ニ登記

き旨意見具申

上海 5月26日後発
本省 5月26日夜着

第三六四號

(一)最近ニ至リ南京當局カ密輸防遏ニ付累次往電ノ如キ強硬ナル態度ヲ示シ來レルハ

イ)業ヨリ關稅收入ノ減少カ南京政府ニ財政上ノ不安ヲ感セシメタルカ爲ナルヘキモ之ハ今改マリテノコトニアラス又致命的ノモノトハ思ハレス(密輸關係品タル砂糖、人絹等ノ輸入カ皆無トナルモ一九三三年度ノ關稅剩餘七千萬減收カ無クナル位ナルカ是等品物ノ輸入減少ハ大底ヲ突キ居リ此ノ上ノ減少ハ限リアルモノト思ハル)寧ロ

ロ)天津方面ノ宋哲元ニ對スル海關接收方慈惠等カ南京ニ知レ居リ南京カ之ニ對シ日本側及宋哲元側ヲ牽制セントセルコト及

イ)密輸品ノ中支侵入カ支那商人ニ大打撃ヲ與ヘ商會及同業組合等カ政府ニ對シ防遏策ヲ強要シツツアリ財政部内ニテ一時考慮シ居タル關稅引下ニ國內當業者及財閥

ノ反對アリシコトニ依ルモノナルヘク尙
 (二)外國政府、貿易業者、公債所持人ニ訴ヘ之ヲ日本ニ對シ利用スル政策カ相當效ヲ奏セントシツツアルコト
 (三)密輸防遏手段ニ付或程度ノ成算ヲ得タルコト
 與ツテ力アリシモノト察セラル

(二)^②而シテ右防遏方法ハ新聞等ニ傳ヘラルル所ヲ綜合スルニ
 (イ)密輸關係者ニ對スル死刑其ノ他ノ嚴罰
 (ロ)鐵道當局ノ協力ニ依ル密輸品輸送防止及列車内ニ於ケル検査課税

(ハ)冀東區域トノ境ニ臨時關稅線ノ設定
 (ニ)輸入貨物ノ運送販賣ニ付全國的ニ登記検査ヲ行フ方法
 (ホ)密輸品不買抵制運動國貨提唱ノ強化
 等ナルカ如ク是等手段ニ相當ノ無理、不利益アリトスルモ既ニ内外ニ向ツテ密輸ノ損害ヲ大袈裟ニ宣傳シアリ南京トシテハ死活ノ問題ナレハ死者狂ニ強行スルモノト思ハル

(三)素ヨリ是等防遏手段カ北支ニ於テ所期ノ通り實行セラルルヤ否ヤハ冀察政權カ本件ニ付如何ナル態度ニ出ツルカニ係ル次第ナルカ關稅收入ノ分前ニ與ラサル冀察力取締

府ノ所期スル前記程度ノ目的ハ達成セラルルニアラスヤト考ヘラル

(四)而シテ前記(二)ノ各種ノ方法ノ内(ロ)、(ニ)ノ如キハ我方トシテ之カ邦人ニ對スル適用阻止ヲ主張スルモ之カ爲到ル所ニ紛糾ヲ起スヘク又(ホ)ノ密輸品不買抵制ハ密輸品ニアラスル一般日本品排斥ヲ馴致シ過去數年ノ努力ニ依リ漸ク鎮靜セル排日貨ヲ再燃セシムル危險性ヲ多分ニ有スルハ言ヲ俟タス

(六)^④而シテ支那側防遏手段カ或程度ニ效ヲ奏センカ密輸防止ノ爲關稅ヲ引下ケ又ハ我方ノ協力ヲ求メントスルカ如キ氣持ヨリ益々遠サカラシムヘク左リトテ右支那側防遏手段ニ對抗シテ飽迄密輸ノ續行ヲ計リ以テ之ヲ政治的乃至經濟的目的ニ利用セントセハ從來ノ默認的獎勵ノ態度ヨリ一步ヲ進メ前項ノ如キ紛糾發生ヲ賭スル外相當無理ナル手段ヲ執ラサルヘカラス全般の考慮ヨリ之カ利害ハ頗ル疑問ナリ

(七)依テ密輸貿易カ結局永續性ナキコト、密輸ノ正當貿易及在留邦人ノ「モーラル」ニ惡影響アルコト、密輸ヲ押シ進メテ日支間ノ正面衝突迄至ラシムルハ名分ニ於テ不利

ニ熱心(ヲ)缺クヘキハ勿論乍ラ冀東トハ異リテ密輸ヲ取締ラルルコトニ依リ損失ヲ受クルモノニモアラサルヲ以テ(冀察側要人ハ多數ノ密輸會社ヲ作りテ私利ヲ計リ居ルヤニ傳ヘラルルモ)海關、鐵道等カ冀察ノ領域内ニ於テ密輸ヲ取締ラントスルニ對シ強ヒテ干涉スル氣モ意モナカルヘシ(冀東特輸品カ冀東外ニ流入スルヲ防止シ冀東ノ收入ニ減少ヲ來スコトハ寧ロ冀察カ密ニ希望スルヤモ知レス)要スルニ冀察カ冀東ノ特別手數料ノ分前ニ與リ又ハ冀東ニ類似スル特別手數料ヲ徵收スルニ至ラサル限り冀察トシテハ中央ノ密輸取締ヲ妨害スル理由ナク中央ニ對スル手前或程度ノ協力ヲ與フルモノトモ思ハル

(四)^③假ニ冀察力取締ニ協力スルモ素ヨリ密輸カ根絶スヘシトハ思ハレサルモ南京政府トシテハ密輸ヲ或程度(例ヘハ客年ノ春頃ノ程度)迄ニ減少セシメ得レハ其ノ目的ヲ達スル譯ナレハ冀察カ密輸防遏ニ反對スル場合ニ於テモ前記(二)ノ諸手段ヲ中支及南支ニ於テ實行スレハ冀東特輸品ノ華北方面ニ對スル侵入ヲ防止シ得ストスルモ從來ノ如ク中支方面ニ侵入スルコトハ困難トナリ從テ北支ノ密輸ハ北支ニ於テ消費セラルル分量丈ケニ限定セラレ南京政

ナルコト(支那實業界ノ深怨ヲ買フ外英米ニ對シ日本ハ華北ニ自由輸入區域ヲ設定シ之ヲ根據トシテ北支、中支ニ於ケル貿易ヲ獨占セントスルモノナリトノ印象ヲ與ヘ現下ノ國際關係上極メテ不利ナル情勢ヲ馴致スヘシ)等篤ト御考慮ノ上此ノ際我方トシテ密輸ハ結局或時期ニ於テ之カ防止ニ協力スルノ肚ヲ決メ支那側ノ防遏手段カ實效ヲ現ハササルニ先立チ適當ノ機會ニ或種ノ條件ヲ以テ右協力ヲ與フルコトトスルコト緊要ナルヘシト存セラル

(五)尤支那側ニ於テ前項ノ如ク我方ノ協力ヲ求メストノ態度ニ出ツル如キ場合ニモ差當リ密輸品ヲ中支方面ニ侵入セシムル爲ノ無理ナル工作ハ之ヲ差控ヘ又北支ニ於ケル密輸ニ付テモ鮮人等ノ露骨ナル行動ハ漸次取締ヲ加フルコト必要ト存ス

天津發貴大臣宛電報第一七五號ノ次第モアリ本件御考慮中ノコトトハ存スルモ當方面ノ觀測御參考迄

(以下部外秘)最近本件密輸問題及海關接收問題ニ付當地武官、天津軍及關東軍ヨリ夫々中央ニ對シ電報ヲ以テ意見ヲ上申シ軍側出先ニテハ中央ノ決定ヲ待チ居ル模様ニモアリ軍中央部ト御接觸中ノコトトハ存スルモ出先ニ於

テモ軍側ト聯絡ノ必要アリ大體ノ御意嚮ニテモ折返シ御
回電ヲ請フ

在支各總領事、北平へ轉電セリ

698 昭和11年5月26日 在中國若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

華北密輸問題に關する中国側の過度の日本非
難および取締規則の乱発は日中国交を阻害す
るものであると孔祥熙へ警告について

上海 5月26日後発
本省 5月26日夜着

第三六八號

二十五日須磨孔祥熙ト會談ノ際支那側カ密輸問題ニ關聯シ
日本側ニ對シ途方モ無キ非難ヲ加ヘ且恐ラクハ日本人關係
ノ悶著ヲ惹起スル惧アル取締法規ヲ濫發シ居ルハ到底日支
國交ヲ改善スルニ努力シ居ルトハ思ハレサル次第ヲ警告的
ニ強ク申入レ此ノ種防遏手段ハ恐ラク却テ密輸ヲ激成スル
コトトナルヘシト言ヘルニ孔ハ成程其ノ懸念モアルヘキニ
付是等防遏手段トハ別ニ密輸ノ如キ事態ヲ消滅セシムル政

津總領事宛照会について

付記 昭和十一年六月十日發在天津田尻總領事代理
より有田外務大臣宛電報第二四二號

右照会に対する回答

上海 5月27日後発
本省 5月27日夜着

第三七四號

本官發天津宛電報

第二三號

各方面ヨリ種々問合モアリ之ニ對スル應酬振モ貴方ト調子
ヲ合セ置キ度キニ付左記ノ諸點至急御回電ヲ請フ
一、客年南京宛電第二七號^(編注)以來引續キ武裝セサル監視船モ
入域ヲ認メサル方針ナリヤ

二、入域ヲ許サストセハ之ヲ如何ニ説明シ居ラルルヤ

三、冀東特輸ハ貴電第一〇號(口)ノ通り引續キ旭組カ獨占シ居

リ外國品ノ特輸ハ許ササル次第ナリヤ

四、外國品ニ特輸ヲ開放スルモ實際我方ノ利害ニ關係無ク而

モ外國側ノ惡宣傳ニ一應ノ反駁トナリテ得策ナリトノ意

見アル處(當地武官ノ如キモ然リ)貴地軍側等ニモ右ノ如

治的ノ話合ヲ日支間ニ於テ早日ニ開始スルコト切望ニ堪ヘ
スト述ヘタルニ付須磨ヨリ豫テ話合ノ通り例ヘハ北支問題
ニ付支那側ニテ思切ツタ具体案ヲ作成スルノ決心ヲ爲スコ
ト必要ニシテ夫レニ付ケテモ日支互惠稅率ヲ復活セシムル
コト等モ之ト併セ考フルコト必要ナルヘキカ其ノ決心アリ
ヤト言ヘルニ孔ハ協定稅率ハ最惠國條款ニ依リ稅率ノ一般
的引下ト同様ノ結果トナルヘキニ依リ之ヲ防止スル方法ヲ
目下考慮中ナリ要スルニ日本側モ道理アル具体案ヲ用意セ
ハ蒋介石ハ充分妥協ノ見込アリ現ニ二十二日各部長懇談會
ニ於テ蔣ヨリ日蘇ノ開戰ハ支那ニ取り最望マシカラス之ヲ
避クル爲ニモ支那側ヨリ出來得レハ日本ト提携方ヲ持出ス
必要アリト極言シ一同ヲ驚カシタル程ナリト述ヘ居タル趣
ナリ

北平、天津、南京へ轉電セリ

699 昭和11年5月27日 在中國若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

中国税関監視船の入域問題など華北密輸問題
をめぐむるわが方の具体的対応振りに關する天

キ意見アリヤ

一、南京發本官宛電報第三九四號外交部來翰中ニ記載セラレ
タル石河轉運公司ナルモノノ有無、實情
大臣、南京、北平へ轉電シ上海へ轉報セリ

編注 『日本外交文書』昭和期II第一部第四卷第437文書。

(付記)

天津 6月10日後発
本省 6月10日夜着

第二四二號

本官發支宛電報

第二六號

貴電第二三號ニ關シ

極秘御含迄左ノ通

一、非武裝ノモノモ認メサル方針ナリ

二、嶺我大佐山海關駐在時代數次ニ巨リ監視船ノ武裝解除方

警告セルモ一向誠意ノ認ムヘキモノ無カリシニ願ミ非武

裝ノモノニ對シテモ退去ヲ要求セル経緯アリ

三、旭組ハ陸揚地ヨリ驛迄ノ運送ヲ特許セラレ(場所ニ依リ他ノ組合ニモ特許シ居レリ)居ルニ止マル

四、冀東側ニテハ外國品ハ正關稅ノ八割ト規定シ居レルモ天津軍ニテハ特輸ハ結局日本品ノ流入助長ヲ趣意トシ外國品ノ特輸ハ許ササル考ナルカ事實上外國品モ大連經由相當輸入サレツツアル模様ニテ(過日鹽田視察ノ爲秦皇島方面出張ノ永井モ現ニ「バタフイルド」ノ香港製砂糖、伊太利人絹等ノ貯藏シアルヲ日撃セル趣ナリ)中ニハ大連ニテ包裝「レベル」ヲ變ヘ日本品ノ如ク裝ヘルモノ相當アリ今日迄ノ所當方面ニテ外國品特輸禁止ニ對スル苦情ヲ聞キタルコト無シ

五、石河轉運公司ナルモノハ存在セス
大臣、南京、北平ヘ轉電セリ

700 昭和11年5月29日 在中国若杉臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)

華北密輸問題が抗日空気を助長している状況等
等に関する胡霖大公報主筆談話について

キヲ以テ鮮クトモ一時ナリトモ支那國民ノ猜疑心ヲ除ク爲北支ニ於ケル日本ノ行動ヲ手控エル要アリ(尙胡霖ハ北支ノ實情ハ日支雙方共心アル者ノ見ルニ忍ビサル醜態ニテ大學教授、青年學生ノ反日運動ノミナラス親日派ノ有志サヘ愛想ヲ盡カシ居リ又南京政府カ防備ヲ急キツツアルモ事實ナリト語レリ)

三、右ニ對シ本官ヨリ日本ハ北支ニ於テ何等領土の野心ヲ有セス又獨立國ヲ樹立スルノ意思無キハ勿論ナルモ滿洲國ノ隣接地域タル北支ノ特殊事情ニ鑑ミ支那側カ防共、經濟及文化提携等ニ付日本ノ要望ヲ容レサル限リ獨自ノ立場ヨリ種々ノ行動ニ出テントスルハ已ムヲ得サル勢ナルヲ以テ支那側ニ於テモ其ノ是非ニ付「アカデミック」ノ評論ニ墮スルコト無ク現實ノ特殊ナル政治的事態ヲ直視シ速ニ之ニ對應スル具體的措施ヲ講スル外打開ノ途無カルヘク支那操觚界ノ第一人者タル貴下ノ論說ノ如キモ純理論ヲ離レ實際政治ノ觀點ヨリ立論セラルルコト必要ナルヘシト說示シ置ケリ
北平、天津、南京ヘ轉電セリ

上海 5月29日後發
本省 5月29日夜着
第三八一號

廿八日大公報主筆胡霖本官ヲ來訪種々談話ノ内參考トナルヘキ點左ノ通
一、北支密輸ノ影響漸次當方面ノ經濟界ニ波及シ一時緩和サレ居タル實業界ノ反日的感情再燃スルニ至リ其ノ間共產分子等カ頻リニ之ヲ反。蔣。及。抗。日。ノ運動ニ利用シ居ル爲一般ノ對日空氣頗ル惡化シ來リ國民政府ニ於テモ密輸品取締ニ全力ヲ注ク決心ナルヲ以テ本問題ヲ此ノ儘捨置クニ於テハ相當重大ナル結果ニ立至ルヤモ測ラレサルニ付遠ニ之カ對策ヲ講スルノ必要アリ

二、蔣介石ハ是非共日支關係ノ調節ヲ計リ度キ意嚮ヲ有スルハ自分等ノ確信スル所ニシテ又日支打解ケテ協議スルニ於テハ必スヤ何等カノ解決方法ヲ見出シ得ヘシト信スルモ現在ノ難關ハ日支雙方共猜疑心ニ滿チ感情ノ對立ニ依リ相互ニ胸襟ヲ開ヒテ相談スルヲ得サル狀態ニアル處從來ノ如ク北支ニ於テ次カラ次ヘト種々支那國民ノ神經ヲ刺戟スルカ如キ行動續出スルニ於テハ到底調節ノ見込無

701 昭和11年5月29日 在中国若杉臨時代理大使より 有田外務大臣宛(電報)

密輸品沒收事件發生に對し大局上わが方は抑制的態度をとるべき旨意見具申

上海 5月29日後發
本省 5月29日夜着

第三八四號(至急、極秘)
往電第三六四號ニ關シ

一、廿七日夜岸本ノ内話ニ依レハ同日津浦線蚌埠驛ニテ鮮人カ證明書ナシニ北方ヨリ運送シ來レル砂糖二百三十噸ヲ荷卸セントシタルモ苦力ハ處罰ヲ恐レテ運搬ヲ肯セス砂糖ハ其ノ儘驛ニ放置セラレ居リ稅關ハ之ヲ沒收スルコトトナリタル趣(密輸處罰條令ト同時ニ公布セラレタル稽。查。章。程。十八條)ナルカ右ニ對シテハ今回ノ處罰條令ニ對スル我方ノ態度決定迄右様事實ヲ矢釜敷ク書立テシメサル様申聞ケ置キタリ

二、我方トシテハ條約ノ關係上右沒收ヲ認メ難キコト勿論ナルカ之カ返還方ヲ交渉スルモ支那側ハ之ニ應セサルヘク勢ヒ實力ヲ用ヒテ之ヲ奪還スルヨリ外ナカルヘシ此ノ場

合兩國國民ニ對シ多大ノ刺戟ヲ與フルハ勿論奪還品ハ之ヲ賣捌ク途ナク北方ニ持歸ルヨリ外ナク結局ニ於テ密輸品ノ中支侵入ハ其ノ目的ヲ達シ難ク

右様ノ紛糾頻發スルニ於テハ支那人ハ感情上及密輸ニ連繫スルコトヲ避クル爲正當輸入ノ日本品ニテモ買入ヲ差控ヘルニ至ルヘク(當方面ニ於テモ支那商人ハ邦貨ノ買入ヲ手控フル傾向アリ)遂ニ一般ノ日貨排斥ヲ促進スルコトナリ大局上憂慮スヘキ次第ト存セラル(尙本件交渉力大袈裟ニ發表セラルルカ如キコトアラハ五月十四日附錦州發滿宛公信機密第三二五號ノ如ク密輸業者ヲ逡巡セシメ北支ノ密輸其ノモノヲ阻止スル結果トナルヘシ) 三 英米カ支那以外ニ於テ日本品ヲ排斥スル以上我方トシテハ支那市場ヨリ英米品ヲ驅逐スルハ自衛行爲ナリトノ議論及冀東ノ特殊貿易ハ合法的ニシテ廣東、新疆、外蒙等ニ於ケルト同様ナレハ支那カ北支ノ密輸ノミヲ攻撃シ密輸品ヲ阻止スルハ英米ニ加擔シテ日本ヲ排斥スルモノナリトノ議論(以上二七、二八日東京發同盟)ハ議論トシテハ成立ツモ

之ヲ貫徹スルニハ英米(ト)ノ對立ヲ覺悟スル要アル外其

702 昭和11年5月30日

在濟南西田總領事より
有田外務大臣宛(電報)

中国側の積極的密輸取締措置について

濟南 5月30日後発
本省 5月30日夜着

第九五號

卅日附當地新聞紙ノ報道スル所ニ依レハ財政部ハ密輸取締ノ爲徐州ニ緝私總處ヲ特設シ津浦沿線浦口、蚌埠、徐州、兗州、濟南、德州等各地ニ分處ヲ設置シ分處ニハ稽查主任一名ノ外稽查若干人ヲ常駐セシムルコトナリ濟南分處主任葉遇春ナル者稽查員ト共ニ既ニ來濟セル趣ナリ右ハ往電第七四號ノ次第モアリ支那側ニ於テハ愈積極的ニ密輸防止ニ乗出シ來レルモノト認メラル

支、北平、天津、青島、南京へ轉電シ鄭州へ暗送セリ

703 昭和11年6月1日

在中国若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

密輸品排斥運動の状況に関する諜報について

ノ手段トシテ密輸ノ方法ニ依ルコトカ世界ヲ納得セシメ得ルヤ疑問アルノミナラス前記ニ如キ事情ニ依リ到底其ノ目的ヲ達シ得サルコト明カナリ

四、從テ我方トシテ假ニモ三、前段ノ如キ政策ヲ採ルトスルモ之カ實現ノ爲今直ニ密輸品ノ中(支)侵入ニ對スル支那側ノ取締ヲ排除スルコトハ前述ノ如ク不得策ノ結果ヲ來ス次第ナレハ特殊貿易ハ北支ニ限り之ヲ默認スルコト已ムヲ得ストスルモ徒ニ功ヲ急キテ大局ヲ誤ルヘキニアラスト存セラルルニ付冒頭往電末段括弧内ノ趣旨ヲ御採用ノ上密輸品ノ鐵道ニ依リ中支方面ヘノ輸送ハ當分ノ差控ヘシメラルル様御考慮ヲ請フ

三、當方トシテハ右ノ事情及二十三日以来當地英字紙カ密輸ニ關スル記事ヲ手控ヘ居レルカ如キ事實ニモ鑑ミ我方ニ於テ本件根本策ヲ決定セサル前ニ宣傳戰ヲ進メルコトハ宜シカラスト考ヘ其ノ趣旨ニテ新聞ヲ指導シ居レリ右御含置ヲ請フ

北平、在支各總領事へ轉電セリ

704 昭和11年6月5日

在濟南西田總領事より
有田外務大臣宛(電報)

第三九四號

上海 6月1日後発
本省 6月1日夜着

當地民間各界ノ密輸品排斥運動ノ狀況ニ關シテハ累次報告ノ通ナル處三十一日諜報ニ依レハ當地復旦大學救國會ニ於テハ密輸日本品ノ抵制運動ヲ近ク發動セン形勢アル由ナルカ更ニ各界救國聯合會、全國學生聯合會、文化界救國會等ノ左傾各團體ニ於テハ上海各界私貨(密輸品)抵制大同盟ノ結成方準備中ニテ現ニ各方面ニ向テ參加方勸説シ(勸説文郵送)密輸品抵制運動ノ擴大ヲ圖リツツアル處彼等ハ「不運私貨」、「不賣私貨」、「不買私貨」、「不用私貨」ヲ口號トシ之カ目的貫徹ノ爲ニハ私貨検査隊ヲ組織シ各商店及各汽船、汽車、碼頭ノ見張ヲ爲サシメン計畫アル趣ナリ

在支各總領事及香港、北平、厦門へ轉電シ上海へ轉報セリ

704 昭和11年6月5日

在中国若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛

英字紙掲載の華北密輸に関する海關報告書は
財政部により意図的に修文されている旨注意

喚起について

機密大第三五〇號

(6月9日接受)

昭和十一年六月五日

在中華民國

臨時代理大使 若杉 要 (印)

外務大臣 有田 八郎殿

海關「ブリヴェンテイヴセクレタリー」ノ北支

密輸ニ關スル報告送付ノ件

本月三日ノ「チャイナ、プレス」ニ掲載セラレタル海關「ブリヴェンテイヴ、セクレタリー」「ブリツチャード」ノ北支視察報告ニ關シテハ不取敢電報ヲ以テ報告シ置キタル處「ブリツチャード」ノ提出セル實際ノ報告全文ハ別紙^(密)ノ通ニシテ其ノ前段ハ「ブリツチャード」カ北支ニ於テ聽取セル事實ヲ記載シ其ノ後段(一二頁以下)ニ於テ「ブリツチャード」ノ結論トシテ問題ハ政治問題ニ付支那ハ日本ト交渉スル要アルコト及稅率ヲ改訂スル要アルヘキコト等ヲ記載シ居ル處財政部カ新聞ニ發表セルモノ(別紙ヲ赤字ニテ訂正セル通り)ハ右後段ヲ全然削除シアルノミナラス前段ニ付キテモ多少細工セル個所アリ「ブリツチャード」自

身右新聞ヲ見テ驚キ早速岸本ニ報告全文ヲ日本側ニ内示シ諒解ヲ得置カレ度キ旨依頼スル所アリタル趣ニシテ又「メーヅ」モ岸本ニ對シ海關トシテハ出來得ル限り國際的紛糾ニ卷キ込マレサル様常ニ注意シ居ル次第ニシテ財政部ノ遣リ

口ニハ「リセント」スルモ何分ニモ財政部長ノ遣リ居ルコトニモアリ如何トモ致シ難キ次第ニ付日本側ノ充分諒解ヲ

得置カレ度キ旨依頼セル趣ナリ

右何等御參考迄報告ス

追テ別紙乙號ノ内容及之ヲ我方ニ内示シ來レル經緯ハ岸

本及「ブリツチャード」等ノ立場モアリ絶對外部ニ發表

セラレサル様致度

本信寫送付先 北平 南京 天津 青島

~~~~~

~~~~~

705 昭和十一年六月七日 在南京松村總領事代理より
有田外務大臣宛(電報)

官民一致して華北密輸根絶を期すとの財政部

の方針に關する報道について

南京 6月7日發

本省 6月7日夜着

第四二七號

新聞紙ノ報道ニ依レハ漢口ノ商會、上海ノ工會等ヨリ實業部ニ對シ密輸取締方請願越セルヲ以テ實業部ハ之ヲ財政部ニ移牒シ置キタル處今般財政部ヨリ實(業)部ニ對シ政府トシテハ有ル有效ナル方法ヲ講シ居レルモ尙不充分ノ嫌アルニ付此ノ際國民ノ愛國心ニ訴ヘ商社側ヲシテ密輸品ヲ取扱ハシメサル様指導シ官民一致之カ絶滅ヲ期シ度キ旨回答越セル趣ナルカ右ハ新聞側ノ手加減如何ニテハ日貨排斥トモナルヘキ慎アルヤニ思料セラルルニ付爲念
支ヘ轉電セリ
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

706 昭和十一年六月十三日 有田外務大臣より
在天津田尻總領事代理宛(電報)

中国税関監視船の軽武装許可に關し支那駐屯

軍と協議方訓令

本省 6月13日午後2時0分發

第一一二號(極秘)

支宛貴電第二六號ノ一及二三關シ

海關監視船問題ニ關スル「リースロス」ノ質問ニ對シテハ

客年南京宛貴電第二七號ノ趣旨ニ依リ應酬シ置ケル處「リ

ヨリ」十二日附次官宛書翰ヲ以テ「海關側ヨリ許可方申出タ

ル場合ニハ日本軍ハ監視船カ拳銃ヲ所持スル程度ノ武装ヲ

回復スルコトニ異議ナキヤ確認ヲ得度ク又監視船カ冀東領

海内ニ於テ usual light armaments ヲ所持スルコトニ軍ハ異

議ナキヤ承知シ度」旨申越セルニ付客年ノ實際的解決辦法

ノ範圍内ニ於テ(即チ拳銃携行ノ點ノミニ付)現地ニテ話合

ヲ進メラルルコト可然シト思考スル旨書面ヲ以テ回答シ置

ケリ就テハ右御含ノ上本件ニ關シテハ冀東政權成立後種々

ノ行懸ハアルヘキモ許可スル様軍側ト話合ハレ度シ

追テ軍中央部ヨリモ貴地軍司令官宛監視船ノ問題ニ關シテ

ハ客年十月ノ辦法ニ依リ解決ヲ計ルヘキ旨支那側ニ説明シ

居ル次第ニ付右主旨ニ反スルカ如キ措置ニ出テサル様訓電

濟 支、南京、北平ニ轉電セリ

~~~~~

707 昭和十一年六月十三日 在上海石射總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

中国側密輸防止策が効果的に実施されている  
ため華中方面への密輸品流入が減少している  
状況について

上海 6月13日後発  
本省 6月13日後着

第二二三號

支那側ニ於テ北支方面ヨリ中支就中當地方ヘノ密輸防止ニ躍起トナリ居ルコトハ屢次往電ノ通ナル處少クトモ當地方ニ於テハ右密輸防止ハ極メテ效果的ニ實行セラレ居リ最近ハ北支方面ヨリ流入シ來レル密輸品ハ漸次影ヲ潛ムルニ至リ其ノ結果密輸品ノ安値ニ脅カサレ居タル當地方各業界ハ漸ク其ノ重壓薄ラキツツアル模様ナリ例ヘハ邦糖ノ如キ茲三箇月間程密輸品ノ脅威ト輸入税引上説ニ依ル輸入手控トノ爲殆ト全ク商談ヲ見サリシカ最近ニ至リ二萬數千俵ノ商談成立シ人絹糸モ右同斷密輸品ノ流入減退ニ依リ在貨薄ト共ニ相場ハ七十元以上ノ反騰ヲ示スニ至リ又毛織物ノ如キモ他ノ事情モアルヘキモ密輸取締ノ峻嚴化ニ依リ人氣ハ見直シ逆鞘ニテ輸入商談ハ窺ハレサルモ氣配ハ頗ル良クナレル模様ニシテ更ニ綿布類モ最近ノ活況ノ裏ニハ密輸取締ノ徹

シ得ル制度ニシテ右ハ我方ノ山東省ニ對スル經濟工作ノ第一歩ニシテ將來ハ之ヲ推シテ山東ノ沿岸貿易ニ迄及ホス基礎工作トナルモノナルカ韓ハ中央ニ對スル氣兼モアリ表面何等之ニ干與セサル態度ヲ執リ一切ハ李士英ノ裁量ニ委セ居ル處李ハ當地續私處李<sup>通華</sup>（任電第九五號參照）トモ懇意ノ間柄ニモアリ既ニ本件ニ付テハ聯絡濟ナル趣ナリ云々同時ニ當地石野武官ヨリモ略同様ノ通報ヲ受ケタルカ本官ハ右方法ニ對シ暫ク其ノ實施振ヲ見タル上ニアラサレハ兎角ノ意見發表ヲ爲ササルヲ宜シト思考シタルニ付前記上野ニ對シテハ其ノ場ノ氣付ノ點トシテ右方法實施後之カ爲ニ種々不測ノ事件ヲ發スルルカ如キコト（例ヘハ通過證無キノ故ヲ以テ支那側カ日本人ヲ故意ニ壓迫スルカ如キコト）アラハ當館トシテハ然ルヘク處置セサルヲ得サル旨ヲ注意シ置キタリ

委細郵報  
支、北平、天津、青島、南京へ轉電セリ

709 昭和11年6月15日

在天津田尻総領事代理より  
有田外務大臣宛（電報）

底ニ相當人氣カ好轉セルコトハ爭ハレサル所ナルカ如シ支、在上海商務官へ轉報シ北平、天津、濟南、青島、漢口、南京へ轉電セリ

708 昭和11年6月13日  
在濟南橋本（正康）総領事代理より  
有田外務大臣宛（電報）

密輸品の自由な運搬販売を促進する裕魯公司  
の設立は山東省に対するわが方經濟工作の第一  
歩であるとの情報について

濟南 6月13日後発  
本省 6月13日後着

第一一三號（極秘扱）  
十一日天津在任上野繁樹ハ韓復榘代表ト稱スル李士英ヲ同伴來訪本官ニ語ル所左ノ通  
今回軍部ノ支持ニ依リ天津ニ裕魯公司ナルモノ設立セラレタルカ右ハ韓復榘ノ了解ヲ得テ津浦鐵道ニ依リ特殊貿易ヲ爲スモノニシテ所謂低稅輸入品ニ對シ關稅ノ約四分ノ一ニ當ル通過料ヲ山東省政府ニ代リテ徵收シテ通過證ヲ發給シ之アルモノハ津浦線ヲ經テ山東省内各地ニ自由ニ運搬販賣

従来の軍部意向に鑑み中国税関監視船の輕武  
装問題等の取扱いに対しては慎重であるべき  
意見見具申

天津 6月15日後発  
本省 6月15日後着

第二四八號（極秘）

貴電第一一二號ニ關シ

一、軍側ト話合ハ致シ見ルヘキモ密輸問題殊ニ特殊貿易ニ對スル軍部ノ意嚮ハ大體往電第二四三號ノ通ニテ關東軍ニ於テモ逐次右様ノ見方ニ轉向スルモノト察セラルル節アル處右ハ外ニ大目的達成ノ希望アルカ爲ナリ依テ右ヲ裏切り萬一外務省側カ密輸取締自體ヲ目的トシ居ルモノノ如キ印象ヲ與フル場合ニハ軍ノ態度硬化スル危險相當大ナルヘク密輸問題取扱振ハ此ノ上共至大ノ注意ヲ要スト認メラル

ニ、特殊貿易品ニシテ人絹、砂糖ノ如ク正規輸入ナキニ至レルモノハ買手筋ニ叩カレ相場下落シ全ク利益ナクナリタル爲密輸品目ハ次第ニ低率關稅品ニ擴大セラレ遂ニ國民政府ニ於テ問題ト爲スニ至レル經濟ハ御承知ノ通ナル處

最近ニ於ケル南送貨物ニ對スル取締、關稅引下見越ニ依ル氣迷及政治的不安等ニテ當方面ノ滯貨ハ漸ク増加シ密輸ハ稍衰類ノ氣色アリ冀東政府五月ノ稅收ハ百萬圓見當ニ過キササル由ニテ貴電御來示ノ如ク輕度ノ武裝監視ヲ認ムトセハ更ニ下火步調ヲ辿ルモノト考ヘラレズノ如キ情勢ヲ招致スルコト果シテ得策ナリヤ否ヤハ充分研究ヲ要スヘシ

三、特殊貿易ノ現状及見透前述ノ如シトセハ之ヲ此ノ儘ノ狀態ニテ他ノ目的達成ノ爲利用スルモ其ノ效果疑ハシキモノアリ從テ密輸乃至ハ特殊貿易ノ地區ヲ擴大スヘシトノ運動アルハ自然ノ勢カト考ヘラルル一方右ハ冀東ノ如ク我方ト少クトモ表面上特殊ノ關係ナキ地域ニ擴大セラルルモノナルヲ以テ明文上我方ノ立場ハ却テ有利トナルヘシトノ論モアル處右擴大ハ最後ノ切札トモ言フヘキ次第ニ付其ノ方法時期ニ付テハ冀東ノ指導及南京ニ於ケル交渉ノ進展ヲ充分考慮ニ容ルルヲ要スヘク此ノ點軍側ニ對シ注意濟更ニ當方ニ於テ心掛クヘキ點アラハ至急御電示アリ度シ

四、今後何かト軍トノ折衝上ノ都合モアルニ付各種問題ニ關

スル「リ」トノ御接洽振要領參考迄ニ御回電相仰度シ  
(尙冒頭貴電次官ノ回答文中重要部分原文ノ儘回電アリ度シ)  
支、北平、南京へ轉電セリ

710 昭和11年6月16日 有田外務大臣より  
在天津田尻総領事代理宛(電報)

中国税関監視船の軽武装問題については海關側より申し出ある場合に密輸取締とは別途に許可するべく支那駐屯軍と協議方補足訓令

本省 6月16日後5時40分發

第一一四號(極秘)  
貴電第二四八號ニ關シ

監視船問題ニ關スル來(冒頭)二次官カ「コミット」セル如ク記載シアルハ事實ニ非ス此ノ點ハ軍中央部ニハ見セ居ラサルニ付御含置アリ度シ(往「ピストル」ノ點ノミニ付回答シ居ルコト往電第一一二號申進ノ通)翰ハ次官「リースロス」會談録ト共ニ郵送方取計ヒ置キタリ。

尙「ピストル」ノ點ハ秦皇島稅關長ト話合ノ經緯モアリ密

輸取締トハ離レ我方ノ信義ノ問題トシテ前記話合通り實行スルコトニ軍側ト打合セタル次第ナリ、就テハ海關側ヨリ申出アリタル場合ニハ密輸取締ノ問題トハ別個ニ之ヲ許可スル様軍側ト話合ハレ度ク前電補足旁念ノ爲支、北平、南京ニ轉電セリ

711 昭和11年6月24日 在英国吉田(茂)大使より  
有田外務大臣宛(電報)

中国海關行政維持への日本側協力を切望する

覚書を英外務次官より受領について

別電 昭和十一年六月二十四日發在英国吉田大使よ

り有田外務大臣宛第三五五号  
右覚書の内容

ロンドン 6月24日後發  
本省 6月25日前着

第三五四號

本使着任挨拶ノ爲先方ノ希望ニ依リ着任當日(二十四日)午後「バンシタート」外務次官ヲ往訪シタル處同次官ハ外相ハ只今「オックスフォード」ニ赴キ居リ明日又直ニ壽府ニ

向フ爲本日自分ニ於テ御目ニカカル次第ナリトテ適當挨拶ヲ交換シタル後同次官ハ本日ハ着任早々事務上ノ問題ヲ語ルハ好マサルモト前提シタル後別電第三五五號要領ノ通り語り且覺書ヲ手交シタルニ付本使ヨリ右ノ趣旨ハ東京へ傳達致スヘキモ本使東京出發前既ニ本件ニ付在京英米兩國大使ト我外務大臣トノ間ニ會見ヲ重ネラレ外務大臣ニ於テモ本件ヲ重要視シ慎重ニ考慮シ居ルモノノ如シト述ヘタル後密輸ニテ損害ヲ受ケ居ルハ英米商人ノミナラス日本ノ眞面目ナル正當當業者モ同様損害ヲ受ケツツアリ此ノ點ハ御一考ヲ煩度シト述ヘ置キタリ

(別電)

ロンドン 6月24日後發  
本省 6月25日前着

第三五五號

最近北支ニ於ケル大規模ナル密輸ノ進展並ニ略非武装地帯ニ該當スル地域ニ支那海關行政ノ管理ヲ受ケサル稅關ヲ設置シ之ニ依リ支那現行關稅ノ一少部分ヲ課稅スルコトヨリ生スル重大ナル事態(grave situation)ニ付テハ英國政府ヨリ

日本政府ニ對シ一再ナラス注意ヲ喚起スル所アリタル處本件カ合法的ナル外國貿易及外債ノ安全ヲ脅スコトニ付テノ英國政府ノ關心ハ日本政府ニ於テモ分ラルモノト信シ居レリ又英國政府ハ日本政府ニ於テ爲サレタル支那ノ地方的政權カ中央政府ト獨立シテ海關行政ヲ設置スルヲ支持セサルヘシトノ assurance ヲ歡迎スルモノナリ然ル處事實ハ本件不正取引ノ大部分カ日鮮人ノ手ニ依リ行ハレツツアルコトハ周知ノ點ニシテ且長城以南ノ海關密輸監視ニ對シテノ權力行使カ制限セラレ居ルコトハ密輸ノ防止ヲ殆ント不可能ナラシメ居レリ

本件密輸ノ一重要原因ハ正シク日本政府ノ言フカ如ク或種ノ輸入品ニ對スル高率關稅ニアルヘク此ノ點ニ付テハ「リースロス」モ支那政府ニ對シ關稅引下ノ可能性ニ付檢討方要望シ置キタリ唯本密輸問題處理上ノ困難ハ支那政府ノ「コントロール」外ニアルヲ以テ英國政府ハ北支ニ於ケル海關行政カ有效ニ執行セラルル様「リースロス」ノ努力ニ對シ日本政府ニ於テ援助セラレンコトヲ切望スルモノナリ  
原文郵送ス

第三艦隊ヨリハ中央ニ對シ密輸阻止方ニ付意見ヲ具申セル趣ナリ)  
北平、南京、天津、青島へ轉電セリ

713 昭和11年6月26日 有田外務大臣より  
在中国川越大使宛(電報)

わが方船舶への不法行為事件に関し財政部および総稅務司署に対して嚴重抗議のうえ速やかに善処すべく警告方訓令

本省 6月26日後8時20分發

第一四九號

貴電第四八八號ニ關シ

貴見ノ趣旨ニ同感ニシテ既ニ茂益丸事件ニ關シテハ青島宛往電第七一號ノ通回訓セル次第ナルカ同事件及大榮丸事件ニ關スル地方的交渉ハ別トシ此ノ際貴方ニ於テ不取敢財政部及總稅務署等ニ對シ口頭ヲ以テ此ノ種海關側ノ越規行為カ頻發シ本邦人ノ身体ニ對スル危害ニ止マラス國旗ニ對スル不當ナル處置迄モ惹起セル結果兩國間ノ重大ナル政治問題ト化シツツアルコトヲ指摘セラレ本件ニ關シテハ嚴重抗議

712 昭和11年6月25日 在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

中国税関監視船によるわが方船舶への不法行為事件続発に関し密輸行為と税関側不法行為とを區別して対処すべき旨意見具申

上海 6月25日後發  
本省 6月25日後着

第四八八號

天津發貴大臣宛電報第二五八號及青島發貴大臣宛電報第一二八號ニ關シ

此ノ種事件ニ付國旗凌辱、不法發砲等ノ税関側ノ不當行為ニ付テハ當該海關及中央ニ對シ充分其ノ責ヲ問ヒ處置ヲ要求スル要アルハ勿論ノ儀乍ラ之カ爲我方カ密輸ヲ庇護スルカ如キ感ヲ與フルハ面白カラサルニ付兩事件ノ處理ニ付テモ密輸ニアラサルコトヲ證明シ得サル船舶ノ取戻等ニハ重點ヲ置カス(殊ニ領海内及追躡ノ場合ハ之ヲ要求セス)寧ロ不法行為ヲ飽迄不法行為トシテ追究スル態度ヲ以テ處理スルコト肝要ナリト存ス青島發往電ノ趣旨モ大體右ト同様ト存セラルルモ爲念(此ノ點當地海軍側ニテモ同意見ニシテ

議ノ上速カニ善處方警告スルト共ニ今后此ノ種不祥事件ヲ繰リ返スコトナキ様至急手配方嚴重申入レ置カレ度右ハ既ニ御考慮中ト存スルモ爲念  
訓令トシテ南京ニ轉電シ參考トシテ北平、天津、青島ニ轉電セリ

714 昭和11年6月27日 有田外務大臣より  
在中国川越大使宛(電報)

華北密輸問題に関する軍側との合意を踏まえ密輸行為と中国税関監視船による不法行為とを區別して速やかに事件解決方訓令

本省 6月27日後4時30分發

第一五〇號(至急、極秘、館長符號扱)

往電第一四九號ニ關シ

天津發本大臣宛電報第二五九號ノ次第ハアルモ池田參謀ヲ交ヘタル關係官廳係官打合ノ結果ハ大体當方原案ニ則リ(イ)冀東特殊關稅ハ冀察ニ對スル關稅剩餘ノ移讓實現ノ上ハ之ヲ撤廢セシムルコト(ロ)右移讓方要求ハ冀察ヲシテ爲サシムルモ貴大使ニ於テモ併行的ニ南京ニ要望スルコ

ト(一)一般關稅引下ハ我方ノ南京ニ對スル正式交渉ニ依ルコト尤モ冀察側ハ密輸對策ノ見地ヨリ主トシテ典型的密輸品ニ關スル引下方ヲ南京側ニ建議シ我方ノ外交々々渉ヲ援助スルコト(本項ハ主トシテ天津軍側ノ希望ニ依リ挿入セルモノナリ)ニ係官ノ意見一致ヲ見右趣旨ヲ軍中央部ヨリ出先ニ指令スルコトニ決定セリ但シ指令ノ發電ハ池田參謀ノ希望ニ依リ同官歸任後即七月五日以後トスルコトニ諒解濟ナリ(本件ハ右軍ノ發電迄ハ絶対極秘トセラレ度詳細追電スヘシ)

ニ右ノ如ク折角冀東特貿調整ニ關スル方針内定ニ至レルニ拘ラス最近續發セル海關監視船ノ越規行為事件ハ勢ノ赴ク所陸海軍側ノ態度ヲ再ヒ硬化セシメ終ニハ右方針ノ變更乃至ハ實施延期ノ余儀ナキニ至ルノ虞アリ斯クテハ大局上寔ニ遺憾ニ堪エス

三仍テ本件稅關監視船事件ニ關シテハ我方トシテハ素ヨリ密輸ヲ庇護セストノ公正ナル態度ヲ執ルト共ニ支那側ノ不法ニ對シテハ飽迄嚴肅ナル態度ヲ以テ臨ムモノナルコトヲ早キニ及ムテ如實ニ示スコト對内關係上就中前記一北支關稅問題處理上極メテ緊要ナル次第ナリ

ト共ニ監視船ノ活動ヲ三海里以内ニ限リ(追躡權ヲ認ム)且公海ニ於テ日本船ニ絕對ニ關與セシメストノ客年七月「メ」ノ命令ヲ確認シ殊ニ北支方面ニテ此ノ種事件ヲ繰返スコトナキ様至急手配方ヲ要求シタルニ「メ」ハ之ヲ了承シ右ハ既ニ手配濟ナルモ更ニ念ヲ押スヘシト答ヘタリ次テ堀内ヨリ稅關側ニ於テ密輸防止ノ措置ヲ講スルハ條約上ノ權利ニシテ素ヨリ異存無キモ其ノ實行方法カ必要ノ程度ヲ越エ本邦人ノ身體ニ傷害ヲ加ヘ刺ヘ國旗ニ對スル不當處置ヲ惹起セルハ到底容認シ難ク我方トシテハ之ニ對シ適當是正ヲ要求セサルヲ得サル次第ナレハ之カ爲我方出先ノ提出スヘキ要求ヲ容レ事件ヲ速ニ地方的ニ解決スル様斡旋方ヲ望ムト述ヘタルニ對シ「メ」ハ監視船カ日本國旗ヲ輕侮スル何等ノ意思ヲ有セサリシコトハ明カナルカ唯「アクシデント」ニ依リ天津ニテハ國旗ニ流彈カ當リ青島ニテハ國旗ヲ遺失シタルハ遺憾ナレハ直ニ稅務司ヲシテ總領事ニ對シ遺憾ノ意ヲ表示セシメタリ

又監視船ノ措置ハ英、米等ノ密輸防止ノ措置ニ倣ヘルモノニシテ適當ニアラスト述ヘタルヲ以テ堀内ヨリ兩地ノ在留民ハ從來稅關側ノ措置振ニ對シ常ニ不平ヲ有スルヲ以テ稅

關就テハ絛上ノ趣旨御含ノ上支那側ニ於テ最モ速カニ事件ヲ解決シ且將來此ノ種事件ノ再發ヲ絕對ニ防止スル様交渉方此ノ上トモ切ニ御配慮相成度右冒頭往電補足旁申進ス

南京ニ轉電セリ貴方ヨリ田尻ニ御傳アリ度

編注 電報は見当たらないが、討議結果は本書第743文書参照。

715 昭和11年6月29日 在中国川越大使より 有田外務大臣宛(電報)

わが方船舶に対する中国税関監視船の不法行為に關し總稅務司へ抗議について

上海 6月29日夜發  
本省 6月29日夜着

第五〇四號  
貴電第一四九號ニ關シ(海關監視船ノ不法行為ニ關シ抗議ノ件)  
廿九日堀内ヲシテ「メーズ」ニ申入レシメタル結果左ノ通堀内ヨリ大使ノ命ニ依ル趣ヲ以テ右貴電ノ趣旨ヲ申入ルル

關側ニ於テ既ニ國旗ニ對スル不當處置ヲ認メタル以上之カ是正ヲ要求スルハ當然ニテ此ノ點ニ付議論ヲ繰返スニ於テハ在留民ヲ激昂セシムル惧アリ又英米等ノ例ハ治外法權國タル支那ニ於テハ適用セラレス日本トシテハ支那カ執ルヘキ密輸防止ノ措置カ適法且穩當ナルコトヲ要求スル權利アリ殊ニ今回ハ同様ノ事件カ引續キ發生シ而モ孰レモ國旗ニ對スル不當處置ヲ伴ヘルヲ以テ之カ是正ヲ求ムル日本側ノ要求ヲ容レ速ニ地方的解決ヲ圖ラス中央ノ問題トスルカ如キ場合ニハ日本國民全體ニ對シ大ナル刺戟ヲ與ヘ各地稅關トノ間ニ困難ナル問題ヲ發生スル惧モアレハ速ニ地方的解決ヲ見ル様善處方ヲ希望スト述ヘタルニ

「メ」ハ右ハ同感ナルカ日本側ニテモ自分ノ困難ナル立場ニ同情セラレ無理ナル要求ヲ出サレサル様願度ク尙自分ニ於テ最善ヲ盡スハ素ヨリナルカ最後ノ決定ハ南京政府ノ命ニ依リ點ヲモ併セ考慮セラレ度シト述ヘ居タリ

尙其ノ節「メ」ハ青島發貴大臣宛第一三一號稅關襲撃ノ件ヲ語り宛モ總領事ニ於テ密輸者ニ遠慮勝ナルカ如キ口吻ヲ漏ラシ居タルニ付堀内ヨリ我方ハ密輸者ヲ庇フモノニアラサルモ支那カ日本トノ間ニ特別ノ取極ヲ作ラサル限リ積極

的ニ密輸防止ヲ援助シ得サル次第ノ條約論ヲ説明シ右ハ「リースロス」モ其ノ「ステートメント」ニ述ヘ居ル所ナリト述ヘタルニ右ハ「メ」モ同感ナリト述ヘ居タリ  
北平、南京、天津、青島へ轉電セリ

716 昭和11年6月30日

在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

密輸は日本政府の国策遂行の具にあらずとのわ  
が方立場を在中國英國代理大使へ説明について

上海 6月30日後発  
本省 6月30日夜着

第五〇六號

第二十七日「ハウ」英國代理大使來訪セルカ會談要旨御參考  
迄左ノ通

一「ハウ」ハ先ツ現在支那カ北支ノ密輸、西南問題ノ如キ  
幾多ノ難問題ニ遭遇シ居レル旨ヲ述ヘ支那ノ現在將來ニ  
付樂觀シ居ルヤ否ヤ本使ノ意見ヲ敲ケルニ付本使ヨリ現  
在支那ハ政治的ニ統一シ居レリトハ言ヒ難キモ支那カ經  
濟的ニ開發發展ヲ遂クレハ支那民衆ノ經濟生活ハ安定ス

税ノ國庫收入ハ激減シタルニ拘ラス市中ニハ寶石類ノ新  
品カ激増セル奇現象ヲ呈シタル事例アリ  
右ハ密輸防止カ事實上至難(ナル)コトヲ證明スルモノナ  
ルカ稅率ヲ十割ヨリ一割ニ引下ケタルニ右ニ關スル國庫  
收入カ激増セル點注目ニ値スヘシ現在北支ニ於ケル密輸  
ハ或種目ニ付稅率高キニ失スルコト及支那稅關吏ノ能率  
低キトニ起因スルモノナリ

四<sup>③</sup>茲ニ特ニ明瞭ニシタキハ密輸ハ決シテ帝國政府カ例ヘハ  
國策遂行ノ具トシテ之ヲ援助シ居ルモノニモアラス又政  
府ト關係アル機關カ之ヲ遂行又ハ援助シ居ルニモアラサ  
ル點ナリ人絹、砂糖等ノ密輸カ支那人、日本人(朝鮮人)  
ニ依リ行ハレ居ルハ事實ナルモ右ハ一般ノ密輸ノ場合ト  
同様彼等カ個人ノ利益ヲ達成センカ爲行ヒ居ルニ過キス  
然ルニ此ノ點ハ一般ニ可成リ廣ク誤解セラレ居ルニ付  
(嘗テ「リースロス」ニ天津ニ於テ會ヒタル際「リ」モ  
誤解シ居レルヲ發見セリ)右誤解ハ是止セサルヲ得ス  
次ニ(二)ノ點即チ日支兩國ノ大局上ヨリ密輸ヲ觀察スレハ  
密輸ハ支那ノ爲ニ歡迎スヘキモノニハアラサルヲ以テ帝  
國政府ハ其ノ爲シ得ル方法、範圍、程度ニ於テ密輸調整

ヘク支那ノ將來ニ付テハ大體樂觀シ居ル旨述ヘタルニ  
二「ハウ」ハ中央對西南ノ如キ國內紛争ハ支那ノ經濟開發  
ニ障礙ヲ爲スモノト思フ旨言ヘルヲ以テ本使ヨリ國內紛  
争ハ歡迎スヘキモノニハアラサルモ紛争カ武力鬭争ニ進  
展セサル限り必スシモ障礙トハナラス却テ支那ノ經濟開  
發、國民ノ生活安定ヲ助長スル場合有リ得ヘシ即チ各自  
競テ其ノ境域内ニ善政ヲ布キ經濟開發ニ努力スル場合之  
ナリト答ヘタリ

三「ハウ」ハ次ニ支那ノ經濟開發ニハ日本同様英國モ重大  
ナル關心ヲ有スル處北支ニ於ケル密輸ハ之ニ大ナル障礙  
ヲ爲シ居ルモノト思ヒ居ル旨述ヘタルヲ以テ

本使ヨリ密輸ニ關シ(一)理論的解釋及實際的方面ヨリ見タ  
ル場合ト(二)日支兩國國交ノ大局上ヨリ見タル場合トノ二  
ツニ分ケテ觀察シ居ル旨ヲ告ケ先ツ(一)ヨリ申サハ密輸ハ  
元來存在スヘカラサルモノナルニ實際ハ北支ニ限ラス中  
支ニモ南支ニモ過去現在ヲ通シ行ハレ來リ米國ニ於テモ  
禁酒法時代酒ノ密輸カ猖獗ヲ極メタルハ御承知ノ通ニシ  
テ世界ニ於テ最關稅ノ嚴重ナル我國ニ於テスラ嘗テ「ダ  
イヤモンド」等寶石類二十割ノ奢侈稅ヲ課シタル處右課

ニ協力セント考ヘ居ル旨告ケタリ

五「ハウ」ハ最後ノ點ハ特ニ興味深ク拜聽セリトテ多大ノ  
關心ヲ示シ帝國政府カ密輸調整ニ協力スル場合其ノ爲シ  
得ル方法、範圍、程度トハ具體的ニハ如何ナルモノヲ指  
サルルヤト尋ネタルニ付

本使ヨリ密輸ノ方法ハ時々變リ居ルヲ以テ最近ノ情勢ヲ  
先ツ研究シタル上ニアラサレハ又密輸ハ元來支那ノ處理  
スヘキ問題ニシテ帝國ハ之ニ協力スル立場ニ在リ從テ本  
使カ支那側ト本件ニ付話合ヒタル上ニアラサレハ具體的  
ニ答フル譯ニハ行カサル旨說示シタルニ「ハ」ハ了承セ  
リ

六、次テ本使ヨリ四月下旬天津ニテ「リースロス」ニ面會ノ  
際「リ」ハ中央銀行改組案出來上リ次第ニ歸國スヘキ旨  
語リ居リタル點ニ言及シ改組案カ出來上リタルヤ否ヤト  
質シタルニ「ハ」ハ出來上リタル旨答ヘタルモ改組案ノ  
如キハ銀行ニ關スル深キ専門知識ヲ必要トスル處自分ハ  
全ク素人ニテ良ク了解シ居ララスト逃ケタリ依テ本使ヨリ  
詳細ノ點ハ別トシ骨組ナリトモ知り度シト追求シタルニ  
「ハ」ハ中央銀行ヲ「バンク、オブ、イングランド」ノ

如キモノ (the same in line) ニスル點カ重心ナリト言ヒ右ニ對シ本使ヨリ其ノ趣旨ハ中央政府ニ對シ或程度ノ獨立性ヲ與ヘ必スシモ政府ノ勝手ニハナラサルカ如キ仕組ト爲スモノト解スト言ヘルニ「ハ」ハ之ヲ首肯セリ  
右ニテ會談ヲ終レルカ「ハ」ハ辭去ニ臨ミ日英兩大使館カ從前通りノ親善關係ヲ保持スルト共ニ支那ニ於ケル日英協調ヲ持續シ度キ旨強調シ本使之ヲ了承セリ  
北平、南京、天津、濟南、青島、廣東、漢口ヘ轉電シ上海ヘ轉報セリ

717 昭和11年7月1日 在南京須磨總領事より 有田外務大臣宛(電報)

華北密輸問題をめぐる日本側の非友誼的態度 に関し張群嚴重抗議について

南京 7月1日後発 本省 7月1日夜着

第四六七號 本官發支宛電報 第四七九號

第一二二號

濟南發本大臣宛電報第一二五號ニ關シ

一、冀東低稅品輸送ニ從事スル本邦人ニシテ冒頭電報ノ如ク車内ニ於テ乘客ニ迷惑ヲ及ホシ殊ニ無賃ニテ客車ヲ占據スル如キモノニ對シテハ往電第一二號北支不良邦人取締ノ見地ヨリ言フモ抑壓ヲ加フルコト必要ナルニ就テハ貴館人線ニ上特ニ支障ナキ限リ當分ノ間津浦線發車ニ際シ貴館警察官ヲ停車場ニ派遣シ必要ニ應ジ支那駐屯軍ニ協力ヲ求メ此ノ種本邦人ノ行動取締ニ任セシメラレ度  
二、取締ノ限度ニ付テハ派遣警察官ノ裁量ニ任ス外ナカルヘキモ大體ノ標準ヲ示セハ左ノ通

(イ)無賃又ハ不正乘車 (ロ)不當ナル客車ノ占據

(ハ)旅客携帶品トシテ客車ニ持込ヲ認メラレタル限度ヲ超ユル貨物ノ積込

三、本件取締ハ右ノ如ク條約上正當ナル範圍ニ於テ正規運輸規定ニ從ヒ貨車便若ハ手荷物トシテ又ハ旅客携帶品トシテ輸送スルモノヲ禁止セムトスルモノニ非サル次第ニテ旁支那側ニ於テハ却テ警察官カ低稅品輸送ヲ援助シ居ル

張部長ハ三十日附若杉代理大使宛長文ノ照會ヲ以テ總稅務司送。次ノ報告ニ依レハ日鮮人ノ密輸ハ日本側放任ノ結果益々甚クシキニ付嚴重交渉アリタシトアリ(其ノ間海陸ニ於ケル例多數ヲ舉ク)密輸ニ關シテハ既ニ本部ヨリ屢々抗議セルニ貴方ニ於テハ啻ニ有效ノ取締ヲ爲ササルノミナラス何等ノ回答ヲモ爲サスノ如キ非友誼的態度ハ支那政府ノ最奇異ニ感スル次第ナリ尙秦皇島、濟南等ニ於テハ日本領事館員カ抑留貨物ノ返還ヲ要求セル趣ナル處右ハ日本官憲カ密輸ヲ庇護シツツアル實證ニシテ遺憾ニ堪ヘス茲ニ重ねテ嚴重抗議ヲ提出ス貴方ヨリ在支各領事ニ密輸取締方嚴訓スルト共ニ秦皇島及濟南日本領事館員ヲ警告サレタシ尙結果回答アリタキ旨申越セリ原文郵送ス  
大臣、北平、天津、濟南、青島ヘ轉電セリ 上海ヘ轉報アリタシ

718 昭和11年7月2日 有田外務大臣より 在天津田尻總領事代理宛(電報)

華北密輸に從事する不良邦人の取締方訓令 本省 7月2日4時45分發

等ノ惡宣傳ヲ爲ササルヲ保シ難キニ付本件措置ハ飽ク迄低稅品輸送問題ト關係ナク專ラ邦人不正乘客及不良邦人取締ニ出テタルモノナリトノ建前ヲ内外ニ對シテ持スルコト必要ト認メラル爲念  
陸軍側ヨリモ全趣旨ノ訓電ヲ發スルコトニ打合スミ 濟南、支、北平、南京、青島ニ轉電セリ

編注 本電報の發電時間が午前・午後のいずれであるかは不明。

719 昭和11年7月4日 在英国吉田大使より 有田外務大臣宛(電報)

華北密輸問題に関する英外務大臣との応酬振り請訓

ロンドン 7月4日後発 本省 7月5日前着

第三七三號 往電第三五四號ニ關シ(密輸ニ關シ英ヨリ申出ノ件) 「イーデン」外相壽府出張中ノ處來ル七日會見ヲ申込ミ來レリ其ノ節ニハ北支密輸問題ニ關スル話出ツヘク貴大臣ト

英米大使トノ協議ノ經過並ニ本問題ニ關スル御處置ニ付本使心得迄ニ承知シ置クヘキコトアラハ六日中ニ御電報請フ

720 昭和11年7月6日

有田外務大臣より  
在英國吉田大使宛(電報)

華北密輸問題に関する英外務大臣との応酬振り回訓

本省 7月6日後8時30分發

第一二一號(大至急、極秘)

貴電第三七三號ニ關シ

一 本大臣ト英米大使トノ折衝ニ付テハ往電第七〇號及米宛往電第一二六號ヲ以テ通報ノ通ニシテ右ノ外何等協議等ヲ爲シタルコトナシ

二 向過般「リースロス」滯京中ニ於ケル「リ」トノ應酬振ハ亞一機密第九六五號往信磯谷少將回答(5)、第九六八號「リ」ニ對スル應酬振乙號(一)及丙號乙、三乃至五、竝第九七八號堀内次官會談要録第一、(1)及(3)等ニ付御承知相成度以上ハ今明中ニ貴地着ノ筈

三 尙我方ニ於テハ支那側ニ對シテモ右往電第七〇號等英國

721 昭和11年7月6日

在天津田尻総領事代理より  
有田外務大臣宛(電報)

わが方による急激かつ徹底的な密輸取締は困難な状況につき報告

天津 7月6日後發

本省 7月6日夜着

第二七九號  
貴電第一二二號ニ關シ

一 當館トシテモ最初ハ驛出張警察官ヲシテ之ヲ傍觀セシムルトキハ却テ惡宣傳ニ利用セラルル惧アリト認メ南行列車發車ノ際ハ驛ニ出張セシメス事故アル場合ノミ驛員ヲシテ驛前出張所ニ急報セシムル様聯絡ヲ執リタルカ最近事態餘リ甚シキニ鑑ミ大體貴電同様ノ「ライン」ニ依リ貨物ノ低稅品ナリヤ否ヤノ觀念ヲ離レ現場ニテ適宜ノ措置ヲ執ル様既ニ警察官ニ對シ内訓セル次第アリ軍側ニテモ低稅品南送問題ヲ離レ之ヲ苦々數ク思ヒ居リ餘リ甚シキモノニ對シテハ何等カ取締ル必要アリトノ意見アリ

二 然レトモ急激且徹底的ナル取締ヲ今直ニ加フルコトハ(イ)從來當館カ軍側ニ遠慮シテ取締ヲ爲ササリシヤノ印象ヲ

側ニ對スルト同様ニ先ツ南京政府ニ於テ(イ)關稅ヲ引下クルト共ニ(ロ)北支政權ヲシテ密輸取締ニ付進ムテ中央政府ニ協力シ來ル如ク同政權トノ間ニ話合ヲ遂クルコト可然旨說示シ居ル次第ナリ(右イ)ニ付テハ近ク在支大使ヲシテ稅率引下具体案ヲ提出セシムル筈ニテ又(ロ)冀察政權ニ對シ外債負擔部分ニ觸レサル河北省關稅剩餘ノ相當部分ヲ與ヘ之ニ依リ同政權側カ海關接收等ノ強行手段ニ出ツル如キコトヲ豫防スヘシトノ意ナリ御含迄)

四 就テハ以上御了知ノ上英國側トシテハ此ノ際本問題ヲ騷キ立テ徒ラニ支那側ノ以夷制夷政策ニ利用セラレ爲ニ問題ノ解決ヲ遷延セシムルカ如キ拙策ヲ捨テ(支那側ハ關稅引下方「コミット」シタルモ英米カ騷キ出シタル爲引下ハ考慮シ得スト俄然前言ヲ翻シタリ然ルニ最近英米ノ力モ特ミ難シト見ルヤ幾分態度ヲ緩和シ來レリ)進ムテ我方ト協力シ支那側ニ對シ右三ノ「ライン」ニテ速カニ解決ヲ計ルコト適當ナルヘキ旨申入ヲ爲ス様貴大使ヨリ德憑セラレ度

貴電ト共ニ米、紐育及在歐各大使(土ヲ除ク)ニ轉報アリ度支、北平、南京、天津ニ轉報セリ

與フル惧アリ且(ロ)稅關側等ニ乘セラレ種々協力ヲ求メラルル口實ヲ與フルコトナリ易キノミナラス(イ)最近低稅品ノ南送困難ノ結果天津ニ山積シ居ル滯貨ノ捌口ヲ愈塞クコトトナルヘキ一方濟南發閣下宛電報第一二三號ノ計畫モ其ノ後種々ノ曲折ハアルモ近ク何トカ目鼻付ク模様ナルヲ以テ右實現ノ上ハ貴方御希望通り朝鮮人ノ低稅品客車内持込ノ如キハ自然消滅スヘキモノト觀測セラレ旁手緩キ様御考ノコトトハ存スルモ本件取締ハ是等事情ヲ考慮ニ容レツツ引締メ居ル次第ナリ

支、北平、南京、青島、濟南へ轉電セリ

722 昭和11年7月7日

在天津田尻総領事代理より  
有田外務大臣宛(電報)

中国側の取締嚴重につき華中以南への密輸品売却きは困難な状況について

天津 7月7日後發

本省 7月7日夜着

第二八一號

冀東地域ヨリノ密輸狀況ニ關シ當館警察ノ調査ニ依レハ現

在天津ニ砂糖二十八萬俵、人絹三千五百袋、綿布五百袋、煙草紙五百箱ノ「ストック」アリ別ニ内地及大連ニアリテ當地方へ密輸ヲ豫約サレタルモノ砂糖三十萬俵、人絹二千五百袋アリテ一日平均砂糖千俵、人絹百袋宛入荷シ居レル處目下國民政府ノ密輸取締特ニ嚴重ナル爲南方ニ對スル賣捌ハ困難トナレル趣ナリ

支、北平、南京、青島へ轉電セリ

723 昭和11年7月28日

有田外務大臣より  
在英国吉田大使宛(電報)

華北密輸問題へのわが方対応振りにつき在  
邦英大使照会について

別電一 昭和十一年七月二十八日發有田外務大臣より

在英国吉田大使宛第一四八号

右照会に対するわが方回答

二 昭和十一年七月二十八日發有田外務大臣より

在英国吉田大使宛第一四九号

本国政府宛英国側報告案

本省 7月28日後8時0分發

シ説明シ且極秘ノ情報トシテ南京當局ニ於テハ現ニ或種ノ品目ニ付稅率引下方研究中ナルコトヲ告ケ南京政府ニ於テ冀察政權ニ規則正シク毎月交附金ヲ與フルコトトナラハ冀察側ノ財政的基礎モ固マリ自然冀東トノ合併問題ノ進展ニ資スル所アルヘシト認メラルルモ此等ノ機微ナル問題ハ公ニ論議スルコト面白カラサルヘキ旨ヲ話シ置ケリ

別電第一四八號及第一四九號ト共ニ英ヨリ在歐各大使(土ヲ除ク)壽府、米、紐育ニ轉報アリ度

(別電一)

本省 7月28日後8時0分發

第一四八號(全譯)

The Japanese views concerning the question of smuggling in North China were expressed by Mr. Arita to Sir Robert Clive a few weeks ago. It was stated that smuggling in North China was ascribable, as was elsewhere throughout China, first, to the high customs tariffs maintained by the Chinese Government, and secondly to the fact that the local authorities were not always eagerly co-operating in collecting customs duties, the

第一四七號(極秘、至急)

七月二十三日在京英國大使館「ドッツ」參事官「クライヴ」大使ノ代理トシテ堀内次官ヲ來訪シ「イーデン」外相ノ訓令ニ基ク趣ヲ以テ外相ニ於テハ議會ニ於ケル北支密輸問題質疑應答ノ模様ニ鑑ミ閉會前ニ議會ニ對シ「リアシユアリング・ステートメント」ヲ爲シ度ニ付此ノ際日本政府ヨリ何等情報ヲ得ラレマシキヤト述ヘタルヲ以テ次官ハ本大臣トモ相談ノ上成ルヘク英國側希望ニ添フ様措置スヘキ旨答へ置キタルカ次テ本二十八日「クライヴ」大使本大臣ヲ來訪次官代ツテ面接シ別電第一四八號ヲ手交セル處「ク」ハ一讀ノ後は丈ニテハ議會ニ充分満足ヲ與ヘ難キヤモ知レサルヲ以テ日本大使ハ目下南京當局ト北支問題ニ關シ交渉中ニテ稅率引下問題ト共ニ冀東政府撤廢問題モ遠カラス解決ヲ見ルニ至ルヘシトノ趣旨ヲ發表シ得サルヤト尋ネタルニ付次官ハ之ニ反對シタル結果後刻本國政府宛別電第一四九號ノ通電信案ヲ起草ノ上次官ニ内示シ來レルニ付別ニ異議ナキ旨答へ置ケリ(因ニ本電ノ趣旨ハ二十九日議會ニ於テ外相ヨリ發表セラルル筈ノ由)尙右會談ノ際次官ヨリ冀東貿易ハ六月初以來著シク減退セル次第ヲ天津海關報告ヲ示

proceeds from which were to be sent to the Central Government. Therefore in order to prevent the smuggling in question it is necessary, above all things, to eliminate these underlying causes through the efforts of Chinese authorities.

These views as outlined above have been confirmed by a member of our staff who has recently visited Manchoukuo and China. He reports that the trade in the East Hopei area has considerably decreased since the beginning of June last; but that the fundamental solution of the question would not be possible as long as the Chinese customs tariffs remained at the present level, whereas with a sufficient reduction of tariffs the question would automatically disappear. His conclusion is that the Chinese Government should first of all reduce the customs duties.

We are expecting that the Nanking Government will soon consider seriously the matter of reducing tariffs.

As regards the discussion of financial questions between the Nanking Government and the North China regime, which will have an important bearing upon the efficacy of any

preventive measure for smuggling, it appears that the possibilities for compromise have been increased as the result of the recent visit to Peiping of a well-known financier, who commands great confidence of both parties. If he assumes an important office in North China now offered to him, it will further accelerate the settlement.

In these circumstances, it would be a great service if the British Government should call attention of the Nanking Government to the importance of reducing customs duties and effecting the adjustment of interests with the North China regime.

(別電二)

本省 7月28日後8時0分發

第一四九號(全)

Vice Minister for Foreign Affairs informs me that Mr. Kuwajima has reported that smuggling in North China has considerably decreased since the beginning of June but that no final solution of the question is possible so long as Chinese

天津 8月3日發後

本省 8月3日夜着

### 第三三五號

一、冀東輸入品ハ津浦、平漢兩線ノ途中検査及目的地商社ノ洋貨登録等民間取締ノ強制ニ依リ沒收及授受不能ノ危険増大セル爲中支ハ勿論山東方面ヘノ大量輸送ハ頓挫シ業者力窮餘案出セル手荷物トシテノ列車持込モ結局前記目的地ノ登録勵行ニ依リ茲旬日來殆ト後ヲ絶チ六月來次第ニ是等輸入品ノ南送ハ停頓終熄ノ状態トナリ人絹ハ一千八百箱(一箱二百封度)砂糖ハ十二萬俵ノ滯貨ヲ擁スルニ至リ此ノ間相場ハ人絹一箱百六十元、砂糖一俵十四元即チ前者ハ三十元、後者ハ四元見當ノ大値下リヲ示シ北支ノ業者ハ更ニ金繰ニ窮シ居レルカ一方冀東輸入狀況モ既報ノ通り衰頹著シク既ニ稅收ハ四、五月頃ノ百萬乃至百五十萬元ニ對シ六月四十萬、七月二十萬ト云フ大激減振ニテ更ニ大連ハ砂糖滯貨三十萬俵、人絹滯貨九千五百箱(内七千箱ハ伊太利品)ニ上リ居レル由ナリ

二、然ルニ敝上冀東輸入品ノ南送喰止ニ成功セル支那側ハ更ニ一步ヲ進メ天津海關ニ新タニ調査班ナルモノヲ設ケ密

Customs tariff remains at present level. If duties were sufficiently reduced question would automatically solve itself. Japanese Government hope and expect that Nanking Government will shortly consider a reduction of the tariff.

As regards general financial situation between Nanking Government and North China, which has important bearing on the question, recent visit to Peiping of Wang Ko Min who commands confidence of both parties has increased prospect of eventual settlement. If he accepts office in Hopei Chahar Political Council this prospect will be further increased.

724 昭和11年8月3日

在天津田尻総領事代理より  
有田外務大臣宛(電報)

冀東政權区域からの密輸品の南送は停頓終息  
の状況について

付記 昭和十一年十一月十八日付、東亜局第一課作成  
「冀東貿易ニ關スル冀東政府顧問宮脇賢之助  
ノ堀内次官ニ對スル内話要領」

債ヲ増加シ密告ヲ獎勵シ(邦人密告者鮮カラサル由)現ニ日本租界外ニテハ公安局又ハ他國租界當局ノ協助了解等ノ下ニ容疑支那商及監視支那輸入業者ノ家宅搜索、引渡及容疑品ノ沒收ヲ強行シ市長ヘ要請シテ一日市政府ヨリ私貨禁止ノ佈告ヲ發セシメ以テ天津地元ノ低稅品ノ授受販賣ヲ停止セントスル態度ニ出テ當業者ハ以來手モ足モ出ヌ状態ニ追詰メラレ居ル有様ナリ

三、右支那側取締ノ嚴重化ハ當地海關カ曩ニ當地在貨ヲ誇大(人絹一萬二千箱、砂糖三十萬俵)ニ報告セルト之ヲ聞込ミタル上海有力關係業者カ若シ斯ル大量低稅品襲來スルニ於テハ破綻ハ勿論秋口商盛期ヲ控ユル此ノ際商談モ手控ノ外ナシト市政府ノ眞劍ナル取締ヲ要請セントニ起因スト關係業者間ニ信セラレ居ル處右ハ兎モ角當業者トシテハ愈死活問題化セル次第ナルヲ以テ奇々之カ打開策ヲ講シ間々矯激ナル意見モアル模様ニテ當方ハ警戒ヲ加ヘ居レル次第ナルカ大局ニ於テ冀東輸入ハ最早衰頹期ニ入り此ノ儘推移セハ平津地方ノ實需ヲ對象トスルコトモ保セラレサル爲體ニテ之カ再強化ハ假ニ可能ナリトスルモ其ノ程度ハ精々山東省ノ取入位ニ止マルヘシト見ラレ居

レリ

濟南發大臣宛電報第一一三號ハ何等實施ニ至ラス  
支、南京、北平、青島、濟南、漢口へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

(付記)

冀東貿易ニ關スル冀東政府顧問宮脇賢之助ノ  
堀内次官ニ對スル内話要領

(昭和十一年、十一月、一八)

自分ハ本年六月冀東政府顧問トシテ就任以來所謂冀東貿易  
ノ整理ニ從事セルカ當初ハ曩ニ大橋次長ノ紹介ニ依リ至ク  
稅關事務ニ無經驗ノ者約二十名カ査檢所ノ事務ニ從事シ居  
リテ其徵稅方法ハ粗糲ヲ極メ居リタルヲ以テ是等ヲ全部解  
雇スルト共ニ新ニ横濱、大連等ノ稅關ニ勤務シ居リタル者  
ヲ採用シ執務ノ改善ヲ圖リタル結果取扱振ハ最近整頓セラ  
ルルニ至レリ

冀東貿易ニ依ル稅收額ハ

三月 百二十三萬五千圓<sup>(編注)</sup>  
四月 百七十一萬五千圓

カ最近ニハ雜貨類カ主要ナルモノトナレリ。一時滯貨ノ爲  
輸入額減少セルモ其ノ後冀察政府ニ於テ八分ノ一稅ヲ課シ  
輿地へノ輸送ヲ認メタルヲ以テ幾分持直セル傾向アリ  
尙冀東貿易ノ起源ニ付テハ適確ニ判明セサルモ自分ノ調査  
ニ依レハ當初ハ専ラ竹下機關長ノ指導ノ下ニ行ハレタルカ  
如シ、同機關長ハ自分ニ對シ冀東貿易ハ主トシテ財政的ニ  
南京政府ヲ苦シメルト共ニ冀東政府ニ政治工作費ヲ得シメ  
ントスルモノト見居ル旨内話セルコトアリ。果シテ同氏ノ  
發案ナルヤ否ヤ不明ナルモ一説ニハ駒井德藏氏ノ經營スル  
大阪ノ學校ノ教師某カ北支ニ來レル際軍ニ冀東貿易案ヲ  
「サジエスト」シタルモノナリト言ハル。齋藤博士カ之ヲ  
唱ヘタリトモ聞クカ右ハ或ハ實施スルコトニ決定セルヲ聞  
キ贊成セラレタル程度ニ非サト思考ス  
又査檢所ハ當初ノ六箇所ヲ改メ現在ハ秦皇島、北戴河、昌  
黎ノ三箇所ニ縮少セラレタリ

編注 本文書ノ「圓」ノ表記は、すべて「元」ノ誤りと思わ  
れる。

四 華北問題

五月 百五十萬四千圓

六月 五十二萬六千圓

七月 三十萬五千圓

八月 十六萬四千圓

合計 五百四十五萬一千圓<sup>(五百四十四萬九千圓カ)</sup>

ナリシカ其ノ中七十四萬圓ハ自分就任ノ際既ニ行衛不明ト  
ナリ居リ差引四百七十一萬圓ヲ引繼キタルカ本收入ハ他ノ  
歲計トハ別扱トナリ居リ通州特務機關ノ監督ノ下ニ置カレ  
居レリ。尙右收入中二百萬圓ハ自分ノ就任當時既ニ處分濟  
ミニナリシカ右ハ恐ラク内蒙工作ニ使用セラレタルモノナル  
ヘシト想像セラル。其ノ後同シク二百萬圓、保安隊ノ費用  
トシテ使用シ度シトノ軍側ノ希望アリ自分モ之ニ同意シ置  
ケルコトアリタルカ股汝耕ニハ僅カニ二十萬圓ヲ機密費ト  
シテ與ヘタルノミナリ

其ノ後九月收入十六萬圓、十月三十三萬圓アリ。本年度内  
ニハ更ニ五十萬圓程度ノ收入アルヘシト思ハル。前述ノ如  
ク亂雜ナル徵稅振ナリシヲ以テ精確ニ徵稅シタリシナラン  
ニハ恐ラク八月迄ニ一千萬圓以上ノ稅收アリタルナルヘシ  
輸入品ハ當初人絹、砂糖、「ライス・ペーパー」等ナリシ

725 昭和十一年9月3日

在中国川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

冀察政務委員會による特別稅徵收のための稽  
査処増設措置および域内における密輸品の自  
由運搬許可に関する報道について

上海 9月3日後發  
本省 9月3日夜着

第七二三號

三十一日來當地漢字紙ハ天津電報トシテ冀察政務委員會カ  
冀東ノ特殊貿易品ニ對シ天津、北平、張家口、保定、石家  
莊、滄州、泊頭、岐口ノ八箇所ニ稽査所ヲ設ケ海關正稅八  
分ノ一二相當スル消費稅ヲ課シ冀察兩省及平津兩市區域内  
ニ自由ニ運搬スルヲ許スコトナリタル旨報シ居ル處三日  
ノ申報ハ之ニ關スル評論ヲ掲ケ本件消息傳ハリテヨリ當地  
綿布市場ハ既ニ影響ヲ受ケ居ルカ右ハ恐ラク綿布ノミニ限  
ラサルヘシ吾人ハ冀察當局カ輕々シク斯ル關稅行政ヲ破壞  
スルカ如キ舉ニ出ツルコトナカルヘシト信ス蓋シ外國品ノ  
輸入稅ヲ輕減スルコトハ之ヲ消費スル支那民衆ヲ一時喜ハ  
シムヘキモ結局ハ外國品ノ勢力ヲ強固ニシ支那ノ産業ヲ破

壞シ經濟ノ復興ヲ阻害スルニ至レハナリ由來我輸入税ヲ輕減セシメント計リツツアルハ某邦ノ既定方針ニシテ大量ノ密輸モ其一端ナルカ密輸ニ對スル取締嚴重トナルヤ轉シテ他ノ方式ヲ採用シ飽迄其ノ目的ヲ達セントスルハ必至ノ勢ナリ若シ本件實施セラルルニ於テハ右貨物カ冀察區域内ノ運搬ノミニ止マル筈ナク當然兩市ニモ及フヘキヲ以テ一般國民ハ對岸ノ火災視シテ晏如タルヘキ秋ニ非スト論シ居レリ

北平、天津、青島、濟南、漢口、南京へ轉電セリ

726 昭和11年9月18日 在濟南有野總領事より 有田外務大臣宛(電報)

冀察稽查處の増設以來自動車による密輸品輸送が増加した状況に關し注意喚起について

濟南 9月18日前發 本省 9月18日夜着

第一七四號

本官發天津宛電報

第一三〇號

將來不慮ノ事端等發生ノ懸念アリ就テハ右支那側ノ沒收、抑留等ノ不法行為ニ對シ之ヲ抑止スヘキハ勿論ナルモ他面前顯ノ如キ邦人ノ無護照旅行及不法ノ行為ニ對シテハ大臣來電合第五一三號<sup>編註</sup>ノ次第モアリ嚴重取締ヲ加フル要アリト認メラレ當地關係者ニハ既ニ篤ト警告ヲ發シ置キタルカ貴官ニ於テモ然ルヘク取締方御配慮相煩度シ  
大臣、支、北平、青島、南京へ轉電シ張店へ暗送セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

編注 本書第718文書を在中國川越大使、在中國武藤一等書記官、在南京須磨總領事、在濟南橋本總領事代理および

在青島西總領事宛に転電したものを。

727 昭和11年9月21日 在濟南有野總領事より 有田外務大臣宛(電報)

トラックによる密輸品輸送対策につき韓復榘と協議について

濟南 9月21日後發 本省 9月21日夜着

本年七月末低稅品鐵道輸送困難トナリテ以來貴地ヨリ周村竝ニ當地へ自動車ニ依リ運搬スルモノアリ殊ニ最近冀察八分ノ一通過稅實施以來右方法ニ依ル運搬漸次盛トナリツツアル處右ハ周村竝ニ當地居住ニ、三邦人ノ外當館ニ於テ取調ヘタル所ニ依レハ貴地旭街太陽貿易公司、秋山街順天貿易公司(以上鮮人)福島街福八商會(日)壽街亞東貿易公司(本邦人名義ニ依リ支那人經營)等主トシテ之ニ携ハリ居リ右ニ伴ヒ支那側トノ間ニ種々ナル問題發生シ現ニ貴地明石街信益自動車店松田肇外三名ハ順天貿易公司ノ委託ニ依リ(何レモ護照ヲ携帶セス省政府ヨリ取締方申越シ居レリ)三臺ノ自動車ニテ「ライスペーパー」ヲ積載シ當地ニ向ヒ途中自動車ノ故障ノ爲德州海關稽查處ニ於テ貨物ノ一部ヲ沒收セラレ自動車一臺ヲ縣政府ニ抑留セラレ之カ取戻交渉方當館ニ願出テタル事件(交渉手配中)竝ニ二十三日、十四日兩日天津ヨリ當地ニ向ヘル自動車十三臺カ德州ニ於テ支那官憲ニ依リ抑留セラレタルヤノ聞込アル等事件頻出ノ有様ナルカ是等邦人ノ多クハ護照ヲ携帶セス且道路ヲ選ハス畑中ニ自動車ヲ乘入レ農作物ヲ荒シ著シク農民ノ反感ヲ買ヒ居ル外支那官憲トノ間ニ種々紛争ヲ生シ之ヲ放置スルトキハ

第一七七號

本官發天津宛電報第三〇號<sup>(三〇)</sup>ニ關シ

一、今回ノ低稅品移入ハ九月初ニ始マリ當初ハ「トラック」輸送毎日三、四臺平均(天津ヨリ當地迄約一晝夜ヲ要ス、汽車輸送ハ皆無ナリ)ナリシカ最近ハ十臺乃至二十臺ニ上ルコトアリ漸次増加ノ傾向ニテ月初ヨリ二十日迄ノ輸送「トラック」合計約八十臺之カ移入低稅品人絹一千八百四十箱、毛織物一(千)二百九匹、「ライスペーパー」二百四十箱、綿布十箱其ノ他雜品若干アリ尙此ノ外ニ天津ヨリ人絹織場タル周村ニ直送ノモノ相當アル模様(取調中)ナリ

二、十九日本官他用ニテ韓復榘ニ會見ノ際冒頭電德州ニ於ケル公安局員等ノ不法ヲ責メ「トラック」及貨物ノ取戻方ヲ申入ルルト共ニ(別ニ公文ニテ要求シ置ケリ)支那側カ武器ヲ用ヒ強制的ニ抑止スルニ於テハ何時衝突事件ヲ發生スルヤ測リ難キニ付  
出先官憲ヲ嚴戒セラレ度キ旨要求シタルニ韓ハ訓令スヘシト約シタル後實ハ自分(韓)トシテ低稅品問題ニ付テハ成ルヘク干渉ヲ欲セサルモ出先ニ於テ稽查處側ヨリ入境

トラックによる天津からの密輸品輸送の禁止手  
配方要請公文を山東省政府より受領について

済南 9月22日後発  
本省 9月23日着

第一七八號

往電第一七七號ニ關シ

廿一日省政府ヨリ公文ヲ以テ最近天津ヨリ濟南ニ向ケ日鮮人カ「トラック」ニ依リ頻繁ニ密輸品ヲ輸送シ中ニハ拳銃ヲ携帯シ検査ヲ肯セス又無許可ニテ省營自動車路ヲ通行スル者アリ地方官憲トノ間ニ種々紛糾ヲ生シ居リ本政府ハ邦交敦睦ノ意味ヨリ所屬ニ對シ取締過激ニ巨リ衝突ヲ惹起スルカ如キコトナキ様注意方訓令シ居ルモ右適宜ノ措置ニ過キス今後右輸送ヲ禁止セス一旦事故發生ノ場合本政府ハ之カ責ヲ負ヒ難キ次第ニ付本件禁止方手配アリ度シトノ旨申出アリ御參考迄

支、北平、天津、青島、南京へ轉電シ張店へ暗送セリ

支ヨリ上海、在上海商務官へ轉報アリタシ

制止ノ援助ヲ求メラルル場合ハ政府ノ規定モアリ知ラヌ

顔モ出來ス左リトテ強制的制止ヲ爲ストキハ日本人側ト衝突ノ惧アリ當惑シ居ル次第ナルカ色々考慮ノ結果自動車路ヲ掘リ通行ヲ阻止センカト考へ居レリ(既ニ實行方訓令セル模様)ト述ヘタルニ付本官ハ國內ニ於テ一種ノ關稅關係ノ障壁ヲ設クル結果トナリ條約上ノ精神ニ反スルニ付承認出來スト告ケ置キタリ

然ルニ其ノ後二十一日當地關係業者ヨリノ聞込ニ依レハ十七日天津發ノ輸送「トラック」二十臺ハ途中(地點不明)保衛團風ノ武裝隊五、六十名ノ爲發砲包圍ヲ受ケ金錢ヲ強要セラレ一臺ニ付三十元合計六百元ヲ提供シテ辛シテ通過ヲ許サレタル由ニテ其ノ結果輸送者側モ武裝シテ之ニ對抗スル準備ヲ爲シ居レリトノコトニテ目下真相取調中ナリ

支、北平、天津、青島、南京へ轉電シ、張店へ暗送セリ

支ヨリ上海及商務官へ轉報アリタシ

728 昭和11年9月22日 在濟南有野總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

729 昭和11年9月29日 在天津堀内總領事より  
有田外務大臣宛

冀東政權区域より天津に流入した滯貨処分に  
關する財政部と冀察政務委員会との折衝状況  
について

機密第八六八號 (10月13日接受)

昭和十一年九月二十九日 在天津

總領事 堀内 干城(印)

外務大臣 有田 八郎殿

滯貨處分ニ關スル財政部冀察間ノ折衝ニ關スル件

冀東ヨリ天津ニ流入セル滯貨處分問題ニ關シ財政部ノ密令ヲ受ケ先般來滯津中ノ總稅務司署「ブリヴエンティヴ、セクレタリ」「ブリツチャード」稅務司カ絶對出所ヲ極秘トスル約束ニテ本件ニ關スル冀察側トノ交渉ノ模様ニ關シ廿九日岸ニ内話セル所左ノ通

「今回財政部ノ命ヲ受ケ來青セル<sup>(密令)</sup>ハ財政部參事李青選(孔部長ノ腹心ナリ)自分及署副稅務司任錦祥ノ三名ナルカ財政部ヨリ自分等カ齎セル案ハ現在天津ニ滯積セル冀東ヨリノ

輸入貨物(嚴ニ現在ノ滯貨ニ限ル)ヲ商人ヲシテ稽查處ニ登録セシメ三月月ヲ期限トシ右期限内ニ正稅ヲ收メシメ右正稅ヲ稽查處ヨリ一旦天津海關乃至財政部ニ納メ其中ノ一定率(財政部ニテハ未タ率ヲ明示セス)ヲ内密ニ冀察ニ再ヒ交付セントスルニ在リ(右再交付額ハ冀察側カ之ヲ天津方面ノ商業獎勵等ニ使フ各目トシ冀察側カ之ヲ市商會其ノ他ノ商業機關ニ與フルノ建前トシテ事實ハ之ヲ然ルヘキ方法ニ依リ内密ニ商人ニ拂戻シ結果ニ於テ商人ノ正稅負擔ヲ幾分減スルコトハ默認ス)然ルニ冀察側ニテハ正稅ノ八割ノ拂戻ヲ要求シ八割ノ内五割ハ商人ニ拂戻シ三割ハ之ヲ冀察ノ收入ニ入レ度希望ニテ而モ右拂戻ヲ公表セントスル意向ナルカ財政部トシテハ八割ノ再交付ハ到底承諾シ得ヘクモ非ス又拂戻ノ公表ハ稅率ノ統一ノ破壞ヲ公認スルニ等シキ故之亦承諾シ難ク目下交渉ハ行詰狀態トナリ居リ李ハ九月二十八日夜行ニテ右再交付率ノ増加等ニ付孔部長ノ再考ヲ求ムル爲離津歸寧ノ途ニ就キ自分(「プ」)モ任ト共ニ三十日飛行機ニテ歸滬ノ筈ナリ

本件ニ付テハ奏、張兩市長、冀察秘書處々長戈定遠、財政處々長過之翰及海關監督孫維棟ノ外宋哲元ニモ直接話シタ

第四五三號

貴電第二一七號ニ關シ

冀察八分ノ一稅ニ關シ八月下旬桑園海豐各港稽查處副處長  
エンスウテイナル者係官ヲ來訪同處ハ三月十八日宋委員長  
ノ命ニ依リ成立爾來岐口揚ケ貨物ニ八分ノ一稅ヲ徵シテ滄  
縣鹽山縣間ノ搬運ヲ許シ居リタルカ今般更ニ同委員長ノ命  
ニ依リ右兩縣ニ限レル本制度ヲ冀察兩省ニ擴大シ前記稽查  
處ハ之ヲ冀察政務委員稽查處ト改稱シ事務所ヲ天津ニ置キ  
稽查員ヲ北平、張家口、保定、高陽、石家莊、滄縣、白塘  
及岐口ノ八箇所ニ駐在セシムルコトナリタリト當方ノ  
了解ヲ求メタリ依テエンノ權限及新計畫ノ經緯等聽取ノ上  
軍側トノ從來ノ打合ニ基キ此ノ種課稅ニ對スル當方ノ態度  
ヲ説明シ(一)本件課稅ハ承認ノ限リニアラス(二)尤モ稽查處カ  
適宜邦商トノ話合ニ依リ實行スル場合當方ハ現在トシテハ  
特ニ之カ止立ハ爲ササルヘシト申聞ケ同時ニ岐口及天津以  
外ノ奧地稽查處ニ關シ前者ハ海關取締トノ衝突後者ハ商品  
搬運手續ノ繁雜化、支那官憲ノ弊害及將來排日貨機構ヘノ

ルカ宋ハ充分諒解シ難カリシ模様ナリキ尙宋哲元ハ冀東貿  
易問題ハ海關乃至地方官憲ノ問題ニ非ス中央政府ニ於テ解  
決スヘキ政治問題ナリト述ヘ居タリ  
自分(ブ)ノ虞ルル所ハ財政部今回ノ提案ハ現在滯貨ニ限  
リ從ツテ冀察稽查處乃至其ノ徵稅事務モ大体滯貨出拂迄ノ  
暫行的ノモノトスル建前ナルモ冀察側ニテ右稽查處ヲ半永  
久ノモノトシ今後更ニ冀東ヨリ流入スル商品ニ對シテモ稽  
查處ニテ引續キ徵稅ヲ爲シ其ノ結果天津海關カ有名無實ノ  
モノトナル危險アル點ナリ云云」  
「プリツチャード」ハ岸ト昵懇ノ問柄ナルニ不拘立場上今  
回ハ當館ヘ非公式ニ來訪スルコトスラモ避ケ居ル次第ナル  
ニ付申ス迄モ無キ儀乍ラ本件情報ハ絕對部外ニ洩ラサレサ  
ル様致度

本信寫送附先 在支大使 南京 北平 上海 青島 濟南

730 昭和11年10月3日

在天津堀内總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

冀察政務委員会による稽查處増設後の状況に  
つき報告

轉嫁ノ危險等考ヘラルルニ付係官ノ意見トシテ前者ハ廢止  
後者ハ一時的移動のモノトスルコト然ルヘキ旨附言スル  
所アリタリ

然ル所エン等ハ其ノ後岐口稽查處ヲ取止メ其ノ他奧地ニハ  
暫定的ナル稽查處ヲ設置シ何等規則等ヲ發表セス潛行的ニ  
當事者ト折衝ノ上奧地向輸送貨物ニ對シ八分ノ一稅ヲ徵シ  
テ舊稽查處カ曾テ金融ノ爲天津ノ宋哲元ノ機關銀行ト稱セ  
ラルル啓明。銀行ヘ擔保トシテ提供セル約二萬通ノ検査票ヲ  
同銀行ヲシテ公布セシメ且從來取締ニ協力シ居リタル沿途  
ノ公安隊等ニ對スル海關側トノ接觸ヲ近時該検査票附貨物  
ノ保護ニ當ラシメタル結果低稅品ノ輸送ハ著シク安全トナ  
リ弗弗天津低稅品在荷ノ奧地輸送(主トシテ「トラツク」  
ニ依ル)開始セラレ殊ニ九月八日天津ニ稽查處事務所設置  
セララルヤ荷動ハ更ニ一段活潑トナリ九月中天津ヨリ白塘、  
滄縣、山東省境方面及西。河平漢沿線、北平等ヘ輸送セラレ  
タル天津在荷ハ稽查處ノ取調ニ依レハ砂糖六萬六千俵、人  
絹四千九百箱、石油五千箱、綿織物三千箱、雜貨四千五百  
件合計價格約二百萬元ニ達セリ  
乍併是等貨物中稽查所ノ取扱ヒ得ルハ僅ニ砂糖一萬二千五

百俵人絹三百十六函ニ止マリ其ノ他ハ悉ク海關ノ無力カ及  
公安局ノ邦人邦品ニ對スル氣兼等ニ乘シテ強行セル内鮮人  
ノ脫稅輸送ニ係ルモノニシテ稽查所ハ所期ノ收入ヲ擧クル  
ニ至ラス爲ニ最近是等脫稅内鮮人ニ對シ納稅勸告ニ當ル邦  
人二十名ヲ備入レ緝。私隊ヲ組織(セシム)ヘシトノコトナリ  
(既ニ二十三名採用セル由)現在本件八分ノ一稅ハ戈定遠、秦  
德純等ノ間ニハ四分ノ一ニ引上クヘシトノ議アル由ナルモ  
右ハ八月末本件課稅實施前北支密輸調査ノ爲財政部ヨリ派  
遣セラレタル李。青。選。カ密輸ヲ「チエツク」スル爲四分ノ一  
ニスヘシト申入レタルニ際シ冀察側カ中南支ヘノ自由搬運  
ヲ認ムル限リハ四分ノ一ニテ差支ナシト答ヘタルニ李之ヲ  
拒否シ更ニ冀察カ現在ノ「ストツク」ヲ限リ中南支搬運ヲ  
條件トシテ四分ノ一ト致度シト謂ヘルニ對シテモ李ハ之ヲ  
拒否シタル由ニテ今日ノ所右ハエン等宋哲元ノ特務機關ノ  
有力ナル反對アリ果シテ實現スヘキヤ否ヤ大ニ疑アリトノ  
コトナリ

支、北平、南京、青島、濟南ヘ轉電セリ  
支ヨリ上海ヘ轉報アリ度シ

昭和11年11月26日

在天津堀内総領事より  
有田外務大臣宛(電報)

## 冀察稽查處の閉鎖理由および密輸品の荷動き

状況について

天津 11月26日後発

本省 11月26日夜着

## 第五三二號

往電第四五三號ニ關シ

一、冀察稽查處ハ十月二十七日附宋哲元ノ閉鎖命令ニ基キ同月末廢止セラレタルカ閉鎖ノ理由ニ關シテハ同處處長王鴻恩ハ副處長袁ヲ初メ處員ノ不正行爲甚タシク所期ノ稅收入ヲ上ケラレサリシニ依ルト稱シ居ルモ實際ハ本件稽查處開設ニ際シ之カ前身タル滄鹽海防各口稽查處ヨリ啓明銀行ニ擔保トナリ居タル約二萬通ノ檢査票ヲ同銀行ヲシテ關係者ニ格安ニ交付セシメタル爲檢査票ノ濫賣状態ヲ惹起シタルコト其ノ他稽査處部内ノ人的關係等ヨリ會計ノ混亂ヲ生シ結局稽査處ノ存在カ財政收入上何等見ルヘキ貢獻ヲ爲ササルニ至リタルコト等々ノ事情ニ依ルモノト思惟サル

萬六千俵、人絹糸一萬二千九百函、石油五千函、紙類一千函、人絹布、綿布其ノ他雜貨一萬九千函合計價格約八百五十萬元ニシテ所謂天津在貨ハ一應殆ト全部消化セラ

二、當時(十月下旬)海關側ニテハ低稅品取締ヲ目的トスル總

稽査處ヲ天津ニ設置セントスル意圖アリタルモ冀察側ノ協力ヲ得ラレサリシ爲其ノ後沙汰止トナリ一方當方ノ謀知セル所ニ依レハ本月十六日保定ノ河北省政府ハ獨自ノ見地ヨリ南京財政部令ニ基キ低稅品取締密令ヲ發シタルモ右密令ハ實際ハ勵行セラレ居ラサル模様ナリ

三、十一月以降ノ荷動ハ的確ナル數字ノ入手困難ナルモ十月迄ニ比シ大體砂糖ハ變化ナク人絹糸ハ一割五分、雜品ハ三割方増加セルカ(詰リ八分ノ一稅ヲ徵收シ來レル稽査處ノ廢止ニ依リ却テ荷動増加セル譯ナリ)更ニ殷汝耕カ當館員ニ語リタル所ニ依レハ同政府ノ輸入稅收入ハ本年三月ヨリ六月迄五百萬元、七月二十萬元、八月二十二萬元、九月十六萬元、十月三十三萬元ヨリ十一月ハ四十萬元以上ニ達スル模様ニシテ之ニ依リテモ低稅品ノ對奧地取引カ活潑ニ繼續シツツアルコトヲ觀取サル(殊ニ今後ハ河川結氷期ヲ控ヘテ一層顯著ナル流出ヲ見ルヘシ)

四、尙冀察稽査處關係者ノ調査ニ依レハ九月上旬同處開設以來十一月上旬迄ニ奧地ニ輸入セラレタル貨物ハ(前記)ノ事情ヨリ八分ノ一稅ヲ拂ハサルモノヲ含ム)砂糖十四

レタリ

支、北平、南京、青島、濟南へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ